

0400迄 (1625件)

201年-07:00|カボヅア| |||<即位>扶南王「スレイ・マア」(~225年)
201年-01:00|イタリヤ| |||ローマが禁教令を發布し、ユダヤ教とキリスト教を極刑で厳禁する
201年4月21日-09:00|韓国| ||新羅・奈解6年3月1日|丁卯の日にあたる朔に日食があった
201年5月20日-08:00|中国| ||後漢・建安6年4月|曹操、黄河を北へ横断し、倉亭の袁紹軍を攻撃/袁紹敗北し、本拠に戻った後、兵を集めて離反した郡県の平定
201年10月15日-08:00|中国| ||後漢・建安6年9月|曹操、汝南の劉備とこれに呼応した共都に対し、蔡揚を派遣するが、蔡揚は共都に敗北、曹操は自ら兵を率いて征伐に向かう/劉備はそれを聞くと、劉表の元へ逃走
202年2月10日-08:00|中国/モンゴル| ||後漢・建安7年|匈奴の南単于呼厨泉、袁尚に通じて平陽で反乱を起こす/呼厨泉、曹操の部将鍾繇に降伏
202年6月28日-08:00|中国| ||後漢・建安7年5月21日|袁紹死去/後を末子の袁尚が継ぐ
203年3月31日-08:00|中国| ||後漢・建安8年3月|曹操、袁譚と袁尚を攻撃し撃破
203年11月22日-09:00|韓国| ||新羅・奈解8年10月|靺鞨が国境を侵犯
203年11月22日-08:00|中国| ||後漢・建安8年10月|呂曠と呂翔が袁尚に背き曹操に降伏
204年2月18日-08:00|中国| ||後漢・建安9年|この年、遼東の公孫度が死去し、息子の公孫康があとをつぐ/公孫康が楽浪郡の南に帯方郡をおく
204年2月18日-08:00|中国| ||後漢・建安9年1月|この月、曹操が黄河支流の淇水を堰き止めて運河に導き、兵糧輸送の水路を作る
204年3月19日-08:00|中国| ||後漢・建安9年2月|袁尚、自ら出兵して袁譚を攻める/曹操はその隙をねらい北上、蘇由は降伏
204年5月17日-08:00|中国| ||後漢・建安9年4月|曹操、曹洪に城を攻めさせておき、武安の長尹楷を自ら兵を率いて毛城に攻め撃破/さらに沮鵠の守る邯鄲を攻め落とす
204年8月14日-09:00|韓国| ||百濟・肖古王39年|新羅・奈解9年7月|百濟の肖古王が新羅の腰車城を攻撃して陥落させる
204年8月14日-08:00|中国| ||後漢・建安9年7月|夜中、袁尚が曹操の包囲軍を攻撃するが、曹操はこれを撃破/袁尚は闇夜に紛れて逃亡/袁譚、この間に甘陵・安平・渤海・河間を攻略
204年9月12日-08:00|中国| ||後漢・建安9年8月|曹操が、審養の叔父審配を捕らえ処刑/袁紹の甥の高幹が降伏
204年9月13日-08:00|中国| ||後漢・建安9年8月2日|曹操は袁尚を大破し、冀州を平らげ、(自ら)冀州牧を領した
204年10月12日-08:00|中国| ||後漢・建安9年9月|袁譚、中山に逃亡した袁尚を攻撃し、その兵を併合/曹操は、袁譚に対し、約を違えたとして進軍/袁譚は本拠の平原を逃亡し南皮に入る
205年-09:00|日本| |||桜井市の勝山古墳がこのころ築造(日本最古)
205年1月8日-08:00|中国| ||後漢・建安9年12月|曹操、平原に入り、周囲の諸県を平定
205年2月7日-08:00|中国| ||後漢・建安10年1月|曹操、南皮に遠征し、袁譚を攻撃、曹純、荀攸は袁譚の首を斬る
205年5月6日-08:00|中国| ||後漢・建安10年4月|黒山賊の張燕が曹操に降伏/故安の張犢と霍奴らが幽州の刺史と郡の太守を殺害/烏丸三氏が獷平の鮮于輔を攻める
205年9月2日-08:00|中国| ||後漢・建安10年8月|曹操、兵を送って張犢らを討伐、烏丸勢力は国外へ逃亡/高幹、州で反乱を起こす
206年1月27日-08:00|中国| ||後漢・建安11年|<死去>後漢・済北国「済北王劉政」済北国を廃する
206年1月27日-08:00|中国| ||後漢・建安11年|<就任>後漢・琅邪王「琅邪王劉熙」(~216年)
206年1月27日-08:00|中国| ||後漢・建安11年|<就任>後漢・琅邪国「琅邪王劉熙」(~216年)
206年1月27日-08:00|中国| ||後漢・建安11年|<廃止>後漢・斉国
206年1月27日-08:00|中国| ||後漢・建安11年|<廃止>後漢・北海国
206年3月27日-08:00|中国| ||後漢・建安11年3月|曹操が高幹を并州に破り、これを獲た
206年5月25日-08:00|中国| ||後漢・建安11年4月|曹操、曹仁の進言を受けて、この頃までに高幹勢力の壺関城を陥落攻め落とす/高幹は処刑
206年9月20日-08:00|中国| ||後漢・建安11年8月|曹操、淳于で楽進と李典を派遣して海賊の管承を討伐
206年9月20日-08:00|中国| ||後漢・建安11年8月|曹操、東海郡から襄贛などの諸県を分割して瑯邪郡に併せ、昌慮郡を設置
206年11月19日-08:00|中国| ||後漢・建安11年10月|この頃、孫權、孫瑜を山越討伐に派遣し、周瑜を同行させる/孫瑜と周瑜は、山越の麻屯と保屯を攻め落とす
207年2月15日-08:00|中国| ||後漢・建安12年|<即位>軻比能鮮卑大人「軻比能」(~235年殺される)
207年9月10日-08:00|中国| ||後漢・建安12年8月|白狼山で曹操軍と袁・烏丸連合軍が遭遇/烏丸軍は総崩れ、烏丸族と漢人の20余万人が降伏
207年12月7日-08:00|中国| ||後漢・建安12年11月|遼東太守公孫康が袁尚、袁熙を殺した
208年-03:30|イラン| |||<死去>パルティア王「アルサス46世(ウァハガセ5世)」
208年-03:30|イラン| |||<即位>パルティア王「アルサス48世(ウァハガセ6世)」(~228年アル・シムル1世に殺される)
208年-03:30|イラン| |||パルティアの従属王国ペルシス王国(従属王国の中では最大)でパーパークが王位につき、彼の下で反乱が発生/ウァハガセ5世はこれを鎮圧
208年2月4日-08:00|中国| ||後漢・建安13年|<就任>後漢・済南国「崇徳侯劉開」(~220年)
208年2月4日-08:00|中国| ||後漢・建安13年春|孫權、黄祖を討つ
208年5月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・奈解13年4月|倭人が国境を侵犯したので伊伐の利音に軍隊を率いさせて阻んだ
208年7月1日-08:00|中国| ||後漢・建安13年6月|劉備、博望坡で夏侯惇を破る

0400迄 (1625件)

208年7月9日-08:00|中国| ||後漢・建安13年6月9日|後漢で三公制が廃止され、曹操が献帝より新設丞相に就任
208年7月31日-08:00|中国| ||後漢・建安13年7月|劉備の弱小軍に曹操の軍が襲いかかるが張飛の大喝一声で退き上げる(長坂坡の戦い)
208年8月29日-08:00|中国| ||後漢・建安13年8月|是月、劉表が卒し、少子(弟)の劉琮が立った、劉琮は荊州をもって曹操に降った
208年9月28日-08:00|中国| ||後漢・建安13年9月|曹操の軍が新野に入城/かなわぬと見た劉羽は降伏し、劉備は城を捨てて夏口に逃れる
208年10月27日-08:00|中国| ||後漢・建安13年10月|曹操は舟師をもって孫権を伐した、孫権は将の周瑜をして烏林、赤壁で之を敗走させた
208年10月27日-08:00|中国| ||後漢・建安13年10月1日|朔、日食があった
208年12月15日-08:00|中国| ||後漢・建安13年11月20日|赤壁の戦い/曹操が孫権(指令官は周瑜)と劉備の連合軍に赤壁の河戦で敗れる/諸葛孔明の天下三分の計が成る
209年8月19日-09:00|韓国| ||新羅・奈解14年7月|浦上の八国(慶南固城郡固城邑や慶南泗川郡泗川邑あたりの国々)が連合して、加羅を侵略/新羅・奈解王は太子の于老と伊伐の利音に命じて救援/八国の将軍を撃破
209年10月17日-09:00|朝鮮| ||高句麗・山上王13年9月|公孫康が高句麗に出撃、撃破/高句麗の王都が卒本から丸都に移される
210年-03:00|イラク| ||<即位>エリマス王国(アルサス朝)第26代国王「Unknown King3世」(~220年)
210年-02:00|ウクライナ| ||<死去>ホースロース王(スパルタコス朝)「サロマス2世」
210年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ホースロース王(スパルタコス朝)「レスホリス2世」(~227年死去)
210年-01:00|アフリカ| ||南部アフリカで鉄器時代文化前期が始まる
210年2月12日-08:00|中国| ||後漢・建安15年|<即位>禿髮鮮卑大人「拓跋匹孤」(~231年)
210年3月13日-08:00|中国| ||後漢・建安15年2月1日|朔、日食があった
210年11月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||百濟・肖古王45年10月|靺鞨が百濟の沙道城攻める
211年-01:00|イタリア/イギリス| ||ローマ皇帝セプティミウス・セウルスがブリタニア遠征
211年2月1日-08:00|中国| ||後漢・建安16年|<死去>後漢・趙国「趙献王劉赦」
211年2月1日-08:00|中国| ||後漢・建安16年1月|太原の商曜らが大陵で叛乱を起こす
211年2月4日-01:00|イタリア| ||<死去>ローマ皇帝「セプティミウス・セウルス」ヨークで/64歳(誕生01460411)
211年2月4日-01:00|イタリア| ||<即位>ローマ皇帝「カラカ」(~217年4月8日マリヌスによる暗殺);共同皇帝「フブリス・セプティミウス・ゲタ」(~211年12月26日カラカによる暗殺)
211年4月1日-08:00|中国| ||後漢・建安16年3月|曹操、鍾劭を漢中に派遣し張魯を討伐させる/馬超、韓遂、楊秋、李堪、成宜が挙兵
211年7月28日-08:00|中国| ||後漢・建安16年7月|曹操、出兵して馬超らの陣と対陣、蒲阪津を渡河させて進軍/馬超らは渭口へ退いたため、渭水でこれを撃破<潼関・渭水の戦い>
211年11月8日-08:00|中国| ||後漢・建安16年9月15日|曹操は韓遂、馬超と渭南で戦いを興した、韓遂等は大敗し、関西は平らげられた
211年11月23日-08:00|中国| ||後漢・建安16年10月|曹操、夏侯淵と合流し、安定を包囲すると楊秋が降伏
211年12月26日-01:00|イタリア| ||<死去>ローマ共同皇帝「フブリス・セプティミウス・ゲタ」兄の共同皇帝カラカと結んだ百人隊長によって暗殺
212年-01:00|イタリア| ||アントニヌス勅令:ローマ/カラカ帝が自由民に市民権を与える
212年2月20日-08:00|中国| ||後漢・建安17年|<就任>後漢・済陰国「済陰王劉熙」(~220年)
212年2月20日-08:00|中国| ||後漢・建安17年|<就任>後漢・北海国「崇徳侯劉敦」(~220年)
212年2月20日-08:00|中国| ||後漢・建安17年|<就任>後漢・趙国「崇徳侯劉珪」(~213年博陵国に改封)
212年2月20日-08:00|中国| ||後漢・建安17年1月|曹操、夏侯淵を行護軍将軍に任じ、朱靈・路招らをその配下に置く/夏侯淵、南山の劉雄を降伏させる
212年2月20日-08:00|中国| ||後漢・建安17年1月|曹操、河内郡の蕩陰県・朝歌県・林慮県、東郡の衛国県・頓丘県・東武陽県・発干県・鉅鹿郡の陶県・曲周県・南和県、広平郡の任城県、趙国の襄国県・邯鄲県・易陽県を切り離して、魏郡に編入
212年8月14日-08:00|中国| ||後漢・建安17年6月29日|晦、日食があった
212年10月13日-08:00|中国| ||後漢・建安17年9月|<就任>後漢・済北国「崇徳侯劉ハク」(~220年(黄初元年)列侯に降格)
212年11月2日-08:00|中国| ||後漢・建安17年9月21日|<就任>後漢・山陽国「崇徳侯劉懿」(~220年(黄初元年)列侯に降格)
212年11月12日-08:00|中国| ||後漢・建安17年10月|曹操、濡須を攻める。荀彧、自害する
212年11月12日-08:00|中国| ||後漢・建安17年10月|馬超が涼州を破り、刺史の韋康を殺害
213年-03:30|イラン| ||<即位>パルティア王「アルサス49世(アルタバノス4世)」(~226年アルタシル1世に殺される)
213年-03:00|イラク| ||<即位>アティバネ王「Shahrat」(~224年)
213年2月8日-08:00|中国| ||後漢・建安18年|<死去>後漢・彭城国「彭城孝王劉和」
213年2月8日-08:00|中国| ||後漢・建安18年正月|献帝、天下の14州を9州(豫・冀・兗・徐・青・荆・揚・益・雍)に統合
213年2月8日-08:00|中国| ||後漢・建安18年正月|曹操、軍を濡須口に進め、長江西岸の孫権の陣営を攻め孫権の都督公孫陽を捕虜にして帰還
213年6月16日-08:00|中国| ||後漢・建安18年5月10日|献帝が曹操を魏公とし、九錫を加える
213年7月6日-08:00|中国| ||後漢・建安18年6月|<改封>後漢・趙国「崇徳侯劉珪」⇒博陵国「崇徳侯劉珪」(~220年)

- 213年12月1日-08:00|中国| ||後漢・建安18年11月|この頃、馬超、漢陽で羌族と組んで兵を起こし、族の王千万が呼応して興国に陣を置く/曹操、夏侯淵をして、これを討伐/夏侯淵敗北
- 214年1月29日-08:00|中国| ||後漢・建安19年|<就任>後漢・彭城国「崇徳侯劉祗」(~220年崇徳侯に降格)
- 214年1月29日-08:00|中国| ||後漢・建安19年正月|南安の趙衢、漢陽の尹奉らが馬超を討伐し馬超は漢中へ逃亡/韓遂は羌族の軍勢1万余騎を率いて夏侯淵と戦う/夏侯淵はこれを破り、韓遂は西平に逃亡/夏侯淵はさらに興国を攻め落とす
- 214年6月25日-08:00|中国| ||後漢・建安19年5月|劉備が成都に進撃/包囲数十日で劉璋が城門を開く/劉備は益州の牧となる
- 214年8月23日-09:00|韓国| ||新羅・奈解19年;百済・肖古王49年7月|百済が国西の方にある腰車城を攻撃して、城主の薛夫を殺した。新羅王が伊伐の利音に命じて百済を討伐し、沙城を陥落させた
- 214年11月20日-09:00|韓国| ||百済・肖古王49年10月|<死去>百済王「肖古王」
- 214年11月20日-09:00|韓国| ||百済・肖古王49年10月|<即位>百済王「仇首王」(~234年)
- 214年11月20日-08:00|中国| ||後漢・建安19年10月|曹操、隴西で河首平漢王を称して独立していた宋建を夏侯淵をして攻め滅ぼす
- 215年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Voharika Tissa」Siri Naga1世の息子(~237年)
- 215年2月17日-08:00|中国| ||後漢・建安20年1月|曹操、雲中・定襄・五原・朔方の4郡を省いて4県を置き、4県を合わせて新興郡を設置
- 215年6月15日-08:00|中国| ||後漢・建安20年5月|曹操、葭王の竇茂の拠点を攻め落とす/同じ時、西平と金城を占拠している麴演と蔣石らが韓遂を殺しその首を曹操に送る
- 215年8月13日-08:00|中国| ||後漢・建安20年7月|曹操、巴と漢が降伏したので、漢寧郡を漢中郡とし、さらに安陽県と西城県を分離して西城郡を、錫県と上庸県を分離して上庸郡を設置
- 215年9月11日-08:00|中国| ||後漢・建安20年8月|孫権が出兵し、合肥を包囲。張遼と李典がこれを迎撃し、孫権は大敗
- 215年12月9日-08:00|中国| ||後漢・建安20年11月|張魯が曹操に降伏/張魯と5人の子供を列侯とする
- 215年12月9日-08:00|中国| ||後漢・建安20年11月|劉備が益州を奪取し、巴中を占領
- 216年-04:00|ジョージア| |||<即位>イバリア王「ヴァッシュ」レビジョン1世の息子(~234年)
- 216年-03:30|イラン| |||メデア地方を拠点にアルタバヌス4世が反乱を起こし、ヴォロガセス6世との戦いはほぼ勝利、パルティアを除くパルティア領のほとんどがアルタバヌス4世の支配下に入った
- 216年2月6日-08:00|中国| ||後漢・建安21年|<就任>後漢・魏国「魏武王曹操」(~220年)
- 216年5月29日-08:00|中国| ||後漢・建安21年4月25日|曹操が、魏公から魏王に昇格
- 216年6月3日-08:00|中国| ||後漢・建安21年5月|烏丸の行单于(代王)普富盧が来朝
- 216年6月3日-08:00|中国| ||後漢・建安21年5月|朔、日食があった
- 216年8月1日-08:00|モンゴル/中国| ||後漢・建安21年7月|<退位>匈奴单于「呼廚泉单于(呼廚泉)」魏に入朝
- 216年8月31日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・仇首王3年8月|靺鞨が侵略してきたが追い払う
- 216年10月29日-08:00|中国| ||後漢・建安21年10月|左慈、曹操に敗れる
- 217年-04:00|アルメニア| |||<死去>アルメニア王(アルサス朝)「ユスロウ」1世
- 217年-03:30|イラン| |||<即位>パルティア王「アルサス50世(ティリダテス4世)」(~222年)
- 217年3月25日-08:00|中国| ||後漢・建安22年2月|孫権は濡須口に城を築いたため、曹操これを攻め、孫権は退却
- 217年4月8日-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサス朝)「ティリダテス2世」(~252年死去)
- 217年4月8日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「カラカ」親衛隊長のマクリヌスの陰謀にあい、カッエ付近で暗殺される/31歳(誕生01860404)
- 217年4月11日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「マクリヌス」ティアドゥメニアス(~218年6月8日ヘリカバルスの軍に敗れ、親子共に相次いで戦死)
- 217年12月20日-01:00|バチカン| |||<死去>第15代ローマ教皇「ゼファリヌス」
- 217年12月20日-01:00|バチカン| |||<就任>第16代ローマ教皇「カリストゥス1世」(~02221014死去、対立教皇「ヒッポリトゥス」(~235年死去)
- 218年-03:30|イラン| |||最終的にアルタバヌス4世はニシブスでローマ軍を破ってその侵攻を退けた
- 218年2月13日-08:00|中国| ||後漢・建安23年|<死去>檀石槐鮮卑大人「扶羅韓」殺される
- 218年2月13日-08:00|中国| ||後漢・建安23年|<即位>檀石槐鮮卑大人「泄帰泥」扶羅韓の子
- 218年2月13日-08:00|中国| ||後漢・建安23年1月|曹洪が呉蘭を破り、その将らを斬る
- 218年2月18日-08:00|中国| ||後漢・建安23年正月6日|吉本、耿紀、韋晃らが、許都で叛乱/許都を管理していた丞相長史の王必は重傷を負うも潁川の典農中郎将の厳匡と鎮圧
- 218年5月13日-08:00|中国| ||後漢・建安23年4月|代郡と上谷の烏丸が叛乱を起こしたので、曹彰を派遣し、これを撃破
- 218年6月8日-02:00|シリア・アラブ/イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「マクリヌス」ティアドゥメニアスアンティオキアの戦いでヘリカバルスの軍に敗れ、親子共に相次いで戦死
- 218年6月8日-01:00|イタリア/シリア・アラブ| |||<即位>ローマ皇帝「ヘリカバルス」セウェルス帝の妻(~222年3月11日近衛隊による暗殺)
- 218年8月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・奈解23年;百済・仇首王5年7月|百済軍が来て山城を包囲したので、王が自ら兵を率いて出陣し、百済軍を撃破・逃走させた
- 218年11月6日-08:00|中国| ||後漢・建安23年10月|宛の将侯音が関羽と結んで叛乱を起こし、太守東里袞を捕らえ宛を占拠

0400迄 (1625件)

219年 06:00|ケアテマ/マシコ| |||このころ、マデティカル王朝が興る
219年2月3日-08:00|中国| ||後漢・建安24年1月|黄忠、夏侯淵を斬り、定軍山を制圧
219年2月3日-08:00|中国| ||後漢・建安24年1月|東里袞と宗子卿は、曹仁軍と協力して宛を攻め落とし、侯音を斬る
219年4月2日-08:00|中国| ||後漢・建安24年2月30日|晦、日食があった
219年6月1日-08:00|中国| ||後漢・建安24年5月|曹操、退却し、劉備漢中を平定
219年7月30日-08:00|中国| ||後漢・建安24年7月|<即位>自称・漢中王「劉備」(~221年(建安26年)蜀漢皇帝に即位)
219年8月28日-08:00|中国| ||後漢・建安24年8月|漢水が氾濫し、孤立した于禁は関羽に降伏
219年9月27日-08:00|中国| ||後漢・建安24年9月|魏諷が叛乱を企てるが曹丕は魏諷を捕らえて処刑
219年10月26日-08:00|中国| ||後漢・建安24年10月|曹操、自ら関羽討伐のため南へ向けて出発/徐晃、曹操の到着前に関羽の陣を撃破
219年12月25日-08:00|中国| ||後漢・建安24年11月|孫権が荊州を取った
220年-03:00|イラク| ||<即位>エリマス王国(アルサス朝)第27代国王「Orodes6世」(~224年)
220年-02:00|ヨルダン| ||<即位>ガッサン王「ヤナー1世バシム・アムル」(~265年)
220年1月23日-08:00|中国| ||後漢・建安24年12月|呂蒙、江陵を取る。関羽、麦城に敗走
220年2月12日-08:00|中国| ||後漢・建安24年12月21日|関羽雲長が、呉の孫権の将呂蒙に捕らえられ首を刎ねられる/58歳(誕生:0162)劉備の忠臣
220年2月22日-08:00|中国| ||後漢・建安25年|<就任>後漢・鮮卑王「歩度根」(檀石槐鮮卑大人)
220年2月22日-08:00|中国| ||後漢・建安25年|<就任>後漢・附義王「軻比能」(軻比能鮮卑大人)
220年2月22日-08:00|中国| ||後漢・建安25年|<即位>拓跋部鮮卑大人「始祖神元帝(拓跋力微)」詰汾の子(~277年死去)
220年2月22日-08:00|中国| ||後漢・建安25年|<即位>慕容部鮮卑大人「莫護跋」慕容部の始祖(~245年、率義王を拝命する)
220年3月15日-08:00|中国| ||後漢・建安25年正月23日|魏王曹操孟徳が洛陽で没/66歳(誕生:0155)曹丕が爵位を継ぐ
220年3月22日-08:00|中国| ||後漢・建安25年2月1日|朔、日食があった
220年4月20日-08:00|中国| ||後漢・延康1年3月|延康元年に改元
220年4月24日-08:00|中国| ||後漢・延康1年3月4日|曹丕、関所と津の税を10分の一とし、池にやなを張る禁令を廃止
220年6月19日-08:00|中国| ||後漢・延康1年5月|酒泉の黄華、張掖の張進らがそれぞれ太守を捕え反逆/金城太守蘇則、張進を討伐して斬り、黄華は降伏
220年6月19日-08:00|中国| ||後漢・延康1年5月|馮翊の山賊と王照が降伏し、列侯に封ぜられる
220年11月13日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月|<廃位>後漢・河間国「崇徳侯劉劭」崇徳侯に降格
220年11月13日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月|<廃位>後漢・済北国「崇徳侯劉平」列侯に降格
220年11月13日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月|<廃位>後漢・山陽国「崇徳侯劉懿」列侯に降格
220年11月13日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月|<廃位>後漢・任城国「新昌侯劉佗」崇徳侯に降格
220年11月13日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月|<廃位>後漢・梁国「梁王劉弥」崇徳侯に降格
220年11月13日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月|<廃位>後漢・彭城国「崇徳侯劉祉」崇徳侯に降格
220年11月13日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月|<廃位>後漢・沛国「沛王劉契」崇徳侯に降格
220年11月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・仇首王7年10月|靺鞨が北邊に侵入するが追い払う
220年11月25日-08:00|中国| ||魏・黄初1年10月13日|<譲位>後漢第14代皇帝「献帝劉協」後漢王朝滅亡=><即位>魏初代皇帝「高祖文帝(曹丕)」(~226. 6. 29)後漢王朝滅亡
221年1月11日-08:00|中国| ||魏・黄初1年12月|洛陽に宮殿をいとなみ、魏は洛陽に都を定める
221年2月20日-08:00|中国| ||魏・黄初2年正月11日|曹丕は、旧都の許県を許昌県とし、魏郡から陽平郡と広平郡を設置
221年5月15日-08:00|中国| ||蜀・章武1年4月6日|<即位>蜀漢初代皇帝「昭烈帝(劉備)」(~223. 6. 10)/蜀が成立、章武の年号を建てる
221年7月22日-08:00|中国| ||蜀・章武1年6月15日|蜀の將軍張飛翼徳(益徳)が、部下の氾暉と張達に殺される(誕生168年)劉備の忠臣
221年8月5日-08:00|中国| ||魏・黄初2年6月29日|魏領で日食がある
221年9月5日-08:00|中国| ||魏・黄初2年8月|孫権は、魏に使者を送って臣と称す/鄂を武昌と改称し、武昌城を築く
221年12月2日-08:00|中国| ||魏・黄初2年11月|涼州刺史の張既が、異民族の反乱を鎮め、河西の地を安定させる
221年12月2日-08:00|中国| ||魏・黄初2年11月|魏の朝廷が孫権に賞を加え、呉王に封じる
222年-05:30|インド| ||<即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラバ)「サムガタマン」(~223年)
222年1月30日-08:00|中国| ||蜀・章武2年1月|陸遜が將軍の宋謙らを率いて蜀の5ヵ所の軍営を攻める
222年1月30日-08:00|中国| ||蜀・章武2年正月1日|日食がある
222年3月1日-08:00|中国| ||魏・黄初3年2月|西域のゼン善・亀慈・于寘王の使者がやってくる/これにより西域との関係が復旧し、西域に戊己校尉置かれる
222年3月11日-01:00|イタリヤ| ||<死去>ローマ皇帝「ヘリカバルス」近衛隊による暗殺(誕生203年か204年)
222年3月13日-01:00|イタリヤ| ||<即位>ローマ皇帝「アレクサンデル・セウルス」(~235年3月18日軍による暗殺)

0400迄 (1625件)

222年7月26日-08:00|中国| ||蜀・章武2年閏6月|孫権の軍が夷陵で劉備の軍を撃ち破る
222年9月24日-08:00|中国| ||蜀・章武2年・魏・黄初3年8月|蜀の黄権が魏に降伏
222年10月14日-01:00|バチカン| |||<死去>第16代ローマ教皇「カリストゥス1世」
222年10月14日-01:00|バチカン| |||<就任>第17代ローマ教皇「ウルバヌス1世」(~02300525死去)
222年11月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・仇首王9年;新羅・奈解27年10月|百済軍が牛頭州に侵入/伊伐の忠宣が阻んで熊谷まで攻めたが敗れた
222年11月22日-08:00|中国| ||吳・黄武1年10月|吳、魏から独立/孫権、吳の兵権を陸遜に委ね独自に年号を立て黄武元年とする
222年11月24日-08:00|中国| ||魏・黄初3年10月3日|曹丕、葬礼の制度を制定し、古の聖帝をまねて、陵墓の土盛と植樹を禁じ、自然の山林を利用することとし、首陽山の東に自らの寿陵(生前墓)の建設を命じる
222年12月21日-08:00|中国| ||蜀・章武2年;吳・黄武1年11月|吳・蜀の外交関係が修復される
223年-05:30|インド| |||<即位>西グジャラトハ王国「ダーマセナ」(~232年)
223年1月19日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||魏・黄初3年;百済・仇首王9年11月30日|晦、日食
223年1月20日-08:00|中国| ||蜀・章武2年12月|漢嘉太守の黄元が劉備が病氣だと聞いて、謀反し挙兵
223年2月18日-08:00|中国| ||魏・黄初4年;吳・黄武2年1月|魏の曹真が1軍を率いて江陵の長江の中州を占領/吳は夏口の江夏山に城壁を築く
223年3月20日-08:00|中国| ||魏・黄初4年;吳・黄武2年2月|朱桓が曹仁の軍を濡須で破る
223年4月18日-08:00|中国| ||蜀・章武3年3月|黄元が臨邛県に進駐するが、將軍陳翊が黄元の軍を破る
223年6月10日-08:00|中国| ||蜀・章武3年4月24日|<死去>蜀漢初代皇帝「昭烈帝(劉備)」白帝城で/63歳(誕生161年)
223年6月16日-08:00|中国| ||蜀・建興1年5月|<即位>蜀漢第2代皇帝「懷帝(劉禪)」/17歳(~263年)建興と改元
224年-04:00|オマーン/イラン| |||オマーンはサーサン朝の一部(マズン州) (~628年)
224年-03:30|イラン/イラク| |||<就任>サーサン朝大臣「Abarsam」(~241. 2)
224年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>サーサン朝初代シャーハンシャー「アルダシール1世」(~241. 2死去)アルダシール1世は即位後直ちにパルティアに反旗を翻し、パルティア東部領土を支配していたアルバヌス4世はこれを鎮圧に向かった
224年2月8日-08:00|中国| ||魏・黄初5年正月|曹丕は令を発し、反逆と大逆以外の密告を禁止
224年4月28日-03:30|イラン| |||<死去>パルティア王「アルサス49世(アルバヌス4世)」アルダシール1世に殺される
224年5月6日-08:00|中国| ||魏・黄初5年4月|曹丕、大学を設置し、五經の試験の法を定め、穀梁博士を置く
224年5月6日-08:00|中国| ||吳・黄武3年;蜀・建興2年4月|蜀、吳が同盟関係を結ぶ
224年8月3日-09:00|韓国| ||新羅・奈解29年;百済・仇首王11年7月|伊伐の連珍は、烽山の麓で百済軍と戦って、これを撃破
224年9月1日-09:00|韓国| ||新羅・奈解29年8月|新羅・烽山城を築いた
224年10月1日-08:00|中国| ||吳・黄武3年・魏・黄初5年9月|徐盛が「疑城」を築いて魏を驚かせ、魏軍を破る
224年12月27日-08:00|中国| ||魏・黄初5年11月29日|日食がある
225年-07:00|カンボジア| |||<即位>扶南王「ファン・ジン・ン」⇒「ファン・ジャン」(~244年)
225年3月27日-08:00|中国| ||魏・黄初6年3月|この頃、州の刺史梁習、鮮卑族の軻比能を撃破する
225年7月23日-08:00|中国| ||蜀・建興3年6月|諸葛亮は、南中に軍を進め、孟獲をくだし、沔池にまでいたる/益州・永昌・牂牁・越巂が蜀の勢力下に入る
225年7月23日-08:00|中国| ||魏・黄初6年6月|利成郡の蔡方らが反乱を起こし、太守の除質を殺害/屯騎校尉の任福・歩兵校尉の段昭を派遣し討伐
225年9月20日-08:00|中国| ||蜀・建興3年8月|蜀の諸葛孔明が南中の反乱鎮圧(孔明の南征)南方4郡を平定し、益州郡を建寧郡と改め、建寧郡と永昌郡から一部を割いて雲南郡を、建寧郡と郡の一部を割いて興古郡を設置
226年2月14日-07:00|ベトナム| ||吳・黄武5年|<死去>交州太守「士燮」
226年6月29日-08:00|中国| ||魏・黄初7年5月17日|<死去>魏初代皇帝「高祖文帝(曹丕)」風邪がもとで/数え40歳(誕生187年)
226年6月29日-08:00|中国| ||魏・黄初7年5月17日|<即位>魏第2代皇帝「烈祖明帝(曹叡)」(~239. 1. 22)
226年9月10日-08:00|中国| ||吳・黄武5年・魏・黄初7年8月|孫権が魏領の江夏郡に侵攻するが魏軍に敗れる
226年10月9日-07:00|ベトナム/中国| ||吳・黄武5年9月|吳の孫権が交州を占領
227年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ホースロウ王(サルトコス朝)「レスコポリス2世」
227年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホースロウ王(サルトコス朝)「コテリス3世」(~235年死去)
227年6月2日-09:00|朝鮮| ||高句麗・山上王31年5月|<死去>高句麗王「山上王」
227年6月2日-09:00|朝鮮| ||高句麗・東川王1年5月|<即位>高句麗王「東川王」(~248年)
227年12月26日-08:00|中国| ||蜀・建興5年12月|諸葛亮、西羌軍を破る
227年12月26日-08:00|中国| ||魏・太和1年12月|新城太守の孟達が蜀に寝返る。司馬懿が討伐を命じられる
228年-03:30|イラン| |||<死去>パルティア王「アルサス48世(ヴォロガセス6世)」アルダシール1世に殺され、パルティア王国は滅亡
228年2月23日-08:00|中国| ||魏・太和2年正月|司馬懿、蜀に内通しようとした孟達を新城に攻め、半月で陥とし、孟達を斬る
228年2月23日-08:00|中国| ||蜀・建興6年正月|諸葛亮、第一次北伐、天水・南安・安定の諸郡は魏に叛いて蜀につく/馬謖が諸葛亮の指示を守らなかったため、蜀軍は街亭で敗れ、軍を引く
228年5月22日-08:00|中国| ||蜀・建興6年4月|諸葛亮、第二次北伐。陳倉を攻める
228年9月17日-08:00|中国| ||吳・黄武7年・魏・太和2年8月|孫権が魏の大司馬の曹休をおびきだし、陸遜に全権を与えてさんざんに破る

0400迄 (1625件)

229年-07:00|カボヅア/ベトナム| ||| 交州勅使が扶南へ使節を派遣
229年-02:00|ウクライナ| ||| <即位>ホーストス王(スパルトコス朝)「サロメス3世」共同統治(~232年)
229年1月13日-08:00|中国| || 蜀・建興6年12月|諸葛亮が軍を率い散関を出て、陳倉を攻撃するが落とす事が出来ず、兵糧が尽きて退却/魏の王双が追撃してきたため、これを迎撃し王双を敗死させて漢中に帰還
229年5月11日-08:00|中国| || 蜀・建興7年4月|諸葛亮, 第三次北伐。魏の武都・陰平二郡を攻略
229年5月23日-08:00|中国| || 呉・黄龍1年4月13日|<即位>呉初代皇帝「太祖大帝(孫権)」(~252. 5. 21) 黄龍と改元/三国の分立が成立
229年10月5日-08:00|中国| || 呉・黄龍1年9月|呉の孫権が建業に遷都
229年12月4日-09:00|韓国/朝鮮| || 百済・仇首王16年11月|靺鞨に牛谷城周辺に侵入され兵を派遣したが大敗
230年-05:30|インド| ||| <即位>クシャナ朝君主「カニシカ2世」(~240年)
230年-04:30|アフガニスタン/イラク| ||| ササン朝ペルシア、パクトリア地方征服
230年-01:00|イタリア/イラン/イラク| ||| ササン朝軍がローマ領メソポタミアに侵入し、ニシスを包囲
230年2月1日-08:00|中国/インド/パキスタン| || 魏・太和4年|クシャナ朝が魏の文帝に親書
230年4月1日-09:00|韓国| || 新羅・奈解35年3月|<死去>新羅王「奈解尼師今」
230年4月1日-09:00|韓国| || 新羅・助賁1年3月|<即位>新羅王「助賁尼師今」(~247年)
230年5月25日-01:00|パチン| ||| <死去>第17代ローマ教皇「ウルバヌス1世」
230年7月21日-01:00|パチン| ||| <就任>第18代ローマ教皇「ポンティファヌス」(~02350928死去)
230年7月28日-08:00|中国| || 魏・大和4年7月|曹真・司馬懿, 漢中に進攻
230年9月25日-08:00|中国| || 蜀・建興8年・魏・太和4年9月|蜀) 諸葛亮、雍州へ侵攻、陽谿の戦いで蜀の魏延、魏の雍州刺史郭淮を破る
231年-01:00|イタリア| ||| 兵士給与の切下げに反発し、ローマ軍がアレクサンダー帝に反乱
231年2月20日-08:00|中国| || 魏・太和5年|<即位>禿髮部鮮卑大人「禿髮寿鴆」匹孤の子(~252年)
231年7月17日-08:00|中国| || 蜀・建興9年6月|諸葛亮, 第四次北伐(2月~) 撤退
231年8月16日-09:00|韓国| || 新羅・助賁2年7月|伊の于老を大將軍にして、甘文国を討伐して陥落させ、その地を郡にした
232年-05:30|インド| ||| <即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラバ)「ダマセナ」⇒「ダマジヤダスリ2世」(~234年)
232年-04:00|アルメニア/イラク| ||| アルタシール一世によるアルメニア併合
232年2月9日-08:00|中国| || 呉・嘉禾1年正月|嘉禾と改元
232年5月8日-09:00|日本/韓国| || 新羅・助賁3年4月|倭人が侵入して金城を包囲/王が自ら城を出て戦い、賊軍は壊滅逃走
233年-02:00|ウクライナ| ||| <即位>ホーストス王(スパルトコス朝)「レスコポリス3世」共同統治(~235年死去)
233年1月28日-08:00|中国| || 魏・太和7年|<死去>檀石槐鮮卑大人「步度根」(後漢・鮮卑王) 殺される
233年1月28日-08:00|中国| || 魏・太和7年|<就任>魏・帰義王「泄帰泥」(檀石槐鮮卑大人)
233年2月27日-08:00|中国| || 魏・青龍1年2月|明帝は青龍と改元
233年5月27日-09:00|日本/韓国/朝鮮| || 新羅・助賁4年5月|倭の軍隊が東部国境を犯した
233年8月23日-09:00|日本/韓国/朝鮮| || 新羅・助賁4年7月|伊の于老が倭人と沙道で戦った。風を利用して火をつけて船を燃やしたら、賊兵が水に溺れて皆死んだ
233年11月20日-08:00|中国| || 蜀・建興11年冬|南方で蛮族の大酋長劉胄が叛乱、馬忠がこれを撃破平定
234年-05:30|インド| ||| <即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラバ)「ウイラダマン」(~238年)
234年-04:00|ジョージア| ||| <即位>イベリア王「バクリス1世」ヴァッシュの息子(~249年)
234年2月16日-09:00|韓国| || 百済・仇首王21年|<死去>百済第6代「仇首王」
234年2月16日-09:00|韓国| || 百済・仇首王21年|<即位>百済王「沙伴王」(~同年退位)⇒百済王「古尔王」(~286年)
234年4月21日-08:00|中国| || 蜀・建興12年3月6日|<死去>後漢前(第14代) 皇帝「献帝劉協」
234年6月24日-08:00|中国| || 蜀・建興12年・魏・青龍2年5月10日|司馬懿はに山の何平を攻撃させ、自らは諸葛亮に向かうが、諸葛亮は魏延・高翔・呉班で迎え撃ち、司馬懿は大敗し、陣に戻って立て籠もる
234年10月3日-08:00|中国| || 蜀・建興12年・魏・青龍2年8月23日|蜀の宰相諸葛亮孔明が五丈原に陣没/54歳(誕生:0181)。魏の司馬懿仲達は恐れて退却「死せる孔明生ける仲達を走らす」
235年-02:00|ウクライナ| ||| <死去>ホーストス王(スパルトコス朝)「コテス3世」
235年-02:00|ウクライナ| ||| <死去>ホーストス王(スパルトコス朝)「レスコポリス3世」
235年-02:00|ウクライナ| ||| <即位>ホーストス王(スパルトコス朝)「インティマウス」(~240年死去)
235年-01:00|パチン| ||| <死去>ローマ対立教皇「ヒッポリュトス」
235年2月6日-08:00|中国| || 魏・青龍3年|<死去>軻比能鮮卑大人「軻比能」 殺される
235年2月6日-08:00|中国| || 魏・青龍3年|<即位>軻比能鮮卑大人「軻比能の弟」
235年3月18日-01:00|イタリア| ||| <死去>ローマ皇帝「アレクサンデル・セウルス」反乱軍により暗殺される
235年3月20日-01:00|イタリア| ||| <即位>ローマ皇帝「マクシムス・トラクス」(~238年4月頃軍による暗殺)
235年9月28日-01:00|パチン| ||| <死去>第18代ローマ教皇「ポンティファヌス」
235年11月21日-01:00|パチン| ||| <就任>第19代ローマ教皇「アンテルス」(~02360103死去)
236年-05:30|インド| ||| サータヴァハナ朝衰亡
236年1月3日-01:00|パチン| ||| <死去>第19代ローマ教皇「アンテルス」
236年1月10日-01:00|パチン| ||| <就任>第20代ローマ教皇「ファビウス」(~02500120死去)
236年1月26日-08:00|中国/韓国/朝鮮| || 魏・青龍4年|公孫淵は魏に反旗を翻し燕王と称す
236年1月26日-08:00|中国| || 呉・嘉禾5年春|大錢五百を鑄造

0400迄 (1625件)

236年2月24日-08:00|中国/朝鮮| ||呉・嘉禾5年;高句麗・東川王10年2月|呉王の孫権が使者として胡衛を派遣して和を通じる

236年3月25日-09:00|韓国| ||新羅・助賁7年2月|骨伐国(慶北永川郡永川邑)の王・阿音夫が国民を率いて来て降伏

237年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプー王国国王「Abhaya Naga Voharaka Tissa」の兄弟(~245年)

237年4月13日-08:00|中国| ||魏・景初1年4月|改元改暦して景初暦が施行

237年6月11日-08:00|中国/朝鮮| ||魏・景初1年6月|公孫淵は自立して燕王を号し、紹漢という年号を立て、百官の制度を整える

237年8月9日-08:00|中国| ||呉・嘉禾6年7月|孫権が將軍の朱然らに命じて、2万の兵で江夏郡を包囲させる。荊州の胡質らが迎え撃ち撃退

238年-04:00|アルメニア/イタリア| |||アルメニアをローマが占領(~244年)

238年1月3日-08:00|中国| ||魏・景初2年<就任>魏・率義王「莫護跋」(慕容部鮮卑大人)

238年2月2日-08:00|中国| ||蜀・延熙1年1月|延熙と改元

238年3月3日-08:00|中国| ||呉・嘉禾7年2月|大錢当千を鑄造する

238年3月22日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「コルネリウス・セベルス1世」(~238年4月12日宮殿で自害);「コルネリウス・セベルス2世」コルネリウス1世の息子(~238年4月12日、老齡の父に代わって前線で軍勢を率いカッパの戦いでトラクス軍に敗れ、戦死)

238年4月12日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「コルネリウス・セベルス2世」老齡の父に代わって前線で軍勢を率いカッパの戦いでトラクス軍に敗れ、戦死;「コルネリウス・セベルス1世」宮殿で自害

238年4月22日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「プロバ・マクス」反トラクス派の將軍。元老院から新たな対立皇帝として擁立される(~238年7月29日口論の最中にバルビヌスと同時に近衛隊により暗殺され、川に投げ捨てられた);「バルビヌス」元老院議員。プロバ・マクスの共同皇帝として政務面を補佐(~238年7月29日);「コルネリウス・セベルス3世」コルネリウス1世の孫、コルネリウス2世の甥(妹の子)(~244年2月11日バルビヌス軍との戦いで敗死(もしくはプロバ・マクスによる暗殺))

238年5月10日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝位篡奪者「マクシムス・トラクス」、息子の共同皇帝「マクシムス」、側近たちと共に近衛隊により暗殺される

238年7月29日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「プロバ・マクス」「バルビヌス」口論の最中に近衛隊により暗殺され、川に投げ捨てられた

238年7月29日-08:00|中国/朝鮮| ||魏・景初2年8月|魏の司馬仲達が朝鮮の公孫氏を滅ぼし、楽浪・帯方をの2郡を領有

238年8月28日-08:00|中国| ||呉・赤烏1年8月|武昌で麒麟が現れたとの報告がある/孫権は自身が赤い烏を目撃したとの理由で赤烏と改元

239年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラパ)「ヤダ・マン1世」⇒「ウ・インジャセナ」(~250年)

239年1月22日-08:00|中国| ||呉・赤烏1年8月|武將の廖式が反乱をおこし、零陵・桂陽などの郡を攻めて、騒動は交州の諸郡に及ぶ/呂岱がその討伐にあたる

239年1月22日-08:00|中国| ||魏・景初3年1月1日<死去>魏第2代皇帝「烈祖明帝(曹叡)」/数え36歳(誕生204年)

239年1月22日-08:00|中国| ||魏・景初3年1月1日<即位>魏第3代皇帝「斉王(曹芳)」(~254年)

239年6月19日-08:00|中国/日本| ||魏・景初3年6月|邪馬台国(邪馬壹国)の女王卑弥呼が、魏に朝貢

240年-05:30|インド| |||<即位>クシャナ朝君主「ウ・アジカ」(~250年)

240年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ホースボリス王(スパルトコス朝)「インティマウス」

240年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホースボリス王(スパルトコス朝)「レスボリス5世」(~276年死去)

240年-02:00|ギリシャ| |||ソリスが「不思議な事物の陳列室」を著す

240年1月12日-08:00|中国/日本| ||魏・景初3年12月|魏王が卑弥呼を親魏倭王となし、金印紫綬を与え、銅鏡100枚などを下賜

240年2月10日-08:00|中国| ||蜀・延熙3年春|張嶷が越雋郡を平定し蜀に組込む

240年2月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||百濟・古尔王7年;新羅・助賁11年|百濟が新羅・西方の国境地帯に侵入

240年4月12日-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第2代シャーンシャーン「シャープール1世」共同統治(~270.5死去)

241年-05:30|インド/イラン/パキスタン/イラク| |||ササン朝シャープール1世が北インドに進出し、クシャナ朝を滅ぼす

241年2月-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝初代シャーンシャーン「アルタシール1世」

241年4月28日-08:00|中国| ||呉・赤烏4年;魏・正始2年4月|呉の衛將軍全ヰは淮南を攻略して芍陂をこわし、諸葛恪は六安を攻め、朱然は樊を包囲し、諸葛瑾はヰ中を占領/衛將軍全ヰ、魏の王陵と芍陂で会戦、中朗將秦晃ら十余人が戦死、大敗北を喫する

241年6月26日-08:00|中国| ||呉・赤烏4年;魏・正始2年4月|司馬懿が樊城の救援にむかい、呉の軍をおいはらう

242年2月17日-08:00|中国| ||呉・赤烏5年|呉の孫権が夫に先立たれた母親の哀しみを癒すために龍華寺(ロフアス)創建

242年2月18日-09:00|朝鮮| ||高句麗・東川王16年|高句麗の東川王は兵を派遣して遼東郡西安平県を撃破

243年-01:00|イタリア/イラク| |||ローマ軍にバルビヌス軍はレサの戦いで敗北

243年12月29日-08:00|中国/日本| ||魏・正始4年12月|卑弥呼、魏王に遣使し、生口・倭綿などを献じる(「魏志」倭人伝)

244年-07:00|カンボジア| |||<即位>扶南王「ファンチャン」⇒「ファン・シュン」(~289年)

244年1月27日-09:00|朝鮮/中国| ||魏・正始5年|魏の母丘儉が高句麗に遠征し丸都城を攻略、高句麗は壊滅的打撃

244年2月11日-03:00|イラク/イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「コルネリウス・セベルス3世」ファルジヤ近辺でローマ軍とバルビヌス軍が戦いローマ軍が敗北

0400迄 (1625件)

244年2月11日-01:00|イタリア| ||以降|<即位>ローマ皇帝「ヒ・リップ・ス・アラブ・ス」|「ヒ・リップ・ス2世」|ゴルデ・イヌス3世の近衛隊長。ペルシア戦争後に帝位継承を宣言(〜249.9-10、デキウス軍との戦いで敗死)

244年4月25日-08:00|中国| ||魏・正始5年;蜀・延熙7年閏3月|魏の大將軍曹爽らが漢中を攻め大敗

245年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌーダプ・ラウ王国国王「Siri Naga2世」|Voharaka Tissaの息子(〜247年)

245年-02:00|エジプト/スーダン| ||<即位>クシュ王「テケリデ・マニ2世」(〜266年)

245年2月14日-09:00|朝鮮/中国| ||魏・正始6年|高句麗に属する歳が楽浪・帯方郡の攻撃を受け魏に下る

245年2月14日-08:00|中国| ||魏・正始6年|<死去>慕容部鮮卑大人「莫護跋」(魏・率義王)

245年2月14日-08:00|中国| ||魏・正始6年|<即位>慕容部鮮卑大人「慕容木延」|莫護跋の子

245年8月10日-08:00|中国| ||吳・赤烏8年7月|將軍の馬茂が反逆をはかり、一族全員が処刑される

245年11月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・東川王19年;新羅・助賁16年10月|高句麗の東川王が軍を出して新羅の北辺を侵略、于老が軍隊を率いて出撃したが、勝つことができず、馬頭柵まで退いた

246年2月3日-08:00|中国| ||魏・正始7年|<就任>魏・左賢王「慕容木延」(慕容部鮮卑大人〜271年死去)

246年3月5日-08:00|中国| ||吳・赤烏9年;魏・正始7年2月|吳)車騎將軍朱然、魏に侵攻/相中に入り千余人を斬り捕虜とする

246年8月29日-09:00|朝鮮/中国| ||魏・正始7年;高句麗・東川王20年8月|魏は幽州刺史の毋丘儉を派遣し侵攻/高句麗の東川王は沸流水(卒本)にて迎撃し敗る/梁貊の谷で再戦またこれを敗る/儉は決死で戦い高句麗軍は潰滅

246年10月27日-09:00|朝鮮/中国| ||魏・正始7年;高句麗・東川王20年10月|儉は丸都城を陥落させた/高句麗王は南沃沮に至った/魏軍が乱れると、王は三方から襲撃した/魏軍は楽浪から撤退

247年-09:00|日本| ||卑弥呼、狗奴国王卑弥弓呼と交戦(「魏志」倭人伝)

247年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌーダプ・ラウ王国国王「Vijaya Kumara」|Siri Naga2世の息子(〜248年)

247年2月22日-08:00|中国/朝鮮| ||魏・正始8年|ワの不耐侯が魏に入貢し不耐王を授けられる

247年3月24日-09:00|朝鮮| ||高句麗・東川王21年2月|高句麗が平壤に遷都

247年6月20日-09:00|韓国| ||新羅・助賁18年5月|<死去>新羅王「助賁尼師今」

247年6月20日-09:00|韓国| ||新羅・沾解1年5月|<即位>新羅王「沾解尼師今」(〜261年)

248年-09:00|日本| ||この頃、卑弥呼が没し、男王がたつも治まらず、壹与が女王となる(「魏志」倭人伝)

248年-05:30|スリランカ| ||<即位>アヌーダプ・ラウ王国国王「サナ・ティサ1世」(〜252年)

248年2月12日-08:00|中国| ||吳・赤烏11年|魏の司馬懿死去(179〜)

248年2月12日-07:00|ベトナム/中国| ||吳・赤烏11年|趙姬、吳に対し反乱

248年3月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・沾解2年;高句麗・東川王22年2月|高句麗に使者を送って講和を結んだ

248年8月7日-09:00|朝鮮/中国| ||魏・正始9年;高句麗・東川王22年7月|魏が高句麗を攻める

248年9月5日-09:00|日本| ||北九州を通る皆既日食が起こる/安本美典によると、天照大神の天の岩戸が卑弥呼の死亡に比定される

248年10月5日-09:00|朝鮮| ||高句麗・東川王22年9月|<死去>高句麗王「東川王」

248年10月5日-09:00|朝鮮| ||高句麗・中川王1年9月|<即位>高句麗王「中川王」(〜270年)

248年10月5日-08:00|中国| ||吳・赤烏11年9月|交趾・九真の異民族が反乱をおこす/陸胤をさしむけて、これを安撫させる

248年10月5日-08:00|中国| ||蜀・延熙11年9月|芝が武陵属国での反乱を鎮圧

248年12月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・中川王1年11月|高句麗の中川王弟の預物と奢句らが謀叛、誅殺した

249年-04:00|ジョージア| ||<即位>イベリア王「ミフルト2世」|「パクリウス1世」の息子(〜265年)

249年2月9日-08:00|中国| ||魏・正始10年1月10日|魏で、司馬懿がクーデターを起こし、曹爽らを誅殺

249年4月30日-08:00|中国| ||魏・嘉平1年4月|正始10年は改元されて嘉平元年となった

249年7月27日-08:00|中国| ||蜀・延熙12年;魏・嘉平1年秋|姜維が雍州に軍を進め、麴山に城を築くが、魏の郭淮らがこれを破る

249年9月-01:00|イタリア| ||夏|<死去>ローマ皇帝「ヒ・リップ・ス・アラブ・ス」|「ヒ・リップ・ス2世」|デキウス軍との戦いでヴェロナ付近で敗死

249年9月-01:00|イタリア| ||夏|<即位>ローマ皇帝「デキウス」|「エトルクス・デキウス」|ヒ・リップ・ス・アラブ・スの側近。息子エトルクスと共に帝位を奪う(〜251年6月アフリカスの戦いでゴート軍に敗れて戦死)

250年-05:30|インド| ||<即位>ヴァーカーカ朝マハジャ「Vindhyashakti」|南インド、デカンに建国(〜270年)

250年-05:30|インド| ||<即位>クシャナ朝君主「カニシカ3世」(〜275年)

250年-05:30|インド| ||ササン朝シャープール一世、クシャナ朝を破る

250年1月-01:00|イタリア| ||デキウス帝のキリスト教徒大迫害始まる

250年1月20日-01:00|バチカン| ||<死去>第20代ローマ教皇「ファビウス」|ローマで獄死

250年2月19日-08:00|中国| ||蜀・延熙13年|衛將軍姜維、再び西平に出撃/勝利を得られず帰国

251年-05:30|インド| ||<即位>インド・スキタ王国(西クシャトラバ)「ダーマジャタスリ3世」(〜256年)

251年-05:00|ガブスタン| ||フン族、カスピ海岸に登場

251年3月6日-01:00|バチカン| ||<就任>第21代ローマ教皇「コネリウス」(〜02530625死去)、対立教皇「ウァティクス」(〜258年死去)

251年6月6日-08:00|中国| ||吳・太元1年5月|赤烏14年を太元と改元

251年7月1日-01:00|イタリア| ||<死去>ローマ皇帝「デキウス」|「エトルクス・デキウス」|アフリカスの戦いでゴート軍に敗れて戦死

251年7月1日-01:00|イタリア| ||<即位>ローマ皇帝「トロピクス・ガルス」|「ウルクス」|デキウスの重臣。モシア総督を務め、デキウス死後の混乱で遠征軍を掌握して帝位につく(〜253年8月アミアヌスの裏切りに遭い、自軍の兵士によって暗殺され

0400迄 (1625件)

た)

251年7月1日-01:00|イタリ| |||<即位>ローマ皇帝「ネステリウス」デキスの次男、エトルスキの弟、トロボニアス・ガッスの養子となり共治帝となる(251年後半疫病で病死)

252年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Siri Sangha Bodhi1世」(~254年)

252年-04:00|アルメニア| |||<死去>アルメニア王(アルサクス朝)「ティリダテス2世」

252年-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「コスロウ2世」(~同年、パルティア(ペルシャ)帝国が占領)⇒「アルバデス」(~287年)

252年1月29日-08:00|中国| ||魏・嘉平4年<即位>禿髮部鮮卑大人「禿髮樹機能」寿禎の孫

252年1月29日-08:00|中国| ||魏・嘉平4年<即位>禿髮部鮮卑大人「禿髮樹機能」寿禎の孫(~279年12月殺される)

252年2月27日-08:00|中国| ||吳・神鳳1年2月|太元2年を神鳳と改元

252年5月21日-08:00|中国| ||吳・建興1年4月26日<死去>吳初代皇帝「太祖大帝(孫権)」

252年5月23日-08:00|中国| ||吳・建興1年4月28日<即位>吳第2代皇帝「会稽王(孫亮)」(~258. 11. 9)/神鳳を建興と改元

253年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホスル・ロス王(スパルトコス朝)「ワサントス1世」共同統治(254年死去)

253年1月17日-08:00|中国| ||蜀・延熙15年12月|諸葛恪、東興で魏を破る

253年6月25日-01:00|バチカン| |||<死去>第21代ローマ教皇「コネリウス」

253年6月25日-01:00|バチカン| |||<就任>第22代ローマ教皇「ルキウス」(~02540325死去)

253年8月-01:00|イタリ| |||<死去>ローマ皇帝「トロボニアス・ガッス」「ウォルシアス」アエミリアスの裏切りに遭い、自軍の兵士によって暗殺された

253年8月-01:00|イタリ| |||<即位>ローマ皇帝「アエミリアス」トロボニアスの腹心。後任のモシア総督に任命されるが、裏切ってトロボニアスとウォルシアスから帝位を奪う(~253年10月、兵士によって暗殺された)

253年9月17日-09:00|韓国| ||魏・嘉平5年8月8日<死去>伽耶王「居登王(道王)」

253年10月-01:00|イタリ| |||<死去>ローマ皇帝「アエミリアス」兵士によって暗殺され88日間の治世で終えた

253年10月-01:00|イタリ| |||<即位>ローマ皇帝「ウォレリアス」デキスの重臣。リクム及びブラエティア総督を務め、アエミリアスと帝位を争って勝利(~260年エッッサの戦いで大敗し、捕らえられた上で処刑された);共同皇帝「ガッリエス」「サロニス」ウォレリアスの息子(~268年9月クラテウス・ゴティクスによる暗殺)

253年11月8日-08:00|中国| ||吳・建興2年10月|孫峻が諸葛恪を殺害し、丞相となる

254年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Gothabhaya」(~267年)

254年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ホスル・ロス王(スパルトコス朝)「ワサントス1世」

254年2月5日-08:00|中国| ||吳・五鳳1年正月|孫亮が五鳳と改元

254年3月5日-01:00|バチカン| |||<死去>第22代ローマ教皇「ルキウス」

254年3月12日-01:00|バチカン| |||<就任>第23代ローマ教皇「ステファヌス1世」(~02570802死去)

254年10月29日-08:00|中国| ||蜀・延熙17年;魏・正元1年冬|衛將軍姜維ら魏の徐質を破る/盪寇將軍張嶷、敵に倍の損害を与え、戦死/衛將軍姜維、狄道・河関・臨洮を陥落させ、住民を絳竹と繁へ移住させる

254年11月2日-08:00|中国| ||魏・正元1年10月5日<廃位>魏第3代皇帝「齊王(曹芳)」魏の大將軍の司馬師により⇒<即位>魏第4代皇帝「高貴郷公(曹髦)」(~260. 6. 2)改元されて正元元年となった

255年-05:30|インド| |||<即位>西クシャトラパ王国国王「ルトラナ2世」(~277年)

255年1月25日-08:00|中国| ||魏・正元2年1月|毋丘儉・文欽、司馬師に反して挙兵、鎮圧される

255年3月25日-08:00|中国| ||魏・正元2年;吳・五鳳2年2月|諸葛誕は吳軍を追いかえす

255年5月23日-08:00|中国| ||魏・正元2年;蜀・延熙18年夏|衛將軍姜維、狄道に出撃、魏の雍州刺史王経と洮西で戦い大勝/魏の雍州刺史王経、退却して狄道城に立て籠もる

255年10月18日-08:00|中国| ||魏・正元2年;蜀・延熙18年9月|魏の陳泰らの攻撃を受け姜維は敗走

255年10月19日-09:00|韓国| ||新羅・沾解9年9月|百済が侵入して来たので、一伐の翊宗がこれを槐谷の西の方で迎え撃ったが、賊軍に殺された

255年11月17日-09:00|韓国| ||新羅・沾解9年10月|百済が烽山城を攻撃したが、陥落させることができなかった

256年-05:30|インド| |||<即位>インド・スカイ王国(西クシャトラパ)「ルトラナ2世」(~277年)

256年-02:00|ウクライナ| |||ゲルマン系ゴート族が小アジア、ギリシア方向に南下する(~269)

256年-01:00|フランス| |||フランク族がライン川越え、ガリアに侵入

256年7月10日-08:00|中国| ||魏・甘露1年6月|正元3年は改元されて甘露元年となった

256年9月7日-08:00|中国| ||魏・甘露1年;蜀・延熙19年8月|段谷の戦い;姜維、洮水に大敗北

256年10月6日-08:00|中国| ||吳・五鳳3年9月<死去>吳の丞相「孫峻」⇒<就任>「孫資」権力を掌握

256年11月5日-08:00|中国| ||吳・太平1年10月|五鳳3年を太平と改元

256年12月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・沾解10年10月29日|日食があった

257年-01:00|イタリ| |||ローマでウォレリアスの勅令でキリスト教徒の迫害を開始

257年5月31日-08:00|中国| ||魏・甘露2年;蜀・延熙20年5月|諸葛誕、淮南の地で司馬昭に反して挙兵

257年8月2日-01:00|バチカン| |||<死去>第23代ローマ教皇「ステファヌス1世」

257年8月30日-01:00|バチカン| |||<就任>第24代ローマ教皇「シクストゥス2世」(~02580806死去)

258年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホスル・ロス王(スパルトコス朝)「シンガス」共同統治(276年死去)

258年-01:00|バチカン| |||<死去>ローマ対立教皇「ノヴァティアス」

258年2月20日-08:00|中国| ||魏・甘露3年|鮮卑、雲中の盛楽に都を定める

258年2月21日-08:00|中国| ||蜀・景耀1年1月|景耀と改元

258年3月22日-08:00|中国| ||魏・甘露3年2月|寿春城陥落 諸葛誕没

0400迄 (1625件)

258年8月6日-01:00|パチン| |||<死去>第24代ローマ教皇「シクストゥス2世」斬首
 258年11月9日-08:00|中国| ||呉・太平3年9月26日|<廃位>呉第2代皇帝「会稽王(孫亮)」
 258年11月30日-08:00|中国| ||呉・永安1年10月18日|<即位>呉第3代皇帝「景帝(孫休)」(~264. 9. 3)永安と改元
 259年-02:00|イスラエル/シリア・アラブ| |||イスラエルはパルミラ帝国の一部(~272年)
 259年-01:00|イタリア| |||ガリエスが北イタリアに侵入したアラマン族をミラノ郊外で撃退
 259年1月11日-08:00|中国| ||呉・永安1年12月|<死去>呉の丞相「孫資」孫休が張布と図り誅殺
 259年2月10日-09:00|韓国| ||魏・甘露4年|<即位>伽耶王「麻品王(成王)」(~2910129死去)
 259年7月22日-01:00|パチン| |||<就任>第25代ローマ教皇「ティオニシウス」(~02681226死去)
 260年-04:00|ジョージア| |||<即位>パルティア対立王「アマサス3世」(~265年)
 260年-03:30|イラン/シリア・アラブ/トルコ| |||ササン朝シャープール1世がシリア、カパドキアに進出
 260年-01:00|イタリア/イラン| |||<死去>ローマ皇帝「ヴァレリウス・エマッス」の戦いでササン朝のシャープール1世に大敗し、捕らえられた上で処刑された
 260年-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| |||<即位>ガリア帝国皇帝「ボストゥムス」(~269年死去)
 260年 00:00|イギリス| |||<即位>ピクト王「Garnath Bolgh of the Picts」(~264年)
 260年1月1日-08:00|中国/朝鮮| ||魏・甘露4年;高句麗・中川王12年12月|魏将の尉遲楷名が長陵を侵し攻めて来た/高句麗の中川王は梁貊の谷で戦いこれを敗る
 260年6月2日-08:00|中国| ||魏・甘露5年5月7日|<死去>魏第4代皇帝「高貴郷公(曹髦)」司馬昭(49)に殺される(誕生241年)
 260年6月2日-08:00|中国| ||魏・甘露5年5月7日|<即位>魏第5代皇帝「元帝(曹奐)」(~咸熙2年(265年)12月)
 260年6月26日-08:00|中国| ||魏・景元1年6月|甘露5年は改元されて景元元年となった
 260年9月 00:00|チャンホ諸島/スペイン/フランス/イギリス| |||ジャージー島、ガーンジー島、マンニー島は分離したガリア帝国の一部(~274. 2)
 261年-04:00|アルメニア| |||アルメニアをパルミラが占領(~272年)
 261年2月17日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||魏・景元2年|辰韓・ワイが魏に朝貢
 262年-03:00|イラク/シリア・アラブ| |||ササン朝によるアンティオキア占領
 262年-01:00|イタリア/シリア・アラブ| |||パルミラとローマの連合軍がササン朝パルティアと戦い勝利
 262年2月5日-09:00|韓国| ||新羅・味鄒1年12月29日|<死去>新羅王「沾解尼師今王」急に病にかかって
 262年2月5日-09:00|韓国| ||新羅・味鄒1年12月29日|<即位>新羅王「味鄒尼師今」(~284年)
 263年6月23日-08:00|中国| ||呉・永安6年5月|交趾郡の呂興が反乱を起こし、九真・日南もこれに呼応
 263年9月21日-08:00|中国| ||蜀・炎興1年8月|炎興と改元(-11月)
 263年9月21日-08:00|中国| ||蜀・炎興1年;魏・景元4年8月|魏軍が蜀に攻めこむ/楊欣ら、姜維を破り諸葛緒、武都を抜く/護軍胡烈らの先行軍、関城(陽安関の城)を陥落させる/田章、蜀の伏兵3部隊を撃破/蜀の馬貌降服
 263年11月19日-08:00|中国| ||蜀・炎興1年;魏・景元4年10月|蜀漢攻略戦(綿竹の戦)登忠・師纂、緒戦で諸葛瞻軍に破れ退却、両将再攻撃で諸葛瞻軍破れる
 263年12月18日-08:00|中国| ||魏・景元4年;蜀・炎興1年11月|魏軍が綿竹県で諸葛瞻軍を撃破し、成都へ進軍=><降伏滅亡>蜀漢第2代皇帝「懷帝(劉禪)」
 264年 00:00|イギリス| |||<即位>ピクト王「Garnath Ini of the Picts」(~273年)
 264年2月15日-08:00|中国| ||魏・景元5年正月|鐘会、姜維と共に魏からの独立を謀るが失敗/鐘会・姜維、死亡
 264年6月12日-08:00|中国| ||魏・咸熙1年5月|景元5年は改元されて咸熙元年となった
 264年9月3日-08:00|中国| ||呉・元興1年7月25日|<死去>呉第3代皇帝「景帝(孫休)」
 264年9月3日-08:00|中国| ||呉・元興1年7月25日|<即位>呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」(~280. 5. 1)
 264年12月6日-08:00|中国| ||魏・咸熙1年11月|<就任>魏・晋王「司馬昭」
 265年-04:00|ジョージア| |||<即位>パルティア王「アスパキア1世」ミルダト2世の息子(~284年)
 265年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アムル1世(ヒン・ヤフナ)」(~270年)
 265年2月3日-08:00|中国| ||魏・咸熙2年|<即位>乞伏部鮮卑「乞伏祐鄰」
 265年5月3日-08:00|中国| ||呉・甘露1年4月|元興2年を甘露と改元
 265年9月6日-08:00|中国| ||呉・甘露1年8月9日|<死去>魏・晋王「司馬昭」/55歳(誕生211年)蜀漢を亡ぼした
 265年10月27日-08:00|中国| ||呉・甘露1年冬|呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」は武昌に遷都/民衆は武昌遷都をいやがる
 266年-02:00|エジプト/スーダン| |||<即位>クシュ王「マルコパバル女王」(~283年)
 266年1月6日-08:00|中国| ||西晋・泰始1年12月13日|<禪譲>魏第5代皇帝「元帝(曹奐)」魏は滅亡=><即位>西晋初代皇帝「世祖武帝(司馬炎)」(~290. 5. 16)泰始を建元/景初暦をあらためて泰始暦となす
 266年9月17日-09:00|韓国| ||新羅・味鄒5年8月|百済が烽山城を攻撃/城主・直宣が城を出て百済軍を襲撃し敵を敗走させた
 266年9月17日-08:00|中国| ||呉・宝鼎1年8月|甘露2年を宝鼎と改元
 266年11月15日-08:00|中国| ||呉・寶鼎1年10月|呉)永安で施但ら数千が叛乱/永安侯孫謙を脅迫・担ぎ上げ建業へ侵攻/丁固と諸葛乚が建業に侵攻してきた施但ら万余を牛屯で迎撃、撃破/孫謙(孫皓の異母弟)は自害
 266年11月15日-08:00|中国| ||呉・寶鼎1年10月|呉)郡改定:会稽郡を分割、東陽郡をつくる;呉郡・丹楊郡を分割、呉興郡をつくる;零陵郡北部を邵陵郡とする(南部は既に始安郡に改定済)
 266年12月14日-08:00|中国/日本| ||西晋・泰始2年11月|邪馬台国の女王壺与が使を西晋に派遣して入貢
 267年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Jettha Tissa1世」Gothabhayaの長男(~277年)
 267年-02:00|ギリシャ| |||ゴート族がトラキア、ギリシアを襲撃

0400迄 (1625件)

267年1月13日-08:00|中国| ||呉・寶鼎1年12月|呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」は、都を武昌から建業に遷都
267年2月8日-08:00|中国| ||西晉・泰始2年12月27日|晉の武帝(司馬炎)が、秦始律令を頒布詔を発
268年1月2日-08:00|中国| ||西晉・泰始3年12月|晉の武帝(司馬炎)が星氣・讖緯の学を禁じる
268年9月-01:00|イタリヤ| ||<死去>ローマ皇帝「カッリヌス」クラウディウス・ゴティクスによる暗殺
268年9月-01:00|イタリヤ| ||<即位>ローマ皇帝「クラウディウス・ゴティクス」カッリヌスを暗殺して帝位を奪う(〜270年1月自然死)
268年9月-01:00|イタリヤ| ||秋|クラウディウス2世ゴティクスがアレマン族(ゴート族の一派)を撃退すべく、北イタリヤのガルダ湖畔で
撃破勝利/アレマン族はドナウ河の北へ逃げ帰った
268年11月22日-08:00|中国| ||呉・寶鼎3年;西晉・泰始4年10月|呉が各地で晉に侵攻し、施績は江夏に、万は襄陽
に、丁奉は芍陂に軍を進めるが、みな晉の軍に撃退される
268年12月26日-01:00|バチカン| ||<死去>第25代ローマ教皇「デオニシウス」
269年-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| ||<死去>ガリア帝国皇帝「ホストゥルス」
269年-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| ||<即位>ガリア帝国皇帝「マルクス・アウレリウス・マウス」(〜同年死去)⇒「マルクス・ヒュウ
ニウス・ウィクトリス」(〜271年死去)
269年-01:00|イタリヤ| ||秋|クラウディウス2世ゴティクスがゴート族を撃退すべく遠征し、バルカン半島で激突し撃退
269年1月5日-01:00|バチカン| ||<就任>第26代ローマ教皇「フェリクス1世」(〜02741230死去)
269年2月-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| ||<即位>ガリア帝国皇帝(反乱者)「ウルピウス・コルネリウス・ユリアヌス」(〜同年死
去)
269年4月19日-08:00|中国| ||西晉・泰始5年3月|雍州・涼州・梁州を分割して秦州を置き、胡烈を太守に任じて、
異民族の対策にあたらせる
269年11月11日-08:00|中国| ||呉・建衡1年10月|呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」宝鼎4年を建衡と改元
270年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「范熊」(〜280年)
270年-05:30|インド| ||<即位>ヴァーカー朝マハラジャ「Pravarasena1世」(〜330年)
270年-02:00|ヨルダン| ||<即位>ガッサン王「ザラバフ・イブン・アムル」(〜287年)
270年-01:00|イタリヤ/ルーマニア| ||属州ダキアの崩壊
270年1月-01:00|イタリヤ| ||<死去>ローマ皇帝「クラウディウス・ゴティクス」/50歳(誕生220年頃)
270年1月-01:00|イタリヤ| ||<即位>ローマ皇帝「クインティッルス」クラウディウス・ゴティクスの弟、兄の死後に帝位を継承(〜9月、アウレリ
ヌスに暗殺される)
270年5月-03:30|イラン/イラク| ||<死去>ササン朝第2代シャーンシャー「シャープール1世」
270年5月-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第3代シャーンシャー「ホルミズド1世」(〜271. 6死去)
270年7月6日-08:00|中国| ||西晉・泰始6年6月|胡烈は鮮卑を討伐するが、かえって軍を破られて死亡する
270年9月-01:00|イタリヤ| ||<死去>ローマ皇帝「クインティッルス」アウレリアヌスに暗殺される
270年9月-01:00|イタリヤ| ||<即位>ローマ皇帝「アウレリアヌス」クラウディウス・ゴティクスの重臣(〜275年9月ヘルシアに侵攻する途中、
秘書官に暗殺される)
270年10月-02:00|エジプト/イタリヤ/シリア・アラブ| ||パルミラがエジプトに侵入しローマ軍を破る
270年11月1日-09:00|朝鮮| ||高句麗・中川王23年10月|<死去>高句麗王「中川王」
270年11月1日-09:00|朝鮮| ||高句麗・西川王1年10月|<即位>高句麗王「西川王」(〜292年)
271年-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| ||<死去>ガリア帝国皇帝「マルクス・ヒュウニウス・ウィクトリス」
271年-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| ||<即位>ガリア帝国皇帝(反乱者)「ドミティアヌス」(〜同年死去)
271年-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| ||<即位>ガリア帝国皇帝「テトリクス1世」(〜274. 3、シャロン・スウル・マルヌの戦いでローマ
に敗北し捕虜となった)
271年-01:00|イタリヤ/シリア・アラブ| ||パルミラ女王ゼノビア、ローマに独立宣言し、二年後に捕虜となる
271年1月28日-08:00|中国| ||西晉・泰始7年|<死去>慕容部鮮卑大人「慕容木延」(魏・左賢王)
271年1月28日-08:00|中国| ||西晉・泰始7年|<即位>慕容部鮮卑大人「慕容涉帰」木延の子、鮮卑単于を拝命(〜太
康4年(西元283年)12月死去)
271年6月-03:30|イラン/イラク| ||<死去>ササン朝第3代シャーンシャー「ホルミズド1世」(〜273年)
271年6月-03:00|イラク/イラン| ||<即位>ササン朝第4代シャーンシャー「ハハラム1世」(〜274. 9死去)
271年8月23日-08:00|中国| ||呉・建衡3年7月|薛・陶珂らが交趾を攻めて、これを落とす
271年11月20日-08:00|中国| ||西晉・泰始7年10月|<死去>蜀「後主劉禪」洛陽で/65歳(誕生207年)
272年-02:00|イスラエル/イタリヤ| ||イスラエルはローマ帝国の一部(〜03950117)
272年-01:00|イタリヤ/シリア・アラブ| ||ローマ皇帝アウレリアヌスがパルミラへ遠征し、占領
272年2月16日-08:00|中国| ||呉・鳳凰1年1月|呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」が年初より鳳凰と改元
272年10月9日-08:00|中国| ||呉・鳳凰1年9月|呉)歩闡が西陵城ごと西晉へ投降
272年12月7日-09:00|韓国| ||百濟・古尔王39年;新羅・味鄒11年11月|百濟が国境を侵犯
273年 00:00|イギリス| ||<即位>ピクト王「Breth mac Buthut of the Picts」(〜280年)
273年1月6日-08:00|中国| ||呉・鳳凰1年12月|呉)陸抗、西陵城を陥し、歩闡を誅殺
274年3月-01:00|フランス/スペイン/イギリス/ドイツ| ||<廃位>ガリア帝国皇帝「テトリクス1世」シャロン・スウル・マルヌの戦いでローマに敗北
し捕虜となった
274年3月-01:00|ドイツ/イタリヤ| ||アウレリアヌス帝がガリア帝国を討伐し、ローマに凱旋
274年3月25日-08:00|中国| ||西晉・泰始10年2月|幽州を分割して平州を置く
274年9月-03:30|イラン/イラク| ||<死去>ササン朝第4代シャーンシャー「ハハラム1世」
274年9月-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第5代シャーンシャー「ハハラム2世」(〜293年死去)ゾロアスター教を国教とする
274年12月30日-01:00|バチカン| ||<死去>第26代ローマ教皇「フェリクス1世」

0400迄 (1625件)

275年-05:30|インド| |||<即位>クシャナ朝君主「ウァースデーヴァ2世」(~310年)
275年-05:30|インド| |||<即位>ハナヴァ朝君主「Simhavarman1世」(~300年)
275年-05:30|インド| |||イクシュヴァーク朝ヴァーハナリクサータが即位
275年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホースト王(スバルト朝)「テイレ1世」(~279年死去)
275年1月4日-01:00|パキスタン| |||<就任>第27代ローマ教皇「エウティキウス」(~02831207死去)
275年2月13日-08:00|中国| ||呉・天冊1年1月|呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」が天冊と改元
275年2月13日-08:00|中国| ||西晉・咸寧1年1月|西晉「武帝」が咸寧と改元
275年7月10日-08:00|中国| ||西晉・咸寧1年6月|鮮卑の拓跋力微が息子をつかわして西晉に入貢
275年9月-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「アウレリアヌス」トラキアで秘書官エロにより毒殺される
275年9月25日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「タトゥス」元老議員。アウレリアヌスの急死によって皇帝に選出(~276年6月病没)
276年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ホースト王(スバルト朝)「シグス」
276年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ホースト王(スバルト朝)「レスホリス5世」
276年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホースト王(スバルト朝)「サウロマテス4世」(~同年死去)
276年1月4日-08:00|中国| ||西晉・咸寧1年12月|疫病が大流行、洛陽では大半の者が死亡
276年5月30日-08:00|中国| ||呉・天冊2年5月|国子学を設立
276年6月-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「タトゥス」病没
276年6月-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「フロリアヌス」タトゥスの異父弟。兄の死に伴い帝位継承を主張(~9月プロワシに苦戦を強いられ、見限った軍に暗殺された)
276年7月28日-08:00|中国| ||呉・天璽1年7月|呉)天冊を天璽と改元
276年9月-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「フロリアヌス」プロワシに苦戦を強いられ、見限った軍に暗殺された
276年9月-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「プロワス」帝国軍の高官。東方属州の支持を背景にフロリアヌスを破り、皇帝に(~282年9月カスの反乱により暗殺される)
277年-05:30|インド| |||<即位>西クシャトラハ国王「ウァイスヴァシムハ」(~282年)
277年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「マハーセナ」Jettha Tissaの兄弟/Gothabhayaの下の子(~304年)
277年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラハ)「ウァイスヴァシムハ」(~282年)
277年2月20日-08:00|中国| ||西晉・咸寧3年|<死去>拓跋部鮮卑大人「始祖神元帝(拓跋力微)」/享年104才
277年2月20日-08:00|中国| ||呉・天紀1年1月|呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」が天紀と改元
277年2月26日-03:30|イラン| |||マニ教の創始者マニがゾロアスター教の司祭に処刑される/60歳(誕生:02160416)
277年4月20日-08:00|中国| ||西晉・咸寧3年3月|文鴛は鮮卑の樹機能を撃破
277年5月20日-08:00|中国| ||呉・天紀1年;西晉・咸寧3年夏|呉)夏口の督孫慎、江夏から晋領汝南に軍を進め焼き討ち/住民を略奪し連れ帰る
278年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホースト王(スバルト朝)「トルヒス1世」(~309年死去)
278年1月11日-08:00|中国| ||西晉・咸寧3年12月|<即位>拓跋部鮮卑大人「章帝(拓跋悉鹿)」力微の子(~286年死去)
278年7月7日-07:00|ベトナム/中国| ||西晉・咸寧4年6月|涼州刺史の楊欣が若羅拔能と武威で戦い、戦死
278年11月2日-09:00|韓国| ||新羅・味鄒17年;百済・古尔王45年10月|百済軍が来て、槐谷城を包囲、波珍正源に命じて、軍隊を率いさせて、これを撃退させた
278年11月2日-07:00|ベトナム/中国| ||西晉・咸寧4年;呉・天紀2年10月|揚州刺史庾綽が呉の皖城を攻めて損害を与える
279年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ホースト王(スバルト朝)「テイレ1世」
279年1月30日-08:00|中国| ||西晉・咸寧5年1月|涼州で樹機能が造反
279年4月28日-08:00|中国| ||呉・天紀3年夏|桂林太守の脩允が死去すると、下部の郭馬が反乱をおこし、蒼梧・始興などの郡を攻める
280年 00:00|イタリア| |||<即位>ビクトワ王「Vipoig」(~310年死去)
280年1月19日-08:00|中国| ||西晉・咸寧5年12月|<死去>禿髮部鮮卑大人「禿髮樹機能」殺される
280年1月19日-08:00|中国| ||西晉・咸寧5年12月|<即位>禿髮部鮮卑大人「禿髮務丸」樹機能の従弟
280年1月19日-08:00|中国| ||西晉・咸寧5年12月|馬隆が涼州を平定
280年5月1日-08:00|中国| ||西晉・咸寧6年;呉・天紀4年3月15日|<廃位>呉第4代皇帝「末帝(孫皓)」晋に降伏し、晋の中国全国統一が成る
280年5月16日-08:00|中国| ||西晉・太康1年4月|晋・武帝が太康と改元
280年11月9日-09:00|朝鮮| ||高句麗・西川王11年10月|肅慎が来寇し辺境の民を殺傷/王は達賈を討伐に向かわせ檀盧城を抜き、酋長を殺した
282年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラハ)「フラタダルマン」(~295年)
282年1月26日-08:00|中国| ||西晉・太康3年1月|泰州を廃止して、雍州に併せる
282年3月26日-08:00|中国| ||西晉・太康3年3月|安北將軍の嚴詢が、昌黎で慕容渉帰を撃破
282年9月-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「マルクス・アウレリウス・プロワス」カスの反乱により暗殺される
282年9月-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「カルス」プロワスの近衛隊長。戦争中にプロワスを暗殺、指揮権を奪う(~283年8月、落雷による事故で急死)
282年10月19日-08:00|中国| ||西晉・太康3年9月|呉のものと武將莞恭・帛奉が反乱をおこし、揚州を包囲する/ケイ喜がこれを鎮圧

0400迄 (1625件)

283年2月14日-08:00|中国| ||西晋・太康4年|<死去>吐谷渾第1代君主「慕容涉帰」
283年2月14日-08:00|中国| ||西晋・太康4年|<即位>吐谷渾第2代君主「慕容吐谷渾」慕容涉帰の庶長子(〜317年)
283年8月-01:00|イタリヤ| ||夏|<死去>ローマ皇帝「カルス」落雷による事故で急死
283年8月-01:00|イタリヤ| ||夏|<即位>ローマ皇帝「カリス」カルの長男。父が遠征先で戦死すると遠征に同行していた弟と共に皇帝となった(〜285. 7テ・イオクレティアヌス軍との戦いで敗死)；「ヌリアヌス」カルの次男(〜284. 11遠征軍の撤退中、配下の裏切りで暗殺される)
283年10月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・古尔王50年；新羅・味鄒22年9月|百済が国境を侵犯
283年11月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・古尔王50年；新羅・味鄒22年10月|百済が槐谷城を包囲したので、一吉の良質に命じて軍隊を率いて防御
283年12月7日-01:00|パキスタン| |||<死去>第27代ローマ教皇「エウディキウス」
283年12月17日-01:00|パキスタン| |||<就任>第28代ローマ教皇「ガイウス」(〜02960422死去)
284年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「范逸」(〜336年死去)
284年-04:00|ジョージア| |||<即位>イベリア王「ミリアン3世」アスパルキア1世の娘の夫(〜361年死去)
284年1月5日-08:00|中国| ||西晋・太康4年12月|<死去>慕容部鮮卑大人「慕容涉帰」(鮮卑単于)
284年1月5日-08:00|中国| ||西晋・太康4年12月|<即位>慕容部鮮卑大人「慕容耐(刪)」涉帰の弟(〜太康5年(西元285年)12月殺される)
284年2月4日-08:00|中国| ||西晋・太康5年|<死去>呉の最後の皇帝「末帝(孫皓)」が洛陽で/数え43歳(誕生242年)
284年10月26日-09:00|韓国| ||新羅・味鄒24年10月|<死去>新羅王「味鄒尼師今」
284年10月26日-09:00|韓国| ||新羅・儒礼1年10月|<即位>新羅王「儒禮尼師今」(〜298年)
284年11月-01:00|イタリヤ| |||<死去>ローマ皇帝「ヌリアヌス」遠征軍の撤退中、配下の裏切りで暗殺される
284年11月20日-01:00|イタリヤ| |||<即位>ローマ皇帝東方正帝「テ・イオクレティアヌス」属州民出身の軍人皇帝。内乱に決着を付けて専制君主制を確立させた(〜305年5月1日退位〜311年12月3日、自然死)
285年2月22日-09:00|朝鮮| ||西晋・太康6年|<死去>北扶餘国王「依慮王」
285年2月22日-08:00|中国| ||西晋・太康6年|鮮卑族慕容部の慕容耐は部下に殺され、慕容が、即位
285年2月22日-08:00|中国| ||吐谷渾1年|東部鮮卑慕容部の吐谷渾は自らの部衆を率いて陰山(現・内モンゴル自治区)に出奔(〜317年)建国
285年2月22日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||西晋・太康6年|慕容がによって、扶余は全軍が撃破され、王の依慮(イ)は自殺し、子弟は逃れて沃土に保護された
285年7月-01:00|イタリヤ| |||<死去>ローマ皇帝「カリス」テ・イオクレティアヌス軍との戦いで敗死/テ・イオクレティアヌスは内乱に決着を付けて専制君主制を確立
286年1月12日-08:00|中国| |||<死去>慕容部鮮卑大人「慕容耐(刪)」殺される
286年1月12日-08:00|中国| |||<即位>慕容部鮮卑大人「慕容が」涉帰の次男嫡子(〜咸和8年5月(333年6月4日)死去)
286年2月11日-09:00|朝鮮| ||西晋・太康7年|<即位>北扶餘国王「依羅王」
286年2月11日-08:00|中国| ||西晋・太康7年|<死去>拓跋部鮮卑大人「章帝(拓跋悉鹿)」
286年2月11日-08:00|中国| ||西晋・太康7年|<即位>拓跋部鮮卑大人「平帝(拓跋綽)」力微の子、悉鹿の弟(〜293年死去)
286年3月12日-09:00|朝鮮| ||高句麗・西川王17年2月|王弟の逸友と素勃らの二人が謀叛、これを誅罰
286年4月1日-01:00|イタリヤ/ベルギー/フランス/スペイン/スイス/イギリス| |||<即位>ローマ皇帝西方正帝「マクシミアヌス」属州民出身の将軍。テ・イオクレティアヌスの側近として共同皇帝(西方正帝)に任命(〜03110501, テ・イオクレティアヌスの引退に合わせて自らも退位)
286年5月11日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||西晋・太康7年夏|慕容がは部下の将軍孫丁を差し向けたが賈沈は力戦して孫丁を斬り、依羅が西晋の援助で扶余国を再建
286年12月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・古尔王53年11月|<死去>百済王「古尔王」
286年12月3日-09:00|韓国| ||百済・責稽王1年11月|<即位>百済王「責稽王」(〜298年)
287年-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「ティリダテス3世」ローマ保護国(〜330年死去)
287年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アル=ハリス1世」バシム・ザラハフ(〜307年)
287年4月30日-09:00|韓国/日本| ||新羅・儒礼4年4月|倭人が一礼部を襲って火をつけて焼き払い、民一千人をつかまえて去った
288年-01:00|イタリヤ/アルメニア/イラク| |||ササン朝、ローマと和解し、北メソポタミアとアルメニアを譲渡
289年-07:00|カンボジア| |||<即位>扶南王「ファン・ティアンジュ」(〜357年)
289年5月7日-08:00|中国| ||西晋・太康10年4月|慕容がは降伏の使者を派遣
290年5月16日-08:00|中国| ||西晋・永熙1年4月21日|<死去>西晋初代皇帝「世祖武帝(司馬炎)」/54歳(誕生237年)
290年5月16日-08:00|中国| ||西晋・永熙1年4月21日|<即位>西晋第2代皇帝「孝惠帝(司馬衷)」(〜307. 1. 8)/永熙に改元
291年1月29日-09:00|韓国| ||西晋・永熙1年12月14日|<死去>伽耶王「麻品王(成王)」
291年1月29日-09:00|韓国| ||西晋・永熙1年12月14日|<即位>伽耶王「居叱弥王(徳王)」(〜03460707死去)
291年2月16日-08:00|中国| ||西晋・永平1年正月|永平と改元
291年4月16日-08:00|中国| ||西晋・元康1年3月|元康と改元
291年7月26日-08:00|中国| ||西晋・元康1年6月13日|<死去>楚王「司馬乂」晋の恵帝の皇后の賈后(35)が処刑

0400迄 (1625件)

292年 06:00|ケ アテマ| |||<即位>ティアル王「Balam Ajaw(葉のジャガー)」
292年2月5日-09:00|朝鮮| ||高句麗・西川王23年|<死去>高句麗王「西川王」
292年2月5日-09:00|朝鮮| ||高句麗・西川王23年|<即位>高句麗王「烽上王」(~300年)
292年7月2日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||新羅・儒礼9年6月|倭の兵が沙道城を攻め陥そうとしたので、一吉の大谷に命じて、兵を率いて救援させ守った
293年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラパ)「ヴァイスガアセナ」(~304年)
293年-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第5代シャーンシャーン「ハハラム2世」
293年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第6代シャーンシャーン「ハハラム3世」(~4ヶ月間)⇒第7代シャーンシャーン「ナルセ1世」(~303年死去)
293年-01:00|イタリア/トルコ| |||ディオクレティアヌス帝、東西に正副二帝を置き、帝国の四分統治を開始
293年1月25日-08:00|中国| ||西晉・元康3年|<死去>宇文部鮮卑大人「莫槐」
293年1月25日-08:00|中国| ||西晉・元康3年|<死去>拓跋部鮮卑大人「平帝(拓跋綽)」
293年1月25日-08:00|中国| ||西晉・元康3年|<即位>宇文部鮮卑大人「普撥」莫槐の弟
293年1月25日-08:00|中国| ||西晉・元康3年|<即位>拓跋部鮮卑大人「思帝(拓跋弗)」沙漠汗の少子(~294年死去)
293年9月18日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・烽上王2年8月|鮮卑の慕容廆が高句麗に来寇/烽上王は逃れ、新城の北部の長である小兄の高奴子が賊軍と奮戦し賊軍は敗退
294年-04:00|アルメニア/イラン| |||アルメニアをパルティア帝国が占領(~298年)
294年2月12日-08:00|中国| ||西晉・元康4年|<死去>拓跋部鮮卑大人「思帝(拓跋弗)」
294年2月12日-08:00|中国| ||西晉・元康4年|<即位>拓跋部鮮卑大人「昭帝(拓跋禄官)」(~307年死去)
294年5月12日-09:00|日本/韓国| ||新羅・儒礼11年夏|倭の兵が長峯城を攻撃して来たが勝てなかった
296年4月22日-01:00|パチン| |||<死去>第28代ローマ教皇「カイウス」
296年6月30日-01:00|パチン| |||<就任>第29代ローマ教皇「マルケリウス」(~3040401死去)
296年9月14日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・烽上王5年8月|鮮卑の慕容廆が高句麗に来寇するが引き返した
297年-05:30|インド| |||このころ、南インド、パッラヴァ朝おこる(~910)
297年-05:30|インド| |||マハーバータ、ラーマヤナの2大叙事詩が成立
297年-02:00|エジプト/イタリア| |||エジプト、反ローマの蜂起、ディオクレティアヌス帝がエジプトでの反乱鎮圧を開始(~298)
297年 00:00|モロッコ/イタリア| |||マクシミアヌス帝がアフリカでベルグル人の蜂起を鎮圧
297年1月11日-08:00|中国| ||仇池・楊茂搜1年12月|<即位>前仇池君主「楊茂搜」氐族部衆に擁立され(~317.12死去)/建国後は仇池公を称し、武都、陰平の2郡を統治
297年2月9日-09:00|韓国| ||新羅・儒礼14年正月|伊西古国が金城を攻撃、新羅軍は防いだが退けることができなかった/異様な姿の兵隊がやってきて新羅軍と共に賊を攻撃して打ち破った
298年10月22日-09:00|韓国/中国| ||百済・責稽王13年9月|<死去>百済王「責稽王」漢が貊とともに侵襲殺された
298年10月22日-09:00|韓国| ||百済・汾西王1年9月|<即位>百済王「汾西王」(~304.10暗殺される)
299年1月19日-09:00|韓国| ||新羅・儒礼15年12月|<死去>新羅王「儒禮尼師今」
299年1月19日-09:00|韓国| ||新羅・基臨1年12月|<即位>新羅王「基臨尼師今」(~310年)
300年-13:30|キバース| |||ポリネシア人がマルカサ諸島へ移住
300年-05:30|インド| |||プラーナ文献の編纂
300年-02:00|ウクライナ| |||クリミアはゴート族によって支配(~375年)
300年-02:00|ジンバブエ| |||バンツ系諸族がリンボポ川のトランスバルへ到着
300年 07:00|メキシコ| |||ティエリカンの侵入により、マヤ文化の中心が南部高地から中部密林に移る。マヤ古典文化の誕生/このころからメキシコ盆地でカボの栽培がはじまる
300年2月7日-09:00|韓国/日本| ||新羅・基臨3年正月|倭国と国使の交換をした
300年4月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・基臨3年3月|楽浪・帯方の両国が服属してきた
300年5月5日-08:00|中国| ||西晉・永康1年夏4月|趙王司馬倫は賈后を殺害し、反対派を粛清し、自ら相国となる(八王の乱の始まり)
300年8月31日-09:00|朝鮮| ||高句麗・美川王1年8月|<即位>高句麗王「美川王」(~331年)
300年8月31日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・烽上王9年8月|<廃位>高句麗「烽上王」
300年11月28日-08:00|中国| ||西晉・永康1年11月|趙欽の乱/耿騰は兵を率いて入州したが、趙欽は兵を派遣して迎撃し耿騰は敗死/陳総の軍は壊滅、陳総は戦死
301年-04:00|アルメニア| |||アルメニア人がキリスト教を国家宗教として受容、初のキリスト教国に
301年-01:00|イタリア| |||ディオクレティアヌス帝が最高価格令を發布
301年1月26日-08:00|中国| ||西晉・永康2年|<即位>前涼初代君主「太祖武穆公(張軌)」(~314年5月)
301年1月26日-08:00|中国| ||西晉・永康2年1月|惠帝は帝位を司馬倫に奪われ幽閉される/司馬倫が帝を称す
301年1月26日-08:00|中国| ||西晉・永康2年1月|李特は費遠軍へ夜襲をかけ益州刺史趙旻陣営を焼き払った/費遠軍の兵卒は八割方が戦死/李特はそのまま成都めざして進撃/趙旻は妻と共に小舟に乗って逃げたが広都にて従者達から殺された
301年3月26日-08:00|中国| ||西晉・永康2年3月|羅尚は成都へ入った/文山のきょう族が造反したので、羅尚は王敦を差し向けたが、王敦は戦死
301年5月24日-08:00|中国| ||西晉・永寧1年4月|<復位>西晉第2代皇帝「孝惠帝(司馬衷)」(~307.1.8)永寧に改元
301年9月3日-01:00|サマリヤ| |||<建国>サマリヤ
301年11月17日-08:00|中国| ||西晉・永寧1年10月|広漢都尉の曾元、牙門の張頭、劉並等を大将として、三万の軍勢で李特の陣営を襲撃/官軍は大勢戦死、田佐・曾元・張頭は戦死

0400迄 (1625件)

302年-03:00|イラク/イラン| |||<即位>ササン朝第8代シャーンシャーン・ホルミズド2世(~309年)
302年6月12日-08:00|中国| ||西晋・永寧2年5月|河間王(当時政権を握っていた八王の一人)は、李特討伐の為に督護の衙博を派遣、羅尚は張亀を繁城まで出陣/李特は、息子の李蕩に衙博を襲撃させ、自らは張亀を攻撃してこれを撃破、李蕩も衙博を破った
302年9月9日-08:00|中国| ||西晋・永寧2年8月|李特は張微を攻撃、張微はこれを撃退し、李特の陣営へ逆襲/李蕩が救援に駆けつけ張微の軍を破った/李特は再び進撃し張微を殺した/李驤に羅尚が攻撃をかけたが、屢々敗北、李驤は成都まで進攻
302年10月8日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・美川王3年9月|高句麗王は兵を率いて漢の玄菟郡など4郡に侵攻、捕虜八千人を獲得し平壤に移す
303年-03:30|イラン| |||<死去>ササン朝第7代シャーンシャーン・ナルセ1世
303年-03:30|イラン| |||<即位>ササン朝第8代シャーンシャーン・ホルミズド2世(~309年死去)
303年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ホースロース王(サパルゴス朝)「レスカボリス6世」(~342年死去)
303年1月5日-08:00|中国| ||西晋・太安1年12月|惠帝を復位させ当時実権を握っていた齊王司馬冏が殺害される/長沙王司馬乂などが実権を握る
303年1月5日-08:00|中国| ||西晋・太安1年12月|元号が太安に改められた
303年2月-01:00|イタリヤ| |||テオクレティアヌス帝がキリスト教徒の迫害を開始
303年2月3日-08:00|中国| ||成漢・建初1年正月|<即位>成漢初代皇帝「李特」(~2月)年号を建初と定めて自立を宣言
303年2月3日-08:00|中国| ||西晋・太安2年正月|李特は羅尚を攻撃/卑水の羅尚軍は逃げ出し蜀郡太守の徐儉は降伏
303年3月4日-02:00|トルコ/イタリヤ| |||ニコメディアで聖アトリア(ハトリア)が殉教
303年3月5日-08:00|中国| ||成漢・建初1年2月|<即位>成漢第2代皇帝「秦文王(李流)」(~9月)
303年3月5日-08:00|中国| ||西晋・太安2年;成漢・建初1年2月|羅尚は李特の陣へ大攻撃、李特軍は大敗/李特、李輔、李遠は斬罪
303年4月3日-08:00|中国| ||西晋・太安2年;成漢・建初1年3月|羅尚は督護の何冲と常深を李流攻撃に派遣、陪陵の葉紳が決起して李流を攻撃、苻成と隗伯は何冲へ内通/常深と葉紳を撃破した李流軍は何冲と戦い撃破
303年4月23日-01:00|イタリヤ| |||キリスト教の聖職者の一人ゲオルギウスが死去
303年6月2日-08:00|中国| ||西晋・太安2年;成漢・建初1年5月|李流は子息の李世と、李含の子の李胡を人質として孫阜軍へ差し出し/李離は、李雄と共に孫阜襲撃を企て大いにこれを破った/荊軍は退却
303年7月1日-08:00|中国| ||西晋・太安2年;成漢・建初1年6月|李雄は文山太守の陳図を殺し卑城を占領
303年9月28日-08:00|中国| ||成漢・建初1年9月|<死去>成漢第2代皇帝「秦文王(李流)」重病で
303年9月28日-08:00|中国| ||成漢・建初1年9月|<即位>成漢第3代皇帝「武帝(李雄)」(~334年6月)304年までは「成都王」を自称、以後は「成」の皇帝と称する。
303年9月28日-08:00|中国| ||西晋・太安2年;成漢・建初1年9月|羅尚は隗伯に卑城を攻撃させたが李驤が襲い、大いに敵を破った/李驤軍は少城内へ攻め込んだ/李驤は更に建為を攻撃し、太守の龍恢を捕らえ殺した
303年9月28日-08:00|中国| ||成漢・建初1年9月|李流は重病で死んだ/人々は李雄を推して大都督、大將軍、益州牧、治卑城へ祭り上げた
304年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプura王国国王「Sirimeghavanna」Mahasenaの息子(~332年)
304年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西グジャラト)「ルトラムハ2世」(~348年)
304年1月21日-01:00|イタリヤ| |||キリスト教の聖人、聖アグネスが殉教
304年1月24日-08:00|中国| ||西晋・太安2年;成漢・建初1年閏12月|李雄は羅尚へ猛攻を加え、羅尚は牙門の張羅を城へ留め、自身は川伝いに東へ逃げ、張羅は開門して降伏
304年2月12日-08:00|中国| ||西晋・永安1年1月|永安と改元
304年2月12日-08:00|中国| ||西晋・永安1年1月|長沙王(司馬乂)が、成都王(司馬穎)、河間王(司馬懿)に攻め滅ぼされる
304年3月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・責稽王19年2月|百済の責稽王が楽浪の西部を奪取
304年4月1日-01:00|バチカン| |||<死去>第29代ローマ教皇「マルクリヌス」
304年8月8日-08:00|中国| ||西晋・建武1年7月|建武と改号
304年8月8日-08:00|中国| ||西晋・建武1年7月|鮮卑索頭部の拓跋猗施は、猗廬と兵を合わせ、西河にて南匈奴の劉淵を撃破
304年10月-08:00|中国| ||前趙・元熙1年|<即位>漢(前趙)初代王「高祖光文帝(劉淵)」南匈奴ゼンウの末裔が漢(前趙)を建国し左国城へ遷都(⇒308年途中から皇帝と称する~310年8月19日)元熙1年と建元
304年11月4日-09:00|韓国| ||百済・汾西王7年10月|<死去>百済王「汾西王」楽浪太守の放った刺客に暗殺される
304年11月4日-09:00|韓国| ||百済・比流王1年10月|<即位>百済王「比流王」(~344年)
304年11月4日-08:00|中国| ||成漢・建興1年10月|成漢第3代皇帝「武帝(李雄)」は成都王を名乗り、建興(-306年6月)と改元/晋の法律を破棄し、七章の法律を制定/父親の李特へは、成都景王の称号を追封
304年12月4日-08:00|中国| ||西晋・永安1年11月|永安に元号を戻す
305年-09:00|日本| |||天理市のマカ古墳がこのころ築造、国内最古級か?
305年1月12日-08:00|中国| ||西晋・永興1年12月|永興と改元
305年5月1日-02:00|エジプト/ギリシャ/北マケドニア/シリア・アラブ/トルコ| |||<即位>ローマ皇帝東方正帝「ガレリウス」属州民出身の將軍、テオクレティアヌスの後を継ぐ(~03110505自然死)
305年5月1日-01:00|フランス/イタリヤ/スペイン/イギリス| |||<即位>ローマ皇帝西方正帝「コンスタンティウス・クロルス」クラウディウス2世とクイン

0400迄 (1625件)

ツルスの姪クラウディアの末裔を自称 (~03060725自然死)
305年5月1日-01:00|イタリア/フランス/スペイン/イギリス| ||<退位>ローマ皇帝「ディオクレティアヌス」(311年12月3日, 自然死)
306年6月-01:00|イタリア/フランス/スペイン/イギリス| ||<夏<即位>ローマ皇帝西方正帝「フラウィウス・ウァレリウス・セウェルス」属州民出身 (~03070916, コンスタンティウス・クロスの息子コンスタンティヌス1世とマクシミアヌスの息子マクセンティウスに反乱を起され敗北。マクセンティウスにより処刑される)
306年6月28日-08:00|中国| ||西晋・光熙1年6月|光熙に改元
306年6月28日-08:00|中国| ||成漢・晏平1年6月|成都王雄は、皇帝位へ即き、改元して晏平とする/国号は「大成」/父の李特を尊んで景皇帝とおくり名
306年7月25日-01:00|フランス/イタリア/スペイン/イギリス| ||<死去>ローマ皇帝西方正帝「コンスタンティウス・クロス」
306年10月28日-01:00|イタリア/フランス/スペイン/イギリス| ||<即位>ローマ皇帝西方正帝「マクセンティウス」マクシミアヌスの息子。反乱を起こし、篡奪 (~03121028, コンスタンティヌス1世の軍勢に敗死)
306年12月22日-08:00|中国| ||西晋・光熙1年11月|<死去>西晋第2代皇帝「孝惠帝(司馬衷)」毒殺、東海王が政権を掌握し八王の乱が終結
307年-02:00|ヨルダン| ||<即位>ガッサン王「ヤハラー1世バシム・アル＝ハリス1世」(~317年)
307年1月11日-08:00|中国| ||成漢・晏平1年11月21日|<即位>西晋第3代皇帝「孝懷帝(司馬熾)」(~311年7月13日)永嘉に改元
307年2月19日-09:00|韓国| ||新羅・基臨10年|国号をまた新羅にもどした
307年2月19日-08:00|中国| ||西晋・永嘉1年|<死去>拓跋部鮮卑大人「昭帝(拓跋禄官)」
307年2月19日-08:00|中国| ||西晋・永嘉1年|<即位>前燕「慕容が高祖宣武帝」(~咸和8年5月(333年6月4日)死去)
307年2月19日-08:00|中国| ||西晋・永嘉1年|<即位>拓跋部鮮卑大人「穆帝(拓跋猗盧)」沙漠汗の次男(~315年2月代王~316年死去)
307年9月16日-01:00|イタリア/フランス/スペイン/イギリス| ||<死去>ローマ皇帝西方正帝「フラウィウス・ウァレリウス・セウェルス」コンスタンティウス・クロスの息子コンスタンティヌス1世とマクシミアヌスの息子マクセンティウスに反乱を起され敗北。マクセンティウスにより処刑される
308年3月9日-08:00|中国| ||西晋・永嘉2年2月|西内史の張越は兄の酒泉大守張鎮と、西平大守曹去を引きずり込んで謀略を巡らせた/張軌は曹去攻撃を張寔へ命じ張寔は曹去を攻撃し斬り殺した。張越は逃げた
308年5月27日-01:00|パチン| ||<就任>第30代ローマ教皇「マルケルス1世」(~03090116死去)
308年11月3日-08:00|中国| ||前趙・永鳳1年10月4日|匈奴の族長漢王劉淵が皇帝を称し、永鳳と改元
308年11月11日-02:00|エジプト/ギリシャ/北マケドニア/シリア/アラブ/トルコ| ||<即位>ローマ皇帝東方正帝「リキニウス・ガレリウス」の側近(~03240918捕らえられてテッサロニアに幽閉された)
309年-03:30|イラン| ||<死去>ササン朝第8代シャハーン「ホルミズド2世」
309年-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第9代シャハーン「アードゥル・ナルセル」(~同年死去)⇒第10代シャハーン「シャプール2世」(~379年死去)
309年-02:00|ウクライナ| ||<死去>ホースロース王(サハルコス朝)「トルクス1世」
309年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ホースロース王(サハルコス朝)「ラダミテス1世」共同統治(~323年死去)
309年1月16日-01:00|パチン| ||<死去>第30代ローマ教皇「マルケルス1世」
309年1月28日-08:00|中国| ||西晋・永嘉3年|慕容が、晋の遼東太守・東夷校尉を滅ぼして勢力を確立
309年1月28日-08:00|中国| ||前趙・永鳳2年1月|漢王劉淵が平陽に遷都
309年3月28日-08:00|中国| ||前趙・永鳳2年3月|劉淵は黎陽を攻撃撃破、延津にて王堪を撃破/更に、壺関を攻撃、劉昆(「王/昆」)軍撃破/晋の太傅司馬越は劉聡軍を防がせたが長平で敗北
309年6月24日-08:00|中国| ||前趙・河瑞1年5月|<改元>漢(前趙):河瑞(~310年6月)
309年9月21日-08:00|中国| ||前趙・河瑞1年|西晋・永嘉3年8月|劉淵は洛陽へ進攻、晋は撃破された
309年10月20日-08:00|中国| ||前趙・河瑞1年9月|弘農太守の垣延が降伏と偽って夜襲を掛け劉聡は大敗して退却/幽州諸軍事王浚が祈弘と鮮卑の段務物塵に石勒を迎撃させ、飛龍山にて大いに破った
309年11月19日-08:00|中国| ||前趙・河瑞1年|西晋・永嘉3年10月|劉淵は再び討伐軍を派遣、洛陽城下まで進撃/北宮純が勇士千余人を率いて夜襲を掛け漢軍は総崩れとなって退却
310年-09:00|日本| ||岡山市の湯迫車塚古墳がこのころ築造
310年-09:00|日本| ||山城町の椿井大塚山古墳がこのころ築造
310年-05:30|インド| ||<即位>クシャナ朝君主「Chhu」(~325年)
310年-05:30|インド| ||ヴァーカータ朝「ラウァラセナ1世」がデカンの大半を支配
310年 00:00|イギリス| ||<死去>ピクト王「Vipoig」
310年 00:00|イギリス| ||<即位>ピクト王「Fiachu Albust of the Picts」(~340年)
310年2月16日-08:00|中国| ||前趙・河瑞2年1月|漢の鎮東大將軍の石勒は、河を渡って白馬を抜いた。王彌率いる三万の大軍が合流し、徐・豫・兗州を荒らし回った
310年3月17日-08:00|中国| ||前趙・河瑞2年2月|漢の鎮東大將軍の石勒は兗州刺史の袁浮と王堪を殺し、倉垣を抜いた
310年4月18日-01:00|パチン| ||<就任>第31代ローマ教皇「エベリウス」(~8.17)
310年6月-01:00|フランス/イタリア/スペイン/イギリス| ||<死去>元ローマ帝国共同皇帝(西方正帝)マクシミアヌスがコンスタンティヌス1世により処刑される
310年7月13日-09:00|韓国| ||新羅・基臨13年6月|<死去>新羅王「基臨尼師今王」
310年7月13日-09:00|韓国| ||新羅・訖解1年6月|<即位>新羅王「訖解尼師今」(~356年)
310年8月12日-08:00|中国| ||前趙・光興1年7月|漢の劉聡・劉曜・石勒・趙国が河内太守の裴整を懷で包囲/晋は救援軍を派遣したが石勒と王桑がこれを迎撃し將軍を殺した/河内の住民は裴整を捕らえて降伏

0400迄 (1625件)

310年8月17日-01:00|パチン| |||<死去>第31代ローマ教皇「エベルス」
310年8月19日-08:00|中国| ||前趙・光興1年7月8日|<死去>漢(前趙)初代皇帝「高祖光文帝(劉淵)」
310年8月19日-08:00|中国| ||前趙・光興1年7月8日|<即位>漢(前趙)第2代皇帝「梁王(劉和)」(~25日)
310年8月25日-08:00|中国| ||前趙・光興1年7月14日|<死去>漢(前趙)第2代皇帝「梁王(劉和)」劉聡が都に突撃し殺す/劉鋭、呼延悠、劉乗を捕らえ、梟首
310年8月25日-08:00|中国| ||前趙・光興1年7月14日|<即位>漢(前趙)第3代皇帝「烈宗昭武帝(劉聡)」(~318年8月31日)光興(-311年5月)と改元
310年11月8日-08:00|中国| ||西晉・永嘉4年10月|劉琨が劉虎を攻撃、そのまま鮮卑族白部まで攻撃/拓跋猗廬の援兵と攻撃/白部と劉虎を撃破し部族を屠った
311年2月5日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年|李驤が流民達をかき集め、楽郷に據って造反/南平太守の応言と、醴陵令の杜弼が協力してこれを撃破
311年4月30日-02:00|エジプト/ギリシャ/北マケドニア/シリア・アラブ/トルコ| |||ローマ帝国東正帝「ガレウス」がキリスト教寛容令を発布
311年5月1日-01:00|イタリア/フランス/スペイン/イギリス| |||<退位>ローマ皇帝西方正帝「マクシムス・デ・イオクレティアヌス」の引退に合わせ
311年5月5日-02:00|エジプト/ギリシャ/北マケドニア/シリア・アラブ/トルコ| |||<死去>ローマ皇帝東方正帝「ガレウス」
311年5月5日-02:00|エジプト/ギリシャ/北マケドニア/シリア・アラブ/トルコ| |||<即位>ローマ皇帝東方正帝「マクシムス・ダイア」がガレウスの甥(~313. 8叔父の死後にリキウスと帝位を争うも、敗れて戦死)
311年5月5日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年4月|杜弼は長沙を攻撃
311年6月3日-08:00|中国| ||成漢・玉衡1年5月|<改元>成漢・玉衡(-334年)
311年6月3日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年5月|荀眺は城を棄てて廣州へ逃げたが、杜弼は追撃して捕らえた/杜弼は勢いに乗り、南は零・桂を破り、東は武昌を掠めた
311年7月2日-01:00|パチン| |||<就任>第32代ローマ教皇「ミルティアデス」(~03140110死去)
311年7月3日-08:00|中国| ||前趙・嘉平1年6月|嘉平(-315年2月)と改元
311年7月13日-08:00|中国| ||前趙・嘉平1年;西晉・永嘉5年6月11日|<永嘉の乱>晋の都洛陽を包囲していた漢軍の王彌軍が宣陽門を破って城内に乱入/洛陽は占領され、晋の皇帝懷帝司馬熾は捕らえられる
311年7月13日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年6月11日|<廃位>西晉第3代皇帝「孝懷帝(司馬熾)」
311年8月1日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年7月|劉琨、高陽内史の希と連合/王浚は怒り、燕相の胡矩と、遼西公の段疾陸眷に希を攻撃させ、これを殺した
311年8月31日-09:00|朝鮮| ||高句麗・美川王12年8月|高句麗が兵を送って遼東郡西安平県を略取
311年8月31日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年;前趙・嘉平1年8月|漢の劉聡は趙染と安西將軍劉雅に司馬模を攻撃させ、潼関の戦いで司馬模を撃破/漢軍は長安を包囲、司馬模は漢へ降伏
311年9月29日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年;前趙・嘉平1年9月|漢の劉曜は司馬模を殺した/司馬模が死んだ後、息子の司馬保が南陽王を襲爵
311年9月29日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年9月|石勒は蒙城を襲い、晋の豫章王司馬端と荀晞を捕らえた
311年10月29日-08:00|中国| ||西晉・永嘉5年10月|漢の石勒は王彌を斬り殺し、その部下を全て吸収
311年12月3日-02:00|エジプト/ギリシャ/北マケドニア/シリア・アラブ/トルコ| |||<死去>元ローマ帝国共同皇帝(東方正帝)「デ・イオクレティアヌス」
312年4月23日-09:00|日本/韓国| ||前趙・嘉平2年3月|倭国王、新羅に遣使して、王子のために婚を求める/阿餐(6等官)急利の女を以てこれに送る
312年10月17日-08:00|中国| ||西晉・永嘉6年9月|秦州刺史の排苞は陰阻な地形で涼州軍を迎撃したが、張寔と宋配はこれを撃破し、排苞は柔凶まで逃走
312年10月28日-01:00|イタリア/フランス/スペイン/イギリス| |||<死去>ローマ皇帝西方正帝「マクセティアヌス」コンスタンティヌス1世の軍勢に敗死
312年10月29日-01:00|イタリア/フランス/スペイン/イギリス| |||<即位>ローマ皇帝西方正帝「コンスタンティヌス1世」コンスタンティヌス・クロスの息子(~03240909全ローマの皇帝~03370522自然死)
313年1月14日-08:00|中国| ||西晉・永嘉6年12月|石勒は変安、苑郷を攻撃/王浚は、襄國の石勒を攻撃/段疾陸眷は北城攻撃/石勒軍の孔萇は段末破を捕らえ、段疾陸眷は撤退/石勒は信都を攻撃し、冀州刺史の王象を殺した
313年3月14日-08:00|中国| ||西晉・永嘉7年2月1日|<永嘉の乱>漢の捕虜となった西晉の皇帝・懷帝が漢の皇帝・劉聡により処刑される⇒五胡十六国時代へ
313年5月12日-08:00|中国| ||西晉・建興1年|杜弼来寇/陶侃は朱伺に迎撃させ、敵を大いに破った
313年5月12日-08:00|中国| ||西晉・建興1年4月|石勒は、石虎に業を攻撃させ業は壊滅/劉演は廩丘へ逃げた/石勒は更に上白の李憚を攻撃してこれを斬った/拓跋猗廬は右賢王の六修を派兵したが、段疾陸眷に撃退された
313年6月-01:00|イタリア| |||ローマ皇帝コンスタンティヌス1世が、キリスト教会を公認とともに禁教令を廃止「ミノ勅令」を発す
313年6月7日-08:00|中国| ||西晉・建興1年4月27日|<即位>西晉第4代皇帝「孝愍帝(司馬昱)」長安で(~316年12月11日)建興に改元
313年6月10日-08:00|中国| ||西晉・建興1年5月|石勒は孔萇に定陵を攻撃させ、田徽を殺した/薄盛は任地ごと石勒へ降伏/山東の郡県は相継いで石勒に占領された/烏桓も又、王浚に背き、石勒へひそかに帰順
313年8月-02:00|トルコ/エジプト/ギリシャ/北マケドニア/シリア・アラブ| |||<死去>ローマ皇帝東方正帝「マクシムス・ダイア」叔父の死後にリキウスと帝位を争うも、敗れて戦死
313年11月5日-08:00|中国| ||西晉・建興1年10月|王冲、杜曾と共に造反して陶侃を攻撃し陶侃は大敗
313年11月5日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・美川王14年10月|高句麗が楽浪郡・帯方郡を滅ぼす
314年1月10日-01:00|パチン| |||<死去>第32代ローマ教皇「ミルティアデス」

0400迄 (1625件)

314年1月31日-01:00|パチカン| |||<就任>第33代ローマ教皇「シルヴェステル1世」(~03351231死去)
314年2月1日-08:00|中国| ||西晋・建興2年;成漢・玉衡4年正月|梁州では張感が起兵して楊難敵を追い出し、梁州ごと成へ帰順/漢嘉・倍陵・漢中は成の領土になった
314年4月1日-08:00|中国| ||西晋・建興2年3月|石勒の軍は薊へ入城し、略奪を働いた/王浚は堂皇へ逃げ出したが、石勒はこれを捕らえた/王浚は襄国の市で斬罪
314年4月1日-08:00|中国| ||西晋・建興2年3月|杜弼の將軍王眞が陶かんを攻撃し、陶かんは摂中まで逃げた/周訪が救援に駆けつけ、両者で協力して杜弼軍を撃破
314年5月-08:00|中国| ||前凉・建興2年|<即位>前凉第2代君主「高祖昭公(張寔)」(~320年)建国
314年9月26日-09:00|朝鮮| ||高句麗・美川王15年9月|高句麗が南の帶方郡を侵略
315年3月22日-08:00|中国| ||代・穆皇帝1年2月|<即位>拓跋部鮮卑大人「穆帝(拓跋猗盧)」⇒初代代王(~316.3死去)鮮卑族の拓跋氏が自立
315年3月22日-08:00|中国| ||西晋・建興3年2月|王敦は、陶かんと甘卓に杜弼を攻撃させ、杜弼は丞相の琅邪王へ降伏/杜弼は再び反旗を翻し麾下の將軍杜弘と張彦を派遣して臨川内史の謝擒を殺し、遂に豫章を落とした
315年3月22日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・美川王16年2月|高句麗が玄菟城を攻め破り、甚だ多くの衆を獲得
315年3月22日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・美川王16年2月|高句麗、漢の4郡を平定し朝鮮半島から中国勢力を駆逐
315年4月21日-08:00|中国| ||前趙・建元1年3月|<改元>漢(前趙):建元(~316年11月)
315年4月21日-08:00|中国| ||西晋・建興3年3月|周訪は張彦を攻撃して斬り殺した/杜弘は臨賀へ逃げた
315年7月18日-08:00|中国| ||西晋・建興3年6月|杜弼が王眞に出撃させたが王眞は、陶かんへ降伏、杜弼軍は壊滅し杜弼は身投げ
316年4月9日-08:00|中国| ||代・文平皇帝1年3月|<死去>初代代王「穆帝(拓跋猗盧)」六修に殺された
316年4月9日-08:00|中国| ||代・文平皇帝1年3月|<即位>第2代代王「文平帝(拓跋普根)」猗盧の子/六修を破って殺し(~4月)
316年5月8日-08:00|中国| ||代・哀帝1年4月|<死去>第2代代王「文平帝(拓跋普根)」
316年5月8日-08:00|中国| ||代・哀帝1年4月|<即位>第3代代王「(拓跋普根の子)」(~12月)
316年5月8日-08:00|中国| ||西晋・建興4年4月|石勒の命令で、石虎が廩丘の劉演を攻撃/廩丘は陥落し、劉演は段文鸯の軍へ逃げ込んだ
316年12月-02:00|トルコ/ギリシャ| |||<即位>ローマ皇帝東方正帝「ハレリウス・ハレンス」傀儡の共同皇帝(~03170301死去)
316年12月1日-08:00|中国| ||西晋・建興4年11月|石勒は楽平太守の韓據の住む占城を包囲/石勒軍は救援の劉昆・箕澹軍を挟撃し、これを大破/韓據は城を棄てて逃げ出した
316年12月1日-08:00|中国| ||前趙・麟嘉1年11月|麟嘉(~318年6月)と改元
316年12月11日-08:00|中国| ||前趙・麟嘉1年;西晋・建興4年11月11日|<廃位>西晋第4代皇帝「孝愍帝(司馬ギョウ)」漢(前趙)劉曜に滅ぼされる
316年12月31日-08:00|中国| ||代・平文皇帝1年12月|<死去>第3代代王「(拓跋普根の子)」
316年12月31日-08:00|中国| ||代・平文皇帝1年12月|<即位>第4代代王「太祖平文帝(拓跋鬱律)」弗の子(~321年惟氏に殺される)
316年12月31日-08:00|中国| ||西晋・建興4年12月|司空長史の李弘はへい州ごと石勒へ降伏/劉昆は段匹単の元へ逃げ込んだ
317年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西グジャラト)「ヤツタ・マン2世」(~332年)
317年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アル=ハリス2世(ハッラー・ハッ=マリフ)」(~327年)
317年 06:00|ゲアメラ| |||<即位>ティカル王「ウネ・パラム」
317年1月29日-08:00|中国| ||吐谷渾・吐延1年|<死去>吐谷渾初代可汗「慕容吐谷渾」
317年1月29日-08:00|中国| ||吐谷渾・吐延1年|<即位>吐谷渾第2代可汗「吐延」吐谷渾の長子(~329年)/諸〇羌部落を征服し、甘松の南(現在のゾルグ)に汗庭(都)を建てる
317年1月29日-08:00|中国| ||西晋・建興5年1月|張寔は、太府司馬の韓璞と撫じゅう將軍張良に漢討伐を命じ、韓璞軍は総攻撃を掛けたきょう軍を大いに撃破
317年3月1日-02:00|トルコ/ギリシャ| |||<死去>ローマ皇帝東方正帝「ハレリウス・ハレンス」
317年4月6日-08:00|中国| ||東晋・建武1年3月9日|<即位>東晋初代皇帝「中宗元帝(司馬睿)」(~323年1月3日)建武と改元
318年1月19日-08:00|中国| ||仇池・楊難敵1年12月|<死去>前仇池君主「楊茂搜」
318年1月19日-08:00|中国| ||仇池・楊難敵1年12月|<即位>前仇池君主「楊難敵」(~334.1死去)末弟の楊堅頭と共に仇池を分割統治/楊難敵は左賢王を称して下弁に割拠し、楊堅頭は右賢王を称して河池に割拠
318年2月17日-08:00|中国| ||東晋・建武2年1月|<死去>段部鮮卑大人「疾陸眷(就六眷)」
318年2月17日-08:00|中国| ||東晋・建武2年1月|<即位>段部鮮卑大人「涉復辰」務勿塵の弟(~同年段末破に殺される)⇒「末波(末杯)」疾陸眷の従弟(~325年死去)
318年4月27日-08:00|中国| ||東晋・太興1年3月11日|東晋初代皇帝「中宗元帝(司馬睿)」大興と改元
318年6月15日-08:00|中国| ||東晋・太興1年5月|段末破は弟に段匹単を攻撃させ段匹単は大敗して薊へ逃げ帰った
318年8月13日-08:00|中国| ||代・平文皇帝3年7月|代の拓跋鬱律は匈奴の劉虎を攻撃し破った/鬱律は、西は烏孫の故地から東は勿吉の西まで領有
318年8月31日-08:00|中国| ||前趙・漢昌1年7月19日|<死去>漢(前趙)第3代皇帝「烈宗昭武帝(劉聡)」

0400迄 (1625件)

318年8月31日-08:00|中国| ||前趙・漢昌1年7月19日|<即位>漢(前趙)第4代皇帝「隱帝(劉粲)」漢昌(-9月)と改元
318年9月12日-08:00|中国| ||前趙・漢昌1年8月|<死去>漢(前趙)第4代皇帝「隱帝(劉粲)」苻準が兵を動かして光
極殿へ昇り、武装兵に捕らえさせ斬り殺した/苻準は、自ら大將軍・漢天王と号し、百官を設置
318年12月-08:00|中国| ||前趙・光初1年|<即位>前趙第5代皇帝「趙主(劉曜)」(~328年12月)再び建国/光初(-329
年8月)と改元/陳安の乱を平定し、さらに前涼を討って藩国とした
319年-05:30|インド| ||<即位>グプタ朝「チャンドラグプタ1世」パターリプトラを首都に建国(~335年)
319年1月8日-08:00|中国| ||前趙・光初1年12月|左右の車騎將軍、喬泰と王騰及び衛將軍の革康達が共謀して苻
準を殺し、漢へ降伏/石勒は革明を攻撃し、革明は大敗
319年5月6日-08:00|中国| ||前趙・光初2年4月|漢(前趙)劉曜、長安に遷都
319年5月6日-08:00|中国| ||前趙・光初2年4月|周訪は杜曾を攻撃し破った
319年5月6日-08:00|中国| ||前趙・光初2年4月|石勒の命を受け、石虎が鮮卑の日六延を朔方にて撃破/孔萇は幽
州諸郡を荒らし回り、次々と占領
319年5月6日-08:00|中国| ||東晉・太興2年4月|陳川は領地の浚儀ごと、石勒へ降伏/祖逖は、蓬陂の陳川を攻撃、
石勒はこれを救援/祖逖は浚儀にて石虎と戦って敗北、淮南まで退却
319年5月6日-08:00|中国| ||東晉・太興2年4月|南陽王司馬保は、晋王と自称、建康と改元して百官を設置
319年7月4日-08:00|中国| ||前趙・光初2年6月|漢(前趙)第5代皇帝「趙主(劉曜)」(~328年12月)、国号を「漢」から
「趙」に改める(前趙)
319年11月-08:00|中国| ||後趙・石勒1年|<即位>後趙第1代趙王「高祖明帝石勒」(329年から「天王」改元、330年か
ら皇帝~333年8月17日)襄国を首都に
319年12月28日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・美川王20年12月|高句麗・美川王は数回兵を送って遼東を侵略/慕
容がは慕容翰と慕容仁を派遣してこれを征伐
320年-08:00|中国| ||<即位>前涼第3代君主「太宗成王(張茂)」(~324年5月)
320年1月27日-08:00|中国| ||東晉・太興3年1月|段末破が段匹単を攻撃撃破/邵統は段末破をうち破った/段匹
単と段文鸯は薊を奪還しようと、攻撃/石勒は石虎を派遣、孔萇には邵統の十一の別營を攻撃させ、孔萇はこれ
を次々と占領
320年1月27日-08:00|中国| ||東晉・太興3年1月|劉曜が陳倉を攻撃し王連は戦死、楊曼は南ていへ逃げた/劉曜
は更に進撃して草壁を抜き、路松多は隴城へ逃げた/司馬保は懼れ、桑城へ移住
320年2月25日-08:00|中国| ||東晉・太興3年2月|邵統は自ら出撃/石虎は邵統を生け捕り/段文鸯は親衛隊数百
と共に力戦してどうにか薊城へ入城
320年4月24日-08:00|中国| ||東晉・太興3年閏3月|張春と楊次は共謀して司馬保を監禁し殺した/張春は宗室か
ら司馬瞻を選んで世子とし、大將軍と称した/劉曜は陳安を大將軍として司馬瞻を攻撃させ殺した
320年7月22日-08:00|中国| ||東晉・太興3年6月|孔萇が段匹単を攻撃/孔萇は大敗
320年7月22日-08:00|中国| ||前涼・建興8年6月|前涼・帳下の閭渉と牙門の趙卯は張寔の近習十余人と共に、張
寔暗殺/張茂を涼州刺史・西平公へ推戴
321年1月1日-01:00|イリ7| ||コンスタンティヌス1世が日曜日(安息日)と定め、1月1日が主の日(日曜日)で始ま
るこの年(平年)から7日週(7曜・曜日)をユリウス暦に公式に採用
321年1月15日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・美川王21年12月|兵を派遣して遼東を侵略、慕容仁が防戦し、
これを破る
321年4月14日-08:00|中国| ||東晉・太興4年3月|石虎が厭城を包囲/孔萇は幽州の他の諸城を攻撃して悉く陥と
した/邵涓は邵緝や邵竺等と共に降伏/幽、き、へい三州は皆、後趙の領土となった
322年1月5日-08:00|中国| ||代・平文皇帝6年12月|<死去>第4代代王「太祖平文帝(拓跋鬱律)」惟氏に殺される
322年1月5日-08:00|中国| ||代・平文皇帝6年12月|<即位>第5代代王「恵帝(拓跋賀咄)」猗盧の中子(~325年12
月)
322年2月-08:00|中国| ||前趙・光初5年|劉曜は楊難敵を攻撃し破る/仇池の諸てい・きょう及び司馬保の宿将楊
騰や隴西太守梁員は、劉曜へ降伏/劉曜被病し退却/楊難敵が趙の藩屏となることを承諾
322年2月17日-08:00|中国| ||東晉・永昌1年1月15日|東晉の宰相王導の縁者の王敦(56)が反乱を起こす
322年10月27日-08:00|中国| ||東晉・永昌1年10月|後趙は襄城・城父の二県を抜いて焦を包囲/豫州刺史祖約は
これを撃退できず、寿春まで退却/後趙は陳留を奪還
323年-02:00|ウクライナ| ||<死去>ホースロイ王(スパルトコス朝)「ラダムサデス1世」
323年1月3日-08:00|中国| ||東晉・永昌1年閏11月10日|<死去>東晉第1代皇帝「中宗元帝(司馬睿)」
323年1月4日-08:00|中国| ||東晉・永昌1年閏11月11日|<即位>東晉第2代皇帝「肅祖・肅宗明帝(司馬紹)」(~325年
10月18日)
323年1月23日-08:00|中国| ||東晉・永昌1年12月|前涼の三代成公(張茂)は、韓璞將軍に隴西、南安を攻略させ、
ここを占領し秦州とした
323年4月22日-08:00|中国| ||東晉・太寧1年3月|太寧と改元
323年4月22日-08:00|中国| ||東晉・太寧1年3月1日|楊難敵は成に降伏したがその後背いた/李雄は、李含と李稚
を白水へ派遣、李壽と李午を陰平へ派遣/楊難敵に成軍はさんざんに敗れ、李含と李稚は陣没
323年7月20日-08:00|中国| ||東晉・太寧1年6月|陳安は、前趙の征西將軍劉貢を南安で包囲/休屠王の石武が劉
貢と合流して陳安を攻撃して大いにうち破った
323年8月18日-08:00|中国| ||東晉・太寧1年7月|劉曜は隴城を包囲、別働隊には上圭を包囲させた/陳安は出撃
したが敗北/趙の右將軍劉幹は平襄を攻め破る/隴上の諸県は、悉く趙へ降伏/隴城は趙へ降伏/圭も降伏/てい・
きょうは降伏

0400迄 (1625件)

323年9月17日-08:00|中国| ||東晉・太寧1年8月|趙の劉曜が涼州を攻撃/劉曜は冀城の韓璞を攻め、呼延晏は桑壁の陰鑑を攻め、劉曜自身は黄河を攻め上った/前涼の三代成公(張茂)が築いた黄河沿岸の砦は全て壊滅/劉曜は、張茂を、涼王に封じた

324年2月11日-08:00|中国| ||代・惠皇帝3年|代国、維氏は鬱律を殺して、我が子の賀辱を立てた(-325年)

324年2月11日-08:00|中国| ||東晉・太寧2年1月|後趙の将兵都尉石瞻が東莞、東海を占領、司州刺史石生は、前趙の河南太守伊平を新安で斬り殺し、郭誦で陽曜を攻撃したが敗戦/後趙の救援、汲郡内史石聡と司州刺史の李矩、潁川太守の郭默を続けざまに連破

324年5月-08:00|中国| |||<死去>前涼第3代君主「太宗成王(張茂)」

324年5月-08:00|中国| |||<即位>前涼第4代君主「世祖文王(張駿)」(~346年5月)

324年7月3日-02:00|トルコ/ギリシャ| |||<即位>ローマ皇帝東方正帝「マルティヌス」傀儡の共同皇帝(~9. 18)

324年9月9日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/北マケドニア/イギリス/フランス| |||<即位>ローマ皇帝西方正帝「コンスタンティヌス1世」⇒全ローマの皇帝(~03370522自然死)

324年9月18日-02:00|トルコ/ギリシャ| |||<廃位>ローマ皇帝東方正帝「リキウス」コンスタンティヌスに敗れて帝位を失う(325年頃コンスタンティヌス1世により処刑される)

325年-05:30|インド| |||<即位>クシャナ朝君主「Shaka1世」(~345年)

325年-05:30|インド| |||東デカンに、シャランカーヤ朝が興る

325年1月31日-08:00|中国| ||東晉・太寧3年|<即位>段部鮮卑大人「牙」末波の弟⇒「護遼」日陸眷の孫(~338年前燕に降伏)

325年3月21日-01:00|イタリア/トルコ| |||コンスタンティヌス大帝、第一回宗教会議をニカアに開催(ニカア公会議)アリウス派を異端

325年3月31日-08:00|中国| ||東晉・太寧3年3月|後趙の石佗が雁門から出撃して上郡を襲う/劉曜は中山王の劉岳に追撃を命じ劉岳は石佗と河濱で戦い撃破

325年3月31日-08:00|中国| ||仇池・楊難敵9年3月|楊難敵は漢中から仇池へ侵攻し、これを陥落させ、再び仇池を領有するようになった

325年5月29日-08:00|中国| ||東晉・太寧3年5月|後趙の石生が河南を荒らし回った/李矩・郭默が迎撃したが屢々敗北/劉岳は孟津・石梁の二つの砦を陥し、更に進撃して金庸にて石生を包囲/石虎は洛西で劉岳と戦い、これを撃破/石虎は呼延護も撃破

325年6月27日-08:00|中国| ||東晉・太寧3年6月|石虎は石梁を陥した/石虎は、へい州の王騰を攻撃捕らえた後これを殺した/司、預、徐、こん州は全て後趙の領土となり、後趙と東晉の国境線は淮河まで後退

325年10月18日-08:00|中国| ||東晉・太寧3年閏8月25日|<死去>東晉第2代皇帝「肅祖・肅宗明帝(司馬紹)」

325年10月19日-08:00|中国| ||東晉・太寧3年閏8月26日|<即位>東晉第3代皇帝「顯宗成帝(司馬衍)」5歳(~342年7月26日)

326年1月20日-08:00|中国| ||代・惠皇帝4年12月|<死去>第5代代王「惠帝(拓跋賀ル)」

326年1月20日-08:00|中国| ||代・煬皇帝1年12月|<即位>第6代代王「煬帝(拓跋珪那)」猗盧の少子(~329年)

326年3月20日-08:00|中国| ||東晉・咸和1年2月|咸和と改元

326年11月11日-08:00|中国| ||東晉・咸和2年10月|胤は沃干嶺で辛巖を襲撃し破り、韓璞の陣営へ迫り韓璞も大敗/胤軍は振武まで進撃/張良と辛晏は数万の兵卒と共に趙へ降伏/涼州は河南の土地を全て失った

327年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アルムンデール1世」ニ・イビン・アル=ハリス2世(~330), 「アル=アイム・イビン・アル=ハリス2世」(~330), 「アル=ムンデール2世」ジュニア・イビン・アル=ハリス2世(~340), 「アル=ヌマン1世」イビン・アル=ハリス2世(~342), 「ヤハラ=2世」イビン・アル=ハリス2世(~361年)

327年1月-08:00|中国| ||代・煬皇帝3年|前趙の武衛將軍劉朗が仇池を襲撃したが、撃退

327年12月30日-08:00|中国| ||東晉・咸和2年12月|蘇峻の乱

328年1月28日-08:00|中国| ||後趙・太和1年1月|太和(-330年8月)に改元

328年8月22日-08:00|中国| ||後趙・太和1年:前趙・光初11年7月|後趙の石虎が前趙の河東を攻撃/劉曜軍が衛関から渡河すると、石虎は懼れて退却

328年9月21日-08:00|中国| ||後趙・太和1年:前趙・光初11年8月|劉曜は高候にて石虎と戦い、これを大いに破った。敵將石瞻を斬り、二百余世帯を毒殺し、多くの器械を奪った。石虎は朝歌まで逃げた

328年12月-08:00|中国| |||<死去>前趙第5代皇帝「趙主(劉曜)」

328年12月-08:00|中国| |||<即位>前趙第6代皇帝「劉熙」(~329年9月)

329年1月21日-08:00|中国| ||後趙・太和1年:前趙・光初11年12月5日|己卯、石虎が前趙の中軍を攻撃し、石堪、石聡は前趙の先鋒を攻撃/前趙の軍を大破、劉曜は敗走、石堪に捕らえられ殺された

329年2月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和4年|<死去>吐谷渾第2代可汗「吐延」が昂城羌の姜聡に刺殺される

329年2月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和4年|<即位>乞伏部鮮卑「大寒」述延の子⇒「司繁」大寒の子(~376年)

329年2月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和4年|<即位>第7代代王「烈帝(拓跋翳槐)」鬱律の長男(~335年)

329年2月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和4年|<即位>吐谷渾第3代可汗「葉延」(~351年)第2代可汗「吐延」の長子

329年2月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和4年|<亡命>第6代代王「煬帝(拓跋珪那)」

329年2月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和4年|陶侃が蘇峻の乱を平定

329年10月6日-08:00|中国| ||前趙・光初12年9月|<死去>前趙第6代皇帝「劉熙」後趙の石勒に殺害され前趙は滅亡

329年10月6日-08:00|中国| ||後趙・太和2年9月|石虎は集木且のきょう族を河西にて撃破、秦・隴を悉く平定/「てい」の王蒲洪と、「きょう」の酋長姚弋仲は、共に後趙へ降伏

330年-05:30|インド| |||<即位>ヴァーカーカ朝(ヴァッサガルマ)マハラジャ「Sarvasena」(~355年);<即位>ヴァーカーカ朝(ナグフル)マハラジャ「ルトラセナ1世」(~355年)

0400迄 (1625件)

330年-04:00|アルメニア| |||<死去>アルメニア王(アルサクス朝)「ティリダテス3世」
330年-04:00|アルメニア| |||<就任>ガートマン・コガレネ公(ミフランド朝)「ヘロス」(~361年死去)
330年-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「コスロウ3世」(~339年死去)
330年-02:00|ヨルダン| |||<即位>ガッサン王「アムル2世イブン・アル=ハリス2世」(~356年)
330年5月11日-02:00|トルコ/イタリア| |||ローマ皇帝コンスタンティヌス1世、ローマ帝国の首府をビザンティオンに移しコンスタンチノープル(コンスタンティノポリス)とする
330年9月29日-08:00|中国| ||後趙・建平1年9月|<即位>趙王「石勒」⇒後趙皇帝(~建平4年7月21日(03330817)死去)
330年9月29日-08:00|中国| ||後趙・建平1年9月|建平(-333年12月)に改元
331年3月25日-09:00|朝鮮| ||高句麗・美川王32年2月|<死去>高句麗王「美川王」
331年3月25日-09:00|朝鮮| ||高句麗・故国原1年2月|<即位>高句麗王「故国原王」(~371年)
331年7月-08:00|中国| |||成漢の大將軍李寿が陰平・武都を攻撃したが、撃退
332年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Jettha Tissa2世」Sirimeghavannaの兄弟(~341年)
332年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラパ)「ルトラダマン2世」(~348年)
332年-03:00|エチオピア| |||エチオピアのソロモン王朝アクスム王がキリスト教を受容
332年-01:00|イタリア| |||コッス土地緊縛令の発布
333年2月1日-08:00|中国| ||東晉・咸和8年|<死去>宇文部鮮卑大人「乞得亀」遜昵延の子
333年2月1日-08:00|中国| ||東晉・咸和8年|<即位>宇文部鮮卑大人「逸豆帰(俟豆帰)」(~344年)
333年2月1日-08:00|中国| ||成漢・玉衡23年|成漢の李寿が寧州を落とし、南中の地を征服
333年5月30日-08:00|中国| ||東晉・咸和8年5月|<死去>遼東武宣公「慕容皝」
333年5月30日-08:00|中国| ||東晉・咸和8年5月|<即位>遼東武宣公「慕容皝」(⇒337. 10「燕王」を自称)
333年8月17日-08:00|中国| ||後趙・建平4年7月21日|<死去>後趙第1代皇帝「高祖明帝石勒」/59歳(誕生273年)
333年8月18日-08:00|中国| ||後趙・建平4年7月22日|<即位>後趙第2代皇帝「廢帝海陽王(石弘)」(~延熙元年(334年)11月)
333年10月25日-08:00|中国| ||後趙・建平4年10月|河東王生と石郎が拳兵/石郎は、金庸にて石虎に敗北し斬り殺された/郭權は、潼関にて石挺と戦い破った/石虎は繩池まで退却/鮮卑は石虎と内通し河東王を攻撃/河東王は部下に殺された
334年1月22日-08:00|中国| ||東晉・咸和8年;後趙・建平4年12月|郭權は上圭に據って東晉へ降伏/京兆、新平、扶風、馮翊、北地も、皆これに応じた
334年2月20日-08:00|中国| ||後趙・延熙1年|延熙に改元
334年2月20日-08:00|中国| ||仇池・楊毅1年1月|<死去>前仇池君主「楊難敵」
334年2月20日-08:00|中国| ||仇池・楊毅1年1月|<即位>前仇池君主「楊毅」(~337. 11殺害される)左賢王・下弁公を称した/これ以降、仇池は一貫して東晉に従属し、代々仇池公に封じられる
334年3月22日-08:00|中国| ||東晉・咸和9年2月|段遼は燕の徒河を攻撃したが勝てなかった/弟の段蘭と慕容翰に柳城を攻撃させたが勝てずに退却
334年5月20日-08:00|中国| ||東晉・咸和9年4月|石虎は郭傲と章武王斌を派遣して、郭權を攻撃/上圭の豪族が郭權を殺して投降
334年6月-08:00|中国| |||<死去>成漢第3代皇帝「武帝(李雄)」/享年61
334年6月-08:00|中国| |||<即位>成漢第4代皇帝「哀帝(李班)」(~10月)
334年10月-08:00|中国| |||<死去>成漢第4代皇帝「哀帝(李班)」李期が兄の李越とともに弑した
334年10月-08:00|中国| |||<即位>成漢第5代皇帝「廢帝(李期)」(~338年5月)
334年12月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和9年11月|<死去>後趙第2代皇帝「廢帝海陽王(石弘)」石虎に殺される
334年12月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和9年11月|<即位>後趙第3代皇帝「太祖武帝(石虎)」(~349年4月)自ら趙天王と称す
334年12月12日-08:00|中国| ||東晉・咸和9年11月|慕容皝は遼東を討伐/遼東の王岌が降伏/慕容皝軍は進軍し、羽皆・龍鑑は単騎逃亡/居就、新昌等の県は降伏
335年-08:00|中国| |||拓跋騊槐は、賀蘭藹頭を招き寄せて殺した/代王乞那が宇文部から攻め込み諸部はこれを擁立/騊槐は業へ逃げた
335年-05:30|インド| |||<即位>ケブタ朝「サムラケブタ」(~375年)アッサムからパールまで支配拡大
335年1月11日-08:00|中国| ||東晉・咸和9年12月|慕容仁は新昌を襲撃したが、督護の王寓が撃退
335年2月10日-08:00|中国| ||代・煬皇帝5年|<復位>代王「煬帝(拓跋珪)」猗盧の少子(~337年)
335年2月10日-08:00|中国| ||後趙・建武1年|建武(-348年)に改元
335年6月8日-08:00|中国| ||成漢・玉恒1年5月|玉恒に改元(-338年3月)
335年9月17日-02:00|パレスチナ| |||ゴロダの丘に、エルサレム聖墳墓教会を建築
335年10月4日-08:00|中国| ||後趙・建武1年9月|後趙、石虎が襄国から[業]に遷都
335年12月31日-01:00|パチン| |||<死去>第33代ローマ教皇「シルヴェステル1世」
336年-07:00|ベトナム| |||<死去>チャンパ王「范逸」
336年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「范文」(~349年)
336年1月18日-01:00|パチン| |||<就任>第34代ローマ教皇「マルクス」(~10. 7死去)
336年1月30日-08:00|中国| ||東晉・咸康2年1月|慕容皝軍が、手勢ごと慕容皝へ降伏/慕容仁の軍が動揺したところを慕容皝が攻撃し捕まえて慕容仁を自殺させた
336年2月28日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・故国原6年2月|高句麗、東晉に遣使して方物を貢す

0400迄 (1625件)

336年6月26日-08:00|中国| ||東晉・咸康2年6月|段遼が中軍將軍李詠に慕容𡇗を襲撃させた/李詠は武興にて都尉の張萌と戦って捕らえられた/慕容𡇗が柳城へ向かったので、段蘭は戦わずに退却

336年10月7日-01:00|バチカン| |||<死去>第34代ローマ教皇「マルス」

337年-01:00|イタリア/イラン| |||ササン朝ペルシアがローマと開戦

337年2月6日-01:00|バチカン| |||<就任>第35代ローマ教皇「ユリウス1世」(~03520412死去)

337年2月17日-08:00|中国| ||代・烈皇帝7年|<復位>第7代代王「烈帝(拓跋翳槐)」(~338年10月)盛樂へ城を築いて移り住んだ

337年3月10日-08:00|中国| ||後趙・建武3年1月22日|辛巳、殷や周の制度を根拠に、石虎は「大趙天王」と称し即位

337年3月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||新羅・訖解28年;百濟・比流王34年2月|新羅が百濟に使臣を派遣して礼訪

337年5月22日-02:00|トルコ/ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス/フランス| |||<死去>ローマ皇帝「コンスタンティヌス1世」自然死

337年5月22日-02:00|トルコ/ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス/フランス| |||<即位>ローマ皇帝「コンスタンティヌス2世」コンスタンティヌス1世の次男(~340年、兄弟間の内戦に敗れ弟コンスタンティヌス1世に処刑された);「コンスタンティヌス2世」コンスタンティヌス1世の三男(~03611103病死);「コンスタンティヌス1世」コンスタンティヌス1世の四男(~350年、將軍マグネティウスにより暗殺される)

337年7月14日-08:00|中国| ||東晉・咸康3年6月|段遼は一族の揚威將軍屈雲を派遣し、興國城にいる慕容遵(慕容𡇗の息子)へ夜襲をかけたが、返り討ちにあった

337年9月9日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| |||ローマ帝国を3分割/コンスタンティヌス2世が西方、コンスタンスがイタリア・イリュリウム・アフリカ、コンスタンティヌス2世が東方を治める

337年11月23日-08:00|中国| ||前燕・慕容𡇗1年10月14日|<即位>前燕「太祖文明帝慕容𡇗」(~03481025死去)「燕王」を自称

337年12月9日-08:00|中国| ||仇池・楊初襲1年11月|<死去>前仇池君主「楊毅」族兄の楊初に殺害された

337年12月9日-08:00|中国| ||仇池・楊初襲1年11月|<即位>前仇池君主「楊初」(~355. 1殺害される)後趙に臣従

338年2月6日-08:00|中国| ||東晉・咸康4年|<即位>段部鮮卑大人「鬱蘭」護遼の弟

338年2月6日-08:00|中国| ||東晉・咸康4年|<退位>段部鮮卑大人「護遼」前燕に降伏

338年4月6日-08:00|中国| ||前燕・慕容𡇗2年;東晉・咸康4年3月|慕容𡇗は段蘭軍を大破/石虎が段遼を破る

338年5月6日-08:00|中国| ||前燕・慕容𡇗2年;東晉・咸康4年4月|慕容根等が昼夜力戦し趙軍は勝てず退却/慕容𡇗は息子の慕容恪へ追撃を命じ趙兵は大敗

338年6月4日-08:00|中国| ||成漢・漢興1年5月|<即位>成漢第6代皇帝「中宗昭文帝(李寿)」(~343年8月)国号を「成」から「漢」に変えた/漢興と改元漢興に改元(-343年)

338年6月4日-08:00|中国| ||成漢・漢興1年5月|<廃位>成漢第5代皇帝「廢帝(李期)」李寿が起兵して成都を襲う

338年10月30日-08:00|中国| ||代・建国1年10月|<死去>第7代代王「烈帝(拓跋翳槐)」

338年10月30日-08:00|中国| ||代・建国1年10月|<即位>第8代代王「高祖昭成帝(拓跋什翼犍)」鬱律の次男(~376年12月死去)建国と改元(-376年)

338年12月28日-08:00|中国| ||東晉・咸康4年12月|段遼、慕容𡇗に降る

339年-04:00|アルメニア| |||<死去>アルメニア王(アルサクス朝)「ユスロウ3世」

339年-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「ティグラーネス7世」(~350年譲位)

339年-03:30|イラン| |||ササン朝のシャープール2世がキリスト教徒を迫害

339年1月27日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・故国原9年;前燕・慕容𡇗3年|燕(前燕)王が新城に来寇。王が同盟を乞い、燕軍は帰還

339年4月25日-08:00|中国| ||前燕・慕容𡇗3年4月|段遼、前燕の慕容𡇗に背き殺される

340年-09:00|日本| |||このころ桜井茶臼山古墳築造(桜井市)

340年-09:00|日本| |||メリス山古墳(桜井市)このころ築造

340年-01:00|アフリカ| |||この頃、アフリカでキルクメリアーネの蜂起

340年 00:00|イギリス| |||<即位>ヒックツ王「Canutulachama」(~344年)

340年2月14日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・故国原王10年;前燕・慕容𡇗4年|高句麗王は世子を燕王に遣わして朝貢

340年3月-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| |||<死去>ローマ皇帝「コンスタンティヌス2世」兄弟間の内戦に敗れ弟コンスタンティヌス1世に処刑された/領地はコンスタンスが併合

340年4月13日-08:00|中国| ||代・建国3年3月|代王(昭成帝)雲中の盛樂宮に都を遷し、故城の南に盛樂城を築いた

340年11月6日-08:00|中国| ||前燕・慕容𡇗4年;後趙・建武6年10月|燕軍は趙へ攻め込み、薊城へ迫った/燕軍は近辺を荒らし回り略奪して帰った

341年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Buddhadasa」Jettha Tissa2世の息子(~370年)

341年5月2日-08:00|中国| ||東晉・咸康7年4月|東晉、最初の土断法を実施

341年10月27日-08:00|中国/朝鮮| ||前燕・慕容𡇗5年10月|前燕の渡遼將軍慕容恪、しばしば高句麗を破る

341年10月27日-08:00|中国| ||代・建国4年10月|匈奴の劉虎が、代の西部へ来寇/什翼犍が迎撃し撃退/劉虎は戦死

342年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ホーストリス王(スバルトス朝)「レスホリス6世」

342年7月26日-08:00|中国| ||東晉・咸康8年6月8日|<死去>東晉第3代皇帝「顯宗成帝(司馬衍)」

342年7月27日-08:00|中国| ||東晉・咸康8年6月9日|<即位>東晉第4代皇帝「康帝(司馬岳)」(~344年11月17日)

342年9月16日-09:00|朝鮮| ||高句麗・故国原12年8月|高句麗、都を丸都城に移す

342年11月14日-08:00|中国| ||前燕・慕容𡇗6年10月|燕は龍城へ遷都

0400迄 (1625件)

342年12月14日-08:00|中国/朝鮮| ||前燕・慕容皝6年;東晉・咸康8年11月|燕が高句麗を討った/慕容皝は自ら出陣/南道の合戦、高句麗軍は大敗/燕軍は丸都へ突入
343年3月13日-08:00|中国| ||前燕・慕容皝7年2月|宇文逸豆帰の命令を受け、宇文部の相莫浅渾が燕を攻撃/莫浅渾は大敗
343年3月13日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・故国原13年;前燕・慕容皝7年2月|高句麗王は弟を派遣、臣と称して燕(前燕)に入朝
343年8月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・故国原13年7月|高句麗、居を平壤東黄城に移す
343年9月6日-08:00|中国| ||成漢・漢興6年8月|<死去>成漢第6代皇帝「中宗昭文帝(李寿)」
343年9月6日-08:00|中国| ||成漢・漢興6年8月|<即位>成漢第7代皇帝「後主(李勢)」(~嘉寧2年(347年)3月17日)
344年-03:00|イラク| ||<即位>アデ・イハ・ネ王「アッラー・ネス」(~376年)
344年 00:00|イギリス| ||<即位>ビ・クツ王「Dornornach Nerales of the Picts」(~345年)
344年1月2日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・故国原13年;東晉・建元1年12月|高句麗、遣使を晋に行かせて朝貢
344年1月31日-08:00|中国| ||成漢・太和1年|太和に改元(-346年9月)
344年1月31日-08:00|中国| ||前燕・慕容皝8年1月|慕容皝は、親征/宇文部の都城まで攻略/逸豆帰は逃げ出し、漠北にて死に、宇文部は散亡
344年11月17日-08:00|中国| ||東晉・建元2年9月26日|<死去>東晉第4代皇帝「康帝(司馬岳)」
344年11月18日-08:00|中国| ||東晉・建元2年9月27日|<即位>東晉第5代皇帝「孝宗穆帝」(~361年7月10日)
344年11月22日-09:00|韓国| ||百濟・比流王41年10月|<死去>百濟王「比流王」
344年11月22日-09:00|韓国| ||百濟・契王1年10月|<即位>百濟王「契王」(~346. 9死去)
345年-05:30|インド| ||<即位>ガ・ダンバ 朝(パ・ナバ・シ)マハラジャ「マユラシヤルマン」建国(~365年)
345年-05:30|インド| ||<即位>クシャナ朝君主「Kipunada」(~375年ササン朝の征服)
345年-04:00|ジョージア| ||<即位>イェ・リア王「リビ・ジョン2世」(~361年)
345年 00:00|イギリス| ||<即位>ビ・クツ王「Uradech」(~347年)
345年3月20日-09:00|日本/韓国| ||新羅・訖解36年2月|倭王が新羅に国書を送ってきて、国交を断絶
345年11月11日-09:00|朝鮮/中国| ||前燕・慕容皝9年;高句麗・故国原15年10月|燕王は慕容恪を高句麗に侵攻させ、南蘇を抜き、守備隊を置いて帰還
346年1月9日-08:00|中国| ||前涼・建興33年12月|張駿は西域を伐ち、一カ国を併吞、涼王となる(前涼)
346年2月8日-09:00|朝鮮| ||東晉・永和2年|<死去>北扶餘国王「玄王」
346年2月8日-09:00|韓国/日本| ||新羅・訖解37年|倭の軍隊が突然に風島を襲い、辺境の民家を掠め犯した/さらに倭軍は進軍して金城を包囲して激しく攻めた/賊軍は食糧が尽きて退却
346年2月8日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||前燕・慕容皝10年|前燕の慕容皝、扶餘をいったん滅ぼす
346年5月-08:00|中国| ||<死去>前涼第4代君主「世祖文王(張駿)」
346年5月-08:00|中国| ||<即位>前涼第5代君主「世宗桓王(張重華)」(~353年11月)
346年6月6日-08:00|中国| ||前涼・建興34年;後趙・建武12年5月|西平忠成公張駿が没し張重華が跡を継ぐ/後趙の將軍王擢が涼を攻撃/後趙の涼州刺史麻秋と孫伏都將軍が金城を攻略し太守の張冲は降伏/謝艾軍は後趙軍と戦い大勝利
346年7月7日-09:00|韓国| ||東晉・永和2年6月3日|<死去>伽耶王「居叱弥王(徳王)」
346年7月7日-09:00|韓国| ||東晉・永和2年6月3日|<即位>伽耶王「伊尸品王(明王)」(~04070410死去)
346年10月2日-09:00|韓国| ||百濟・契王3年9月|<死去>百濟王「契王」
346年10月2日-09:00|韓国| ||百濟・肖古王1年9月|<即位>百濟王「近肖古王」(~375. 11死去)
346年10月31日-08:00|中国| ||成漢・嘉寧1年10月|李勢は嘉寧に改元(-347年3月)
347年 00:00|イギリス| ||<即位>ビ・クツ王「Gartnait2世」(~387年)
347年3月17日-08:00|中国| ||成漢・嘉寧2年2月19日|<退位>成漢第7代皇帝「後主(李勢)」東晉の桓温の征討を受け、兵敗れて降り、成漢滅亡
347年4月27日-08:00|中国| ||前涼・建興35年;後趙・建武13年4月|後趙の石虎、前涼を攻めるが、前涼の張重華これを撃退/趙の麻秋が枹干を攻めたが寧じゅう校尉の張據が枹干城を固守防戦し趙兵は退却
347年5月26日-08:00|中国| ||東晉・永和3年5月|石寧が再び攻撃/劉寧と王擢は晋興、広武、武街を抜き、曲柳まで進撃/楊康が、劉寧と戦い沙阜にてこれを撃破
347年8月23日-08:00|中国| ||前涼・建興35年;後趙・建武13年7月|趙の麻秋が、又も襲撃/涼將張瑁を破り、三千余の首級を挙げた/枹干護軍の李達は七千の部下と共に趙へ降伏/涼の河南の領土は皆趙に奪われた
347年9月21日-08:00|中国| ||東晉・永和3年8月|謝艾は麻秋と戦い撃破/謝艾は、姑藏へ帰る途中、反旗を翻した其骨真を討伐平定
348年-05:30|インド| ||<即位>インド・スキタイ王国(西クシャトラバ)「ルト・ラネナ3世」(~380年)
348年-04:30|アフガニスタン/イラク| ||シアール二世のメロパ・タミヤ征服
348年10月25日-08:00|中国| ||前燕・慕容皝1年9月17日|<死去>前燕初代燕王「文明帝慕容皝」
348年10月25日-08:00|中国| ||前燕・慕容皝1年9月17日|<即位>前燕第2代燕王「烈祖景昭帝(慕容皝)」慕容皝の次男(352年まで「燕王」を自称、以後皇帝と称する~360年正月21日死去)
349年-07:00|ベトナム| ||<即位>チャンパ王「范仏」(~380年)
349年2月4日-08:00|中国| ||後趙・太寧1年1月|後趙の石虎、帝位につく、太寧に改元
349年5月26日-08:00|中国| ||後趙・太寧1年4月23日|<死去>後趙第3代皇帝「太祖武帝(石虎)」
349年5月26日-08:00|中国| ||後趙・太寧1年4月23日|<即位>後趙第4代皇帝「廢帝齊公(石世)」(~5月)
349年6月28日-08:00|中国| ||後趙・太寧1年5月27日|<死去>後趙第4代皇帝「廢帝齊公(石世)」石遵に殺される

0400迄 (1625件)

349年6月28日-08:00|中国| ||後趙・太寧1年5月27日|<即位>後趙第5代皇帝「廢帝彭城王(石遵)」(~10月)/石冲が
拳兵/石遵は、石閔と李農へ迎撃を命じ両軍は、平棘にて戦い、石冲軍は大敗
349年8月-08:00|中国| ||仇池公楊初は後趙領の西城を攻め、これを攻略
349年10月-08:00|中国| ||<死去>後趙第5代皇帝「廢帝彭城王(石遵)」冉閔に殺される
349年10月-08:00|中国| ||<即位>後趙第6代皇帝「廢帝義陽王(石鑑)」(~350年2月)/青竜に改元
349年10月28日-08:00|中国| ||東晉・永和5年;後趙・太寧1年;仇池・楊初襲13年10月|司馬勲は、宛城を抜き、趙の
南陽太守袁景を殺して、梁州へ戻った/武都を基盤とするてい王の楊始が、趙の西城を襲撃しこれを破った
350年-05:30|インド| ||<即位>パナラ朝君主「Visnugopa」(~355年)
350年-05:30|インド| ||シャランカーヤ朝ハステイアルマンが即位
350年-04:00|アルメニア| ||<譲位>アルメニア王(アルサス朝)「ティグラーネス7世」
350年-04:00|アルメニア| ||<即位>アルメニア王(アルサス朝)「アルサス2世」(~368年サーサーン朝が支配)
350年-02:00|エジプト/エチオピア| ||阿克苏王国によりクシュ王国滅亡。阿克苏王国がキリスト教コプト派を受け入れる
350年-01:00|ハンガリー/カザフスタン| ||フン族がアラン王を殺し、アゾフ、コーカサス地方を占領
350年1月18日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| ||<即位>ローマ皇帝篡奪者「マグネティウス」コンスタンティウス1世に対して反乱
を起こしたローマ軍団に擁立される(~03530811自殺)
350年1月25日-08:00|中国| ||後趙・青龍2年1月|冉閔が石鑒を殺して自立し、国号を衛とする
350年2月-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| ||<死去>ローマ皇帝「コンスタンティウス1世」将軍マグネティウスにより暗殺される
350年2月-08:00|中国| ||<死去>後趙第6代皇帝「廢帝義陽王(石鑑)」
350年2月23日-08:00|中国| ||前燕・慕容儁3年;後趙・青龍2年2月|燕から、趙討伐の大遠征軍が出陣/慕容覇は、
安楽を占領
350年3月1日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| ||<即位>ローマ皇帝「ウェトリオ」コンスタンティウス1世の側近(~12.25退位し
て将軍に復帰)356年、自然死
350年3月25日-08:00|中国| ||後趙・青龍2年閏2月|<即位>後趙第7代皇帝「新興王(石祗)」(~351年4月)永寧(-351
年4月)に改元(石閔の魏に対抗)
350年4月23日-08:00|中国| ||冉魏・永興1年3月|<即位>冉魏「武悼天王(冉閔)」(~352年5月)永興1年と改元(-352
年4月)
350年4月23日-08:00|中国| ||前燕・慕容儁3年3月|前燕の慕容儁は薊を抜き、王佗を捕らえ斬った/慕容儁は薊
を慕容暉に任せ、自身は魯口の登恒を攻撃/鹿勃早は慕容根にやぶれ全滅
350年4月23日-08:00|中国| ||東晉・永和6年3月|張先は大敗し、長安へ逃げ帰った/杜郁は、自分の部隊ごと苻健
へ降伏
350年6月21日-08:00|中国| ||東晉・永和6年;冉魏・永興1年5月|東晉の廬江太守の袁眞が魏の合肥を攻撃し、勝
った
350年7月21日-08:00|中国| ||冉魏・永興1年;東晉・永和6年6月|石昆は邯鄲まで進軍し鎮南将軍の劉國が合流/
魏の衛将軍王泰がこれを攻撃し、撃破
350年8月19日-08:00|中国| ||東晉・永和6年7月|段龕、広固で齊王を称す
350年10月17日-08:00|中国| ||東晉・永和6年9月|苻菁が渭北にて張先と戦い、これを捕らえた/三輔の郡県は全
て降伏
350年12月16日-08:00|中国| ||冉魏・永興1年;後趙・永寧1年11月|冉閔は十万の軍勢で、襄国を攻撃
350年12月16日-08:00|中国| ||東晉・永和6年11月|苻健は、長安へ入城した/秦・よう・夷・夏が、皆苻健の麾下へ
入った
350年12月25日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| ||<退位>ローマ皇帝「ウェトリオ」将軍に復帰(~356年、自然死)
351年2月13日-08:00|中国| ||吐谷渾・辟奚1年|<即位>吐谷渾第4代君主「辟奚(碎奚)」葉延の長子(~371年)
351年3月4日-08:00|中国| ||前秦・皇始1年1月20日|<即位>前秦初代秦天王「高祖景明帝(苻健)」(⇒325年皇帝~3
55年7月10日)秦天王・大单于を自称し、皇始元年と建号(-355年5月)
351年3月14日-08:00|中国| ||前燕・慕容儁4年;後趙・永寧2年2月|後趙の石祗は皇帝号を撤去し、「趙王」と称し
て燕に援軍を乞うた/姚弋仲は、息子の姚襄に二万八千の騎兵を与えて派遣
351年4月13日-08:00|中国| ||前燕・慕容儁4年;冉魏・永興2年3月|姚襄と汝陰王昆が襄国救援/冉閔は、車騎将軍
胡睦を長蘆へ派遣して姚襄を防がせ、将軍孫威を黄丘に派遣して石昆を防がせたが、両者とも敗北ほぼ全滅/魏
軍は大敗
351年5月-02:00|イスラエル/イタリア| ||ローマ帝国パレスチナのユダヤ人は、デイオカシアのイサとパトリキウスの下で、コンスタンティウス・ガルス
に対して反乱を起こした(~352年)
351年5月12日-08:00|中国| ||後趙・永寧2年4月|<死去>後趙第7代皇帝「新興王(石祗)」部将劉頭に殺され、後趙
滅ぶ
351年5月12日-08:00|中国| ||東晉・永和7年;前秦・皇始1年4月|司馬勲が攻め込んで来たが、苻健に全敗
351年8月9日-08:00|中国| ||冉魏・永興2年7月|劉頭は、再び兵を率いて業を攻めた。冉閔はこれを撃退/逃げ帰
った劉頭は、襄国にて皇帝を潜称
351年9月7日-08:00|中国| ||前燕・慕容儁4年;冉魏・永興2年8月|燕は、慕容恪に中山を、慕容評に魯口の王午を
攻撃させた/魏の中山太守候龕、趙郡太守の李圭、降伏/王午は将軍鄭生を派遣して防戦させたが慕容評は撃破
351年9月28日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| ||旧暦8/22|ムサの戦い/ローマ西方を支配していたフランク人の元近
衛司令官マグネチウスを、ローマ東方の支配者コンスタンティウス2世がパノニアのムサで破る
352年-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| ||コンスタンティウス、イタリアを制圧
352年2月2日-08:00|中国| ||東晉・永和8年1月|張居は杜洪を殺し、自ら立って秦王と称し建昌と改元

0400迄 (1625件)

352年2月2日-08:00|中国| ||冉魏・永興3年1月|劉頔が常山を攻撃/冉閔は自ら救援に赴いた/劉頔の大司馬清河王寧は襄強県ごと魏に降伏/冉閔は、劉頔を討ってこれを敗る

352年2月2日-08:00|中国| ||前秦・皇始2年1月|苻健、前秦の初代高祖景明帝を称した

352年4月12日-01:00|パチン| ||<死去>第35代ローマ教皇「ユリウス1世」

352年5月17日-01:00|パチン| ||<就任>第36代ローマ教皇「リベリウス」(~03660924死去)

352年5月30日-08:00|中国| ||東晉・永和8年5月|苻健は張居を攻撃し、斬り殺した

352年6月1日-08:00|中国| ||冉魏・永興3年5月3日|<死去>冉魏「武悼天王(冉閔)」燕軍が魏軍を大いに破り燕軍に捕らえられた

352年7月4日-08:00|中国| ||前燕・慕容儁5年;冉魏・永興3年6月6日|蔣幹と晋兵は燕(慕容)軍に敗戦

352年7月28日-08:00|中国| ||東晉・永和8年7月|王午は安國王と自称

352年9月8日-08:00|中国| ||東晉・永和8年;前燕・慕容儁5年8月13日|ギョウは燕軍に開城/蔣幹は倉垣(河南陳留西)に奔った/石混は建康の市で斬られた

352年11月5日-08:00|中国| ||前燕・元璽1年10月12日|戊辰、慕容儁(烈祖景昭帝宣英)、中山で称帝して元璽(-357年1月)と建元/国号は大燕

352年11月23日-08:00|中国| ||前燕・元璽1年閏10月|慕容儁は、慕容根・慕容恪軍で、無極にて挙兵し天子と自称した蘇林を攻撃し斬り殺す/王午は麾下の將軍秦興に殺され、秦興も呂護に殺され、呂護は安國王と自称

353年3月21日-08:00|中国| ||前燕・元璽2年2月|燕王慕容儁は龍城から薊宮へ遷都

353年3月21日-08:00|中国| ||前涼・建興41年;前秦・皇始3年2月|張重華は、張弘・宋修に秦を討伐させた/秦では、苻雄と苻菁が迎撃し、涼軍を大いに破る

353年6月18日-08:00|中国| ||前涼・建興41年5月|張重華は、王擢に上圭を攻撃させた/苻願は敗れて長安へ逃げた

353年7月17日-08:00|中国| ||仇池・楊初襲17年6月|前秦の左衛將軍苻飛が仇池へ侵攻したが、返り討ちにした

353年8月11日-02:00|ギリシャ/イタリア/スペイン/イギリス| ||<死去>ローマ皇帝篡奪者「マグネティウス」自殺し、ローマ帝国再統一

353年12月12日-08:00|中国| ||前涼・建興41年11月|<死去>前涼第5代君主「世宗桓王(張重華)」

353年12月12日-08:00|中国| ||前涼・建興41年11月|<即位>前涼第6代君主「哀公(張耀靈)」(~12月)、大司馬、涼州刺史、西平公を称する

354年1月11日-08:00|中国| ||前涼・建興41年12月|<廃位>前涼第6代君主「哀公(張耀靈)」

354年2月9日-08:00|中国| ||前涼・和平1年1月|<即位>前涼第7代君主「威王(張祚)」(~355年9月)自ら涼州牧・涼王を称し、のち帝を称す

354年2月9日-08:00|中国| ||前涼・和平1年1月|張祚は建興42年を和平(-355年9月)に改元

354年3月22日-08:00|中国| ||東晉・永和10年2月12日|東晉の武將桓温(42)が、北伐を開始

354年9月4日-08:00|中国| ||前秦・皇始4年8月|太子の苻萇が、ようの蕎麦を攻撃し斬った/関中は悉く平定

354年11月13日-01:00|イタリア| ||<死去>古代キリスト教の神学者「アウグスティヌス」

355年-09:00|日本| ||佐紀盾列古墳群がこのころ=周濠古墳の登場

355年-05:30|インド| ||<即位>ヴァーカー朝(クァッサガルマ)マハジヤ「Vindhyasena」(~400年)

355年-05:30|インド| ||<即位>ヴァーカー朝(ナグプル)マハジヤ「Prithivishena1世」(~380年)

355年-05:30|インド| ||<即位>ハールヴァ朝君主「Kumaravishnu1世」(~370年)

355年-01:00|パチン| ||<就任>対立ローマ教皇「フェリクス2世」(~03651122死去)

355年1月30日-08:00|中国| ||仇池・楊国1年1月|<死去>第4代仇池公「楊初襲」楊毅の末弟である楊宋奴が妻の兄弟である梁式王に殺害させた

355年1月30日-08:00|中国| ||仇池・楊国1年1月|<即位>第5代仇池公「楊国」(~356年)側近を率いて梁式王と楊宋奴を殺害し、後を継いだ

355年7月10日-08:00|中国| ||前秦・寿光1年6月15日|<死去>前秦初代皇帝「高祖景明帝(苻健)」

355年7月10日-08:00|中国| ||前秦・寿光1年6月15日|<即位>前秦第2代皇帝「廢帝厲王(苻生)」(~357年6月)

355年9月-01:00|スペイン| ||ガリアの將軍シウヌス、皇帝を称するが28日で暗殺される

355年10月22日-08:00|中国| ||前涼・和平2年9月|<死去>前涼第7代君主「威王(張祚)」殺害される

355年10月22日-08:00|中国| ||前涼・建興43年9月|<即位>前涼第8代君主「沖公(張玄乚)」(~363年8月)、建興43年に元号が戻される

356年-01:00|スペイン| ||ユリアス、ガリアに派遣され最初の戦闘でアルマン族に壊滅的な打撃を受ける

356年1月19日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・故国原25年12月|高句麗王、前燕に遣使貢獻/質を納れ、以てその母の返還を請う/前燕、これを許し、使者を派遣してその母を送り、王を以て營州諸軍事・征東大將軍・營州刺史となし、樂浪公に封ず

356年2月17日-08:00|中国| ||仇池・楊俊1年|<死去>第5代仇池公「楊国」叔父の楊俊に殺害される

356年2月17日-08:00|中国| ||東晉・永和12年|<退位>段部鮮卑大人「鬱靄」降伏

356年2月17日-08:00|中国| ||仇池・楊俊1年1月|<即位>第6代仇池公「楊俊」(~360.1死去)

356年3月18日-08:00|中国| ||前秦・寿光2年;前涼・建興44年2月|前秦の苻生が前涼を服属させる

356年5月16日-09:00|韓国/日本| ||新羅・訖解47年4月|<死去>新羅王「訖解尼師今」日本軍に殺される

356年5月16日-09:00|韓国| ||新羅・訖解47年4月|<即位>第17代新羅王「奈勿麻立干」(~402年)

356年9月11日-08:00|中国| ||東晉・永和12年8月|東晉の桓温、姚襄を破り洛陽を攻略

356年12月9日-08:00|中国| ||前燕・元璽5年11月|前燕、慕容儁がギョウに遷都

356年12月9日-08:00|中国| ||前燕・元璽5年11月|前燕の慕容儁、広固の段龕を討って斉を平定(段部滅ぶ)

357年-07:00|カンボジア| ||<即位>扶南王「ティアンゾー・ジャンタン」(~410年)

0400迄 (1625件)

357年3月7日-08:00|中国| ||前燕・光寿1年2月|光寿(-359年)に改元
357年6月4日-08:00|中国| ||前秦・寿光3年5月|前秦の苻生が羌族を糾合していた姚襄を敗死させ弟の姚萇を服属させた
357年7月3日-08:00|中国| ||前秦・永興1年6月|<即位>前秦第3代大秦天王「世祖宣昭帝(苻堅)」(~385年8月)皇帝号を撤廃し即位「永興」と改元(-359年5月)
357年7月3日-08:00|中国| ||前秦・永興1年6月|<廃位>前秦第2代皇帝「廢帝厲王(苻生)」苻堅により越王とされ、次いで殺された
357年8月25日-01:00|フランス/イタリア| ||旧暦7/24|ローマ帝国の副帝ユリアヌス(25)が、ストラスブールの戦いでアルマン族軍を撃破
357年11月28日-08:00|中国| ||前燕・光寿1年11月|前燕は後趙の残存勢力や段部の残党を平定し遷都
358年-01:00|フランス| ||ユリアヌスがフランク族を討伐
358年 00:00|ヨーロッパ| ||地中海東岸で大津波を観測(人類史の記録上では最古)
358年10月19日-08:00|中国| ||前燕・光寿2年9月|燕帝慕容儁の命で司空の陽鶩陽鶩は黎陽を攻撃したが、抜けなかった
358年11月18日-08:00|中国| ||前燕・光寿2年10月|前燕、東晋の諸葛恢の軍を退け、河南の地を取る
359年-01:00|スペイン| ||<即位>ヴァンダル王国国王「Godigisel」(~406年)
359年-01:00|ドイツ| ||ユリアヌスがゲルマンに対する第三次征伐で大勝利
359年1月16日-08:00|中国| ||前燕・光寿2年12月|晋の荀羨、前燕を攻め失敗
359年5月23日 06:00|カタマラ| ||<死去>ティカル王「キニ・ムワ・ル」
359年7月12日-08:00|中国| ||前秦・甘露1年6月|甘露と改元(-364年)
359年7月12日-08:00|中国| ||前凉・建興47年6月|前凉で宋混ら、張か・張か兄弟の謀反を鎮圧
359年9月9日-08:00|中国| ||東晋・升平3年;前燕・光寿2年8月|東晋の諸葛恢、前燕を攻め敗退
359年11月7日-08:00|中国| ||東晋・升平3年;前燕・光寿2年10月|東晋の謝万、前燕を攻め敗退
360年-01:00|ドイツ| ||ユリアヌスがゲルマンに対する第四次征伐成功
360年2月-01:00|イタリア/イラン| ||コンスタンティヌス2世がヘルシア遠征
360年2月3日-08:00|中国| ||仇池・楊世1年1月|<死去>第6代仇池公「楊俊」
360年2月3日-08:00|中国| ||仇池・楊世1年1月|<即位>前仇池君主「楊世」(~370年死去)
360年2月15日-01:00|イタリア| ||コンスタンティノールに司教ユートキウス司教がアソフィア大聖堂献堂(350年コンスタンティヌス2世が建設開始)
360年2月23日-08:00|中国| ||前燕・建熙1年1月21日|<死去>前燕第2代皇帝「烈祖景昭帝(慕容儁)」
360年2月23日-08:00|中国| ||前燕・建熙1年1月21日|<即位>前燕第3代皇帝「幽帝(慕容暉)」慕容儁の三男(~3701210(建熙11年11月))、建熙(-370年11月)に改元、国事を慕容恪に委ねた
360年11月-01:00|イタリア| ||ユリアヌスが東征開始、単独正帝となり異境復興を図る
361年-04:00|ジョージア| ||<死去>イベリア王「ミリアン3世」
361年-04:00|アルメニア| ||<死去>ガートマン・コガラネ公(ミフランド朝)「ヘ・ロズ」
361年-04:00|ジョージア| ||<即位>イベリア王「サロメス2世」レリジョン2世の息子(~363年)
361年-04:00|アルメニア| ||<即位>ガートマン公(ミフランド朝)「ケルス」(~430年)
361年-02:00|エジプト| ||<即位>ガッサン王「ヤフナ-2世」ヒン・アル=ムンテール1世「(~391)」、「アル=ヌマン2世」ヒン・アル=ムンテール1世「(~362年)
361年4月21日-08:00|中国| ||東晋・升平5年;前燕・建熙2年3月|前燕は太宰の慕容恪、皇甫真へ兵を与え、呂護を攻撃
361年5月21日-08:00|中国| ||東晋・升平5年;前燕・建熙2年4月|東晋の桓温、前燕を破る
361年7月10日-08:00|中国| ||東晋・升平5年5月22日|<死去>東晋第5代皇帝「孝宗穆帝」
361年7月13日-08:00|中国| ||東晋・升平5年5月25日|<即位>東晋第6代皇帝「哀帝(司馬丕)」(~365年3月30日)
361年11月3日-02:00|トルコ/イタリア/フランス/スペイン| ||<死去>ローマ皇帝「コンスタンティヌス2世」~病死
361年11月3日-02:00|トルコ/イタリア/フランス/スペイン| ||<即位>ローマ皇帝「ユリアヌス」コンスタンティヌス1世の甥(~3630626、遠征中に戦傷死)
362年1月12日-08:00|中国| ||前凉・升平5年12月|前凉で建興49年を改め、升平5年とした
362年2月11日-08:00|中国| ||前燕・建熙3年正月|前燕は呂護を河陰へ派遣し、洛陽を攻撃させた
362年6月17日-01:00|イタリア| ||ローマ皇帝ユリアヌス(30)が、アンティキアでキリスト教徒追放令を発す
363年-04:00|ジョージア| ||<即位>イベリア王「アスハ・キア2世」ミリアン3世の息子(~365年)
363年-01:00|イタリア/イラン| ||ササン朝シャープル2世がローマ軍に勝利
363年3月2日-08:00|中国| ||東晋・興寧1年2月|興寧と改元
363年4月30日-08:00|中国| ||東晋・興寧1年;前燕・建熙4年4月|燕の寧東將軍慕容忠が滎陽太守の劉遠を攻撃し、劉遠は魯陽へ逃げた
363年5月29日-08:00|中国| ||東晋・興寧1年;前燕・建熙4年5月|燕は密城を抜き、劉遠は江陵まで逃げた
363年6月26日-02:00|トルコ/イタリア| ||<死去>ローマ皇帝「ユリアヌス」遠征中に戦傷死/31歳(誕生03311117)反キリスト教徒だった
363年6月27日-02:00|トルコ/イタリア| ||<即位>ローマ皇帝「ヨウイヌス」ユリアヌスの側近(~03640217、遠征からの帰還途中に火鉢によるガス中毒で事故死)
363年7月-01:00|イタリア/イラン| ||ローマ帝国とヘルシアが和議
363年8月26日-08:00|中国| ||前凉・升平7年8月|<死去>前凉第8代君主「沖公(張玄乇)」張天錫に殺される
363年8月26日-08:00|中国| ||前凉・升平7年8月|<即位>前凉第9代君主「悼公(張天錫)」(~376年8月)

0400迄 (1625件)

363年11月22日-08:00|中国| ||東晉・興寧1年;前燕・建熙4年10月|燕の鎮南將軍慕容廆が、陳留太守袁皮を攻撃/
汝南太守朱斌が許昌を襲撃し勝つ
363年11月22日-08:00|中国| ||代・建国26年10月|代王拓跋什翼犍、高車を大破し、捕虜万余口、家畜百余万を得
た
364年2月17日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「ヨリアヌス」遠征からの帰還途中に火鉢によるガス中毒で事故死
364年2月26日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「ウァレンティニアヌス1世」ユリアヌスの側近(~03751117自然死)
364年3月28日-02:00|トルコ/イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「ウァレンス」ウァレンティニアヌス1世の弟(~3780809、ハドリアノポリスの戦いでコ
ンスタンティヌス1世に敗れて戦死)
364年4月18日-08:00|中国| ||東晉・興寧2年3月1日|庚戌の土断(大規模な戸口調査と戸籍再編)
364年5月18日-09:00|韓国/日本| ||新羅・奈勿9年4月|倭の兵が大挙して新羅に侵入/倭軍は大敗
364年5月18日-08:00|中国| ||前燕・建熙5年;東晉・興寧2年4月|前燕の慕容廆、東晉の許昌、汝南、陳郡を攻略
364年9月13日-08:00|中国| ||前燕・建熙5年;東晉・興寧2年8月|前燕、東晉の洛陽を攻略
365年-05:30|インド| |||<即位>ガダヴァ朝(パナバシ)マハラジャ「Kangavarma」(~390年)
365年-04:00|ジョージア| |||<即位>イバリア王「ミルダト3世」アスハキ2世の息子(~380年)
365年-03:00|スーダン| |||クシュ王国が阿克苏王国によって滅亡
365年2月7日-08:00|中国| ||東晉・興寧3年|<死去>禿髮部鮮卑大人「禿髮推斤」
365年2月7日-08:00|中国| ||東晉・興寧3年|<即位>禿髮部鮮卑大人「禿髮思復犍」推斤の子
365年3月30日-08:00|中国| ||東晉・興寧3年2月22日|<死去>東晉第6代皇帝「哀帝(司馬丕)」
365年3月31日-08:00|中国| ||東晉・興寧3年2月23日|<即位>東晉第7代皇帝「廢帝海西公(司馬奕)」(~372年1月6
日)
365年7月5日-08:00|中国| ||前秦・建元1年6月|建元と改元(-385年7月)
365年7月21日 04:00|ギリシャ/エジプト| |||ギリシャクレタ島で地震(M8~8.6)、死者多数、東地中海の全域で津波による
壊滅的被害、アレキサンドリアが壊滅
365年9月2日-08:00|中国| ||前秦・建元1年8月|前秦の苻堅、匈奴の劉衛辰を討って降す
365年9月26日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝篡奪者「フロロピウス」反乱を起こす(~03660527死去)
365年10月31日-08:00|中国| ||前秦・建元1年10月|前秦の苻幼、長安を攻めるが敗北
365年11月22日-01:00|パチカン| |||<死去>対立ローマ教皇「フェリクス2世」
366年5月27日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝篡奪者「フロロピウス」処刑される
366年9月24日-01:00|パチカン| |||<死去>第36代ローマ教皇「リベリウス」
366年10月1日-01:00|パチカン| |||<就任>第37代ローマ教皇「ダマス1世」(~03841211死去)、対立ローマ教皇「ウルシヌス」(~0367
1116ローマ追放)
366年11月19日-08:00|中国| ||前燕・建熙7年;東晉・太和1年10月|燕の撫軍將軍慕容厲が、こん州へ来寇し、魯・
高平数郡を抜き、守宰を置いて還った
366年11月19日-08:00|中国| ||前凉・升平9年;前秦・建元2年10月|前凉の張天錫は、秦へ使者を派遣し、国交の断
絶を告げた
367年 00:00|アイルランド/イギリス| |||アイルランド人が大挙してローマ支配下のブリタニアを襲う
367年1月17日-08:00|中国| ||東晉・太和1年;前燕・建熙7年12月|南陽督護の趙億が、宛城ごと燕へ降伏
367年1月17日-08:00|中国| ||東晉・太和1年;前秦・建元2年12月|斂岐が略陽の四千家を率いて秦に造反、隴西の
李儼の臣下と称した/李儼は、牧や守を設置して秦・凉と国交を断った
367年3月17日-08:00|中国| ||前秦・建元3年2月|秦は王猛、姜衡、召きょう、姚萇に一万七千を与えて、斂岐討伐
軍を起こした
367年4月16日-08:00|中国| ||前秦・建元3年3月|王猛は略陽を占領し、斂岐は白馬へ逃げた
367年4月16日-08:00|中国| ||前凉・升平10年3月|張天錫が自ら兵を挙げ、李儼攻撃に向かった
367年5月15日-08:00|中国| ||前凉・升平10年;前秦・建元3年4月|張天錫は李儼を攻撃し、大夏・武始の二郡を落
とし、凉の別働隊を率いる掌據が、李儼の軍を撃破/秦の救援軍、王猛は楊安と共に枹罕救援、王猛は凉軍を大い
に破り枹罕を占領
367年6月14日-08:00|中国| ||前燕・建熙8年5月|前燕の慕容恪が病死し実権は太傅の慕容評が握った
367年7月13日-08:00|中国| ||東晉・太和2年6月|荊州刺史の桓豁が、羅崇と共に宛を攻撃し、これを抜いた/趙億
は逃げ、趙盤は魯陽まで退却/桓豁は、趙盤を追撃し、雒陽にてこれを捕らえた
367年8月4日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「グェラティアヌス」ウァレンティニアヌス1世の長男(~03830825、マグヌス・マキシムに敗れ
て殺害される)
367年11月8日-08:00|中国| ||前秦・建元3年10月|前秦の苻柳、苻双ら挙兵
367年11月8日-08:00|中国| ||代・建国30年10月|代の什翼犍が匈奴の劉衛辰を攻撃/劉衛辰は西へ逃げ、什翼建
は彼の部落の民を七割方收容して凱旋
367年11月16日-01:00|パチカン| |||<追放>対立ローマ教皇「ウルシヌス」ローマから追放
368年-04:00|アルメニア/イラン| |||アルメニアをサーサーン朝が支配(~370年)
368年3月6日-08:00|中国| ||前秦・建元4年;前燕・建熙9年2月|前秦の苻瘦、陝城で前燕に降る
368年12月26日-08:00|中国| ||前秦・建元4年12月|王猛ら陝城を落とし、苻瘦を捕えて長安に送る
369年7月21日-08:00|中国| ||東晉・太和4年;前燕・建熙10年6月|桓温は、建威將軍の檀玄に湖陸を攻撃させこれ
を抜いた/慕容偉は、慕容厲に迎撃させたが、大敗
369年10月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||百濟・肖古王24年;高句麗・故国原39年9月|高句麗王は百濟を討伐、雒壤の
戦いで敗れる

0400迄 (1625件)

369年10月17日-08:00|中国| ||東晋・太和4年;前燕・建熙10年;前秦・建元5年9月|燕の奇襲で晋軍は大打撃/桓温は撤退/慕容徳が慕容垂と共に東晋軍を挟撃し破る/秦の苻池も焦にて桓温軍を攻撃し東晋軍は被害を受けた

369年12月15日-08:00|中国| ||前燕・建熙10年11月|前燕、太傅慕容評は慕容垂の肅清を謀り、慕容垂は前秦に亡命

370年-09:00|日本| |||柏原市の松岳山古墳このころ築造

370年-08:00|中国| |||第9代仇池公「楊纂」が秦と国交を断絶

370年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプーラ王国国王「Upatissa1世」Buddhadasaの長男(~412年)

370年-05:30|インド| |||<即位>パラヴァ朝君主「Skandavarman2世」(~385年)

370年-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「ハパス」(~374年)

370年-01:00|ハンガリー/カザフスタン| |||フン族、ドン河下流域にてアラン族を撃破する

370年1月14日-08:00|中国| ||東晋・太和4年12月|桓温が、徐・こんの州民を徴発して廣陵城を築きここへ移った

370年2月12日-08:00|中国| ||仇池・楊纂1年|<死去>前仇池君主「楊世」

370年2月12日-08:00|中国| ||仇池・楊纂1年|<即位>前仇池君主「楊纂」(~371.4戦死);前仇池君主「楊統」自立(~371.4前秦に降伏)前仇池は分裂

370年2月12日-08:00|中国| ||前秦・建元6年;前燕・建熙11年1月|前秦軍、前燕の洛陽を攻略

370年3月14日-08:00|中国| ||東晋・太和5年;前燕・建熙11年2月|竺瑶は燕軍と武丘にて戦い撃破/東晋の桓石虔が寿春の南城を陥れた

370年6月10日-08:00|中国| ||前秦・建元6年;前燕・建熙11年5月|慕容令は牙門の孟嬌を殺した/城大の涉圭降伏/そのまま東方の威徳城を襲撃し城郎の慕容倉を殺した/慕容令等は龍城を襲撃/癸酉、沙圭が慕容令を攻撃し殺す/慕容亮は沙圭を誅殺

370年9月7日-08:00|中国| ||前秦・建元6年;前燕・建熙11年8月|前秦の將軍、王猛、壺関を攻略

370年10月6日-08:00|中国| ||前秦・建元6年;前燕・建熙11年9月|前秦の將軍、楊安・王猛、晋陽を攻略

370年12月5日-08:00|中国| ||前燕・建熙11年11月|<降伏>前燕第3皇帝「幽帝(慕容𡇗)」前秦王苻堅に攻められ前燕滅亡

371年-01:00|ハンガリー| |||フン族、黒海沿岸北部を占領する

371年2月2日-09:00|韓国| ||百済・肖古王26年|この年、百済、漢山城に都を移す

371年2月2日-08:00|中国| ||東晋・太和6年1月|東晋の桓温、寿春を攻略

371年5月1日-08:00|中国| ||仇池・楊纂2年4月|<死去>前仇池君主「楊纂」戦死;「楊統」前秦に降伏/仇池は前秦の支配下となる

371年10月25日-09:00|朝鮮/韓国| ||百済・肖古王26年;高句麗・故国原41年10月|百済の近肖古王が3万の兵で高句麗平壤城を攻める

371年11月16日-09:00|朝鮮/韓国| ||高句麗・故国原41年10月23日|<死去>高句麗王「故国原王」城を出て戦うも流矢が的中し薨じる

371年11月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・小獸林1年10月23日|<即位>高句麗王「小獸林王」(~384年)

372年1月6日-08:00|中国| ||東晋・咸安1年11月15日|<即位>東晋第8代皇帝「太宗簡文帝(司馬昱)」(~9月12日)/咸安と改元

372年1月6日-08:00|中国| ||東晋・咸安1年11月15日|<廃位>東晋第7代皇帝「廢帝海西公(司馬奕)」桓温により

372年2月21日-08:00|中国| ||東晋・咸安2年|<即位>吐谷渾第5代君主「視連」辟奚の子(~390年)

372年2月21日-08:00|中国/韓国| ||百済・肖古王27年;東晋・咸安2年1月|百済が東晋に対して朝貢

372年7月17日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・小獸林2年;前秦・建元8年6月|前秦の僧・順道が高句麗へ仏像・經文を伝える

372年9月12日-08:00|中国| ||東晋・咸安2年7月28日|<死去>東晋第8代皇帝「太宗簡文帝(司馬昱)」

372年9月12日-08:00|中国| ||東晋・咸安2年7月28日|<即位>東晋第9代皇帝「烈宗孝武帝(司馬曜)」(~396年11月6日)

373年2月9日-09:00|朝鮮| ||高句麗・小獸林3年|高句麗の小獸林王が初めて律令を定める

373年3月10日-08:00|中国/韓国| ||東晋・寧康1年2月;百済・肖古王28年2月|百済、東晋に遣使朝貢

373年5月2日-01:00|イタリア| |||<死去>キリスト教の神学者アタナシウス

373年8月5日-08:00|中国| ||東晋・寧康1年7月|東晋の桓温没

373年9月4日-08:00|中国| ||東晋・寧康1年8月|東晋の梁州刺史楊亮が、息子の楊廣に仇池を襲撃させた/楊廣は楊安と戦って敗れた

373年11月2日-08:00|中国| ||前秦・建元9年10月|秦王之苻堅は梁・益へ入寇/楊亮は迎撃し青谷にて敗北し西城へ逃げた/朱彫は漢中を抜いた/徐成は劍閣を攻め勝つ/楊安は梓潼へ進攻/梓潼太守の周虎は降伏

373年12月1日-08:00|中国| ||前秦・建元9年;東晋・寧康1年11月|秦王苻堅、東晋の梁州、益州を取る

374年-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「ヴァラタス」(~378年)

374年-01:00|ハンガリー/ロシア| |||パルミールに率いられたフン族が、ボルガ川を渡り、ヨーロッパに侵入

374年1月29日-08:00|中国| ||東晋・寧康2年|蜀の張育は前秦による益州統治を拒み楊光と共に挙兵し、成都を囲む/張育、蜀王を称す

374年10月22日-08:00|中国| ||前秦・建元10年9月|前秦の楊安、張育らを討ち、斬る/前秦、益州を回復

375年-05:30|インド| |||<即位>グプタ朝「ラマグプタ」⇒「チャンドラグプタ2世」(~415年)

375年-05:30|インド/イラン| |||<廃位>クシャナ朝君主「Kipunada」サーサン朝の征服

375年-02:00|ウクライナ| |||クリミアはフン族によって支配(~500年)

375年-02:00|トルコ| |||フン族の侵入によりエルミラ治下の黒海沿岸の東ゴート族滅亡

0400迄 (1625件)

375年-01:00|イタリア| |||タキアの西ゴート人、ドナを渡りローマ帝国領に侵入
375年2月17日-08:00|中国| ||吐谷渾・視連1年|<即位>吐谷渾第5代可汗「視連」(~390年)第4代可汗「辟奚」の子
375年3月19日-09:00|朝鮮| ||高句麗・小獸林5年2月|高句麗、肖門寺を創建し、順道を置く/また、伊弗蘭寺を創建し阿道を置いた/海東の佛法はこれが始まり
375年8月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・小獸林5年;百済・肖古王30年7月|高句麗が百済北部辺境の水谷城を攻め落とした/反撃したが勝てなかった
375年11月17日-01:00|イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「ヴァレンティニアヌス1世」自然死
375年11月17日-01:00|イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「ヴァレンティニアヌス2世」ヴァレンティニアヌス1世の次男(~03920515、宮廷で死体として発見される)
375年12月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・肖古王30年11月|<死去>百済王「近肖古王」
375年12月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・肖古王30年11月|<即位>百済王「近仇首王」(~384年)
376年-02:00|ルーマニア/ロシア| |||トランシルバニアはフン族に支配された(~454年)
376年2月7日-08:00|中国| ||東晋・太元1年|<即位>乞伏部鮮卑「国仁」司繁の子(~385年)
376年2月7日-08:00|中国| ||東晋・太元1年|太元と改元(~396年)
376年8月31日-08:00|中国| ||前秦・建元12年;前凉・升平20年8月|秦の梁熙、姚萇、王統、李弁が涼の河会城を攻め、守る梁濟は降伏
376年9月16日-08:00|中国| ||前秦・建元12年;前凉・升平20年8月17日|甲申、苟萇は梁熙と合流し纏縮城を攻略
376年9月22日-08:00|中国| ||前秦・建元12年;前凉・升平20年8月23日|庚寅、馬建は秦へ降伏
376年9月23日-08:00|中国| ||前秦・建元12年;前凉・升平20年8月24日|辛卯、苟萇は洪池の掌據に勝利
376年9月25日-08:00|中国| ||前秦・建元12年;前凉・升平20年8月26日|癸巳、秦軍は赤岸にて趙充哲に勝利
376年9月27日-08:00|中国| ||前秦・建元12年;前凉・升平20年8月28日|<退位>前凉第9代君主「悼公(張天錫)」前秦に降伏/前秦が華北を統一
376年11月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・小獸林6年;百済・近仇首2年11月|百済の北鄙に侵攻
376年12月-08:00|中国| |||前秦苻堅、劉衛辰の救援により代を滅ぼし2部に分け、劉庫仁・劉衛辰に分治させる
376年12月27日-08:00|中国| ||代・建国39年12月|<死去>第8代代王「高祖昭成帝(拓跋什翼犍)」庶長子の寔君により諸弟とともに殺された
377年1月26日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||前秦・建元13年春|高句麗、新羅、西南夷の諸国が、使者を派遣して秦へ入貢
377年11月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・近仇首3年;高句麗・小獸林7年10月|百済の將兵三万が平壤城に来寇
377年12月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・小獸林7年;百済・近仇首3年11月|南に百済を討伐
377年12月17日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高句麗・小獸林7年;前秦・建元13年11月|遣使を以て苻堅の前秦に朝貢
378年-04:00|アルメニア| |||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「アルサクス3世」(~387年)、「ウァホカセス3世」(~386年、死去)共同統治
378年1月16日 06:00|グアテマラ| |||<死去>ティカル王「チャック・トゥク・イチャク1世」
378年8月9日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>ローマ皇帝「ヴァレンス」ハトリボリスの戦いでゴート軍に敗れて戦死
379年-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第10代シャハーンシャー「シャプール2世」
379年-03:00|イラク/イラン| |||<即位>ササン朝第11代シャハーンシャー「アルダシール2世」(~383年死去)
379年1月1日-01:00|フランス/イタリア| |||<即位>ローマ皇帝「テオドシウス1世」ローマ軍の将軍であった大テオドシウスの息子(~03950117、自然死)
379年1月19日-01:00|イタリア/ドイツ/フランス/スペイン/ギリシア/トルコ| |||西帝グラティアヌスがガリア・スペイン・ブリタニア、テオドシウス1世を東方担当、ヴァレンティニアヌス2世をイタリア・イリュリウム・アフリカ統治として統治
379年3月5日-08:00|中国| ||前秦・建元15年;東晋・太元4年2月|前秦、東晋の襄陽、彭城を攻略
379年5月3日-08:00|中国| ||前秦・建元15年;東晋・太元4年4月|前秦の韋鍾が魏興を攻め落とす
379年6月1日-08:00|中国| ||前秦・建元15年;東晋・太元4年5月|前秦の超軍がかんがいを攻略
379年7月1日-08:00|中国| ||東晋・太元4年;前秦・建元15年6月|東晋の謝玄がかんがいを奪回し、各地で前秦を撃退
379年9月13日 06:00|グアテマラ| |||<即位>ティカル王「ヤシュ・ヌン・アイーン1世」(~404年)
380年-09:00|日本| |||馬見丘陵の佐味田宝塚古墳がこのころ築造
380年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「范胡達」(~413、2死去)
380年-05:30|インド| |||<即位>インド・スキタイ王国(西グジャラト)「シムハセナ」(~382年)
380年-05:30|インド| |||<即位>ヴァーカーカ朝(ナグプル)マハラジャ「Rudrasena2世」(~385年)
380年-04:00|ジョージア| |||<即位>イベリア王「アスパキウス3世」ミルダト3世の息子(~394年)
380年2月28日-01:00|イタリア| |||テオドシウス1世が、キリスト教をローマの国教とする
380年6月19日-08:00|中国| ||前秦・建元16年5月|苻洛の乱/中山で前秦の苻洛軍は苻堅軍と戦い大敗し捕らえられて長安へ送られた/屯騎校尉の石越が和龍を襲撃して平規を斬り幽州は平定
380年9月16日-08:00|中国| ||前秦・建元16年8月|幽州を分割して平州を設置
380年11月14日-08:00|中国| ||東晋・太元5年10月|九真太守李遜、交州で反乱
381年3月12日-08:00|中国| ||前秦・建元17年2月|東夷諸国、前秦に入貢
381年4月10日-08:00|中国| ||前秦・建元17年3月|苻登は范氏堡にて後秦の安東將軍金榮を攻撃し勝つ/そのまま水を渡って京兆を攻撃したが勝てなかった
381年5月-01:00|イタリア/トルコ| |||コンスタンティノブル公会議、ニカイア信条を正統教義とする
381年5月10日-08:00|中国| ||前秦・建元17年4月|苻登は曲牢から繁川へ向かい、馬頭原に屯営/姚萇はこれを迎え撃ったが、苻登は撃退し、右將軍の吳忠を斬った/姚萇は遂に苻登と戦い撃破

0400迄 (1625件)

381年12月3日-08:00|中国| ||前秦・建元17年;東晉・太元6年11月|秦の荊州刺史都貴が、部下の閻振と呉仲へ兵を与えて意陵を攻撃させたが撃退される

382年-05:30|インド| ||<即位>インド・シタイ王国(西グジャラト)「ルト・ラセナ4世」(~388年)

382年1月1日-08:00|中国| ||前秦・建元17年12月|苻登が安定を攻撃/姚萇は安定城の東で苻登を破り苻登は路承堡まで退却

382年1月31日-09:00|韓国/中国| ||新羅・奈勿27年;前秦・建元18年|新羅王楼寒(奈勿王か)、使者を前秦に遣わす

382年8月25日-08:00|中国| ||前秦・建元18年8月|姚萇は、防戦の為、自ら出陣/苻登が迎撃しようすると、姚隆が別方面から秦の陣営を攻撃、苻登は懼れ、退却

382年9月24日-08:00|中国| ||東晉・太元7年9月|東夷5国、東晉に遣使朝貢

382年10月-02:00|ブルガリア/イタリア/トルコ| ||西ゴート族が東ローマ帝国と同盟

382年11月22日-08:00|中国| ||前秦・建元18年10月|河南太守の楊詮期が竇衝を攻撃し、竇衝は逃げた

383年-03:30|イラン/イラク| ||<死去>ササン朝第11代シャーンシャ「アルダシール2世」

383年-03:30|イラン/イラク| ||<即位>ササン朝第12代シャーンシャ「シャープール3世」(~388. 12死去)

383年 00:00|イギリス/イタリア| ||<即位>西ローマ皇帝「マグヌス・マキシム」ブリタニア軍団総督が擁立され(~03880828死去)

383年1月-01:00|フランス/イタリア| ||<即位>ローマ皇帝「アルカディウス」テオドシウス1世の長男(~04080501自然死)

383年6月17日-08:00|中国| ||東晉・太元8年;前秦・建元19年5月|東晉の桓冲が秦に奪われた襄陽を奪還しようと攻撃/劉波にがく北の諸城を攻撃させた/楊亮は蜀を攻撃して五城を抜き、陪城へ迫った/鷹揚將軍郭銓は武當を攻撃

383年7月16日-08:00|中国| ||東晉・太元8年;前秦・建元19年6月|桓冲の別働隊が、萬歳、筑陽を攻撃して抜いた/苻堅は苻叡、慕容垂等に兵を与え、襄陽救援に向かわせた

383年8月25日-01:00|イタリア/フランス| ||<死去>ローマ皇帝「マグニマクス」に敗れて殺害される

383年11月11日-08:00|中国| ||東晉・太元8年;前秦・建元19年10月|苻融等が寿陽を攻撃し、勝った/慕容垂は員城を抜いた

383年12月11日-08:00|中国| ||東晉・太元8年;前秦・建元19年11月|劉牢之は梁成を攻撃して大いに破った/秦軍は崩壊/苻融は晋兵に殺され、秦軍は瓦解

383年12月11日-08:00|中国| ||東晉・太元8年;前秦・建元19年11月|ヒ水の戦い/東晉の謝玄・謝石ら、前秦・苻堅をヒ水の戦いで大破

384年2月8日-09:00|朝鮮| ||高句麗・小獸林14年|<死去>北扶餘国王「蔚王」

384年2月8日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年1月|<即位>後燕第1代燕王「世祖成武帝(慕容垂)」(⇒386年1月皇帝と称する~396年4月)/燕元と建号(-386年2月)

384年2月8日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年1月|慕容垂は趙秋と纂母騰に石越を攻撃させこれを敗った

384年3月9日-08:00|中国| ||前秦・建元20年2月|前秦で鮮卑系の慕容[弘(サスィ)]・慕容冲反乱/竇衝は河東にて慕容冲と戦い撃破/慕容泓は長安へ向かって進撃

384年3月9日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年;前秦・建元20年2月|慕容垂は業を攻撃/苻叡は華沢にて戦いを挑み秦軍は破れ苻叡は戦死

384年5月7日-09:00|韓国| ||百済・近仇首10年4月|<死去>百済王「近仇首王」

384年5月7日-09:00|韓国| ||百済・枕流王1年4月|<即位>百済王「枕流王」(~385年)

384年5月7日-08:00|中国| ||後秦・白雀1年4月|<即位>後秦第1代秦王「太祖(姚萇)」前秦に反し大將軍・大単于・万年秦王を称し(⇒386年皇帝~393年12月)、白雀と改元(-386年4月)

384年5月7日-08:00|中国| ||西燕・燕興1年4月|<即位>西燕第1代皇帝「済北王慕容泓」都督陝西諸軍事・大將軍・雍州牧・済北王を自称(~384年6月家臣に暗殺される)、燕興と建元(~12月)

384年7月5日-08:00|中国| ||西燕・燕興1年6月|<死去>西燕第1代皇帝「済北王慕容泓」家臣に暗殺される

384年7月5日-08:00|中国| ||西燕・燕興1年6月|<即位>西燕第2代皇帝「威帝慕容冲」(~386年)百官を設置

384年7月5日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年;前秦・建元20年6月|慕容麟は常山を抜き、苻謨と苻亮は降伏

384年7月5日-08:00|中国| ||後秦・白雀1年;前秦・建元20年6月|姚萇は七万の軍勢で秦を攻撃、苻堅は楊壁を派遣したが撃破された

384年7月5日-08:00|中国| ||後秦・白雀1年;前秦・建元20年6月|苻堅自ら後秦討伐/後秦軍は屢々敗北

384年8月3日-08:00|中国| ||前秦・建元20年7月|前秦の苻堅の命により呂光は亀茲国の征討に成功

384年8月3日-08:00|中国/韓国| ||百済・枕流王1年;東晉・太元9年7月|百済、東晉に遣使朝貢

384年8月3日-08:00|中国| ||西燕・燕興1年;前秦・建元20年7月|慕容冲は、鄭西にて苻暉と戦い撃破/苻堅は姜宇と末子の苻琳に覇上にて慕容冲を防がせたが慕容冲軍に蹴散らされ姜宇と苻琳は共に戦死

384年8月3日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年;前秦・建元20年7月|慕容麟は中山を制圧/秦の王永と苻冲が燕を攻撃、慕容垂は平規に迎撃させ、王永が差し向けた宋敞を范陽にて撃破

384年9月2日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年;前秦・建元20年8月|謝玄、桓石虔等が討秦の軍を起こし、謝玄は下丕を、桓石虔は彭城を占領/秦の王永は劉庫仁に救援を求め、劉庫仁は公孫希に兵を与えて派遣し薊南にて、平規を大いに敗った

384年10月1日-09:00|韓国/中国| ||百済・枕流王1年9月|東晉から胡僧の摩羅難陀を迎え百済の仏教始まる

384年10月31日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年;前秦・建元20年10月|後燕の太子太保慕容劼の息子文と、零陵公慕容興虔の息子の常が、劉庫仁を攻撃して殺した

384年10月31日-08:00|中国| ||後燕・燕元1年;前秦・建元20年10月|慕容垂は召興を撃破しようと、慕容隆と張崇を派遣/両軍は襄国で激突し、召興は敗北/慕容隆はそのまま趙粟を攻撃してこれを撃破/冀州の郡県は、再び燕

0400迄 (1625件)

へ臣従

384年11月29日-09:00|朝鮮| ||高句麗・小獸林14年11月|<死去>高句麗王「小獸林王」
384年11月29日-09:00|朝鮮| ||高句麗・故国壤1年11月|<即位>高句麗王「故国壤王」(~391年)
384年12月11日-01:00|バチカン| ||<死去>第37代ローマ教皇「ダマス1世」
384年12月15日-01:00|バチカン| ||<就任>第38代ローマ教皇「シリカス」(~03991126死去)
385年-05:30|インド| ||<即位>ヴァーカーカ朝(ナガプル)マハシヤ代理「Prabhavatigupta」(~405年)
385年-05:30|インド| ||<即位>ヴァーカーカ朝(ナガプル)マハシヤ「Divakarasena」(~400年)
385年-05:30|インド| ||<即位>ハラウァ朝君主「Viravarman」(~400年)
385年1月2日-08:00|中国| ||前秦・建元20年;西燕・燕興1年12月5日|甲寅、苻堅は仇班沐にて慕容冲と戦い、大いに撃ち破った/翌日、桑雀にて再び戦い、又も大勝利
385年1月12日-08:00|中国| ||前秦・建元20年;西燕・燕興1年12月15日|甲子の戦いで秦軍は大敗
385年1月20日-08:00|中国| ||前秦・建元20年;西燕・燕興1年12月15日|壬申、慕容冲の命で高蓋が長安へ夜襲、竇衝と李弁が撃退
385年1月27日-08:00|中国| ||西燕・更始1年正月|西燕、慕容冲は更始(-386年2月)と改元
385年2月26日-09:00|韓国| ||百済・枕流王2年2月|百済、漢山に仏寺創設
385年2月26日-08:00|中国| ||前秦・建元21年;西燕・更始1年2月|苻堅は城西にて慕容冲と戦い大勝利/苻暉は、慕容冲と戦って屢々敗れた
385年3月27日-08:00|中国| ||前秦・建元21年;西燕・更始1年3月|慕容冲は驪山にて苻方と戦い殺した/秦の苟池と俱石子が慕容冲と驪山で戦い敗れた/苻堅は楊定を派遣して慕容冲を攻撃、楊定は大いに敵を破る
385年4月26日-08:00|中国| ||前秦・建元21年;西燕・更始1年4月|劉牢子軍は業へ進軍、慕容垂は迎撃したが撃退された/庚申、劉牢子軍は五橋沢にて燕の輜重隊を襲撃、慕容垂本隊が襲撃して大いにこれを破った
385年7月24日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・故国壤2年6月|高句麗王は遼東・玄菟を攻略
385年7月24日-08:00|中国| ||西燕・更始1年6月|西燕、長安を攻略
385年8月22日-08:00|中国| ||西燕・更始1年7月|慕容垂は慕容農を龍城へ派遣して餘巖を討伐させた/慕容麟と慕容隆は渤海を攻略
385年9月21日-08:00|中国| ||前秦・太安1年8月|<死去>前秦第3代皇帝「世祖宣昭帝(苻堅)」姚萇に捕らえられ新平で絞殺される
385年9月21日-08:00|中国| ||前秦・太安1年8月|<即位>前秦第4代皇帝「哀平帝(苻丕)」(~386年10月)、太安と改元(-386年10月)
385年9月21日-08:00|中国| ||西燕・更始1年8月|劉頭眷が賀蘭部を撃破/又、柔善を撃破
385年10月20日-08:00|中国| ||西秦・建義1年9月|<即位>西秦第1代皇帝「烈祖宣烈王(乞伏国仁)」(~388年6月)大都督・大將軍・大单于・領秦河二州牧を自称し、建義と建元(-388年6月)勇士城を都とし、十二郡を置いた
385年10月20日-08:00|中国| ||後秦・白雀2年9月|高昌を征した呂光は東進し後秦配下の涼州刺史を酒泉近郊で破った/姑臧に入った呂光は涼州刺史・護羌校尉を名乗り事実上の自立政権を打ち立てた
385年11月19日-08:00|中国| ||西燕・更始1年;後秦・白雀2年10月|西燕の尚書令の高蓋は後秦軍と新平の南で戦って大敗し後秦へ降伏
385年12月18日-09:00|韓国| ||百済・枕流王2年11月|<死去>百済王「枕流王」
385年12月18日-09:00|韓国| ||百済・辰斯王1年11月|<即位>百済王「辰斯王」(~392年)
385年12月18日-08:00|中国| ||仇池・楊定1年11月|<即位>後仇池君主「楊定」歴城(現在の甘肅省西和県)に移って、龍驤將軍・平羌校尉・仇池公を自称し自立(~394. 10西秦の乞伏乾帰に敗北し殺害された)
385年12月18日-08:00|中国/朝鮮| ||後燕・燕元2年;高句麗・故国壤2年11月|燕(後燕)の慕容農が將兵を率いて高句麗を伐ち、遼東・玄菟二郡を復興させた
386年-04:00|アルメニア| ||<死去>アルメニア王(アルサス朝)「ヴォカ」セ3世
386年1月17日-08:00|中国| ||西燕・更始1年12月|慕容垂は中山へ移住し遷都
386年1月17日-08:00|中国| ||西燕・更始1年12月|慕容麟は博陵を抜き、王兌と苻鑑を捕らえ、殺した
386年2月15日-08:00|中国| ||北魏・登國1年1月|<即位>代王「拓跋珪」賀蘭部の推戴を受けて牛川で/登國と建元(~396年6月)
386年2月15日-08:00|中国| ||前秦・太安2年1月|秦の益州牧王廣は河州牧の毛興を攻撃/毛興は衛平を差し向けて夜襲しこれを大いに撃破
386年2月15日-08:00|中国| ||西秦・建義2年1月|南安の秘宜が、きょう、胡の兵卒五万余を率いて西秦の乞伏国仁を攻撃/国仁は迎撃し大破
386年2月20日-08:00|中国| ||北魏・登國1年1月6日|<即位>北魏皇帝「太祖道武帝(拓跋珪)」献明帝(拓跋寔)の子(~4091106死去)
386年3月17日-08:00|中国| ||西燕・更始2年2月|<死去>西燕第2代皇帝「威帝慕容冲」左將軍の韓延によって殺害された
386年3月17日-08:00|中国| ||西燕・昌平1年2月|<即位>西燕第3代皇帝「燕王段隨」(~昌平元年(386年)3月)昌平と改元
386年3月17日-08:00|中国| ||後燕・建興1年2月|後燕第1代燕王「世祖成武帝(慕容垂)」、都を中山に定め、皇帝を称し、建興(~396年4月)と改元
386年4月15日-08:00|中国| ||西燕・昌平1年3月|<死去>西燕第3代皇帝「燕王段隨」慕容恒と慕容永に殺される
386年4月15日-08:00|中国| ||西燕・建明1年3月|<即位>西燕第4代皇帝「燕王慕容凱」(~同月慕容韜により殺害される)、建明に改元

0400迄 (1625件)

386年4月15日-08:00|中国| ||西燕・建平1年3月|<即位>西燕第5代皇帝「燕帝慕容瑤」(~同月尚書慕容永に殺害されると)建平と改元
386年4月15日-08:00|中国| ||西燕・建武1年3月|<即位>西燕第6代皇帝「燕帝慕容忠」(~9月將軍慕容雲により殺害され)建武と改元
386年5月15日-08:00|中国| ||後秦・建初1年4月|後秦第1代秦王「姚萇」安定から攻め込み長安を占領⇒皇帝「太祖(姚萇)」/建初と改元(-394年4月)
386年5月15日-08:00|中国| ||前秦・太安2年4月|秦の河州牧の毛興は王廣を攻めて撃退/王廣は隴西鮮卑の匹蘭が捕らえて後秦へ引き渡した/枹罕の諸ていが、造反して毛興を殺した
386年5月15日-08:00|中国| ||前秦・太安2年4月|張大豫は、楊鳩から姑藏城の西まで進軍し、王穆と湟于へ兵を与えて城南へ屯営させた/呂光は出撃してこれを大破し湟于を斬り二万の首級を挙げた
386年7月13日-08:00|中国| ||後燕・建興1年;後秦・建初1年6月|慕容垂は慕容楷、慕容麟、慕容紹、慕容宙等に秦の苻定、苻紹、苻謨、苻亮等を攻撃させた/苻定等は皆降伏
386年8月11日-08:00|中国| ||前秦・太安2年;後秦・建初1年7月|秦の平涼太守金熙と、安定都尉没奕干が、後秦の姚方成と戦い破った/姚萇は自身で兵を率いて金熙等を攻撃し大勝利
386年8月11日-08:00|中国| ||西秦・建義2年7月|南安の秘宜と、莫侯悌眷が三万余戸を率いて国仁へ降伏
386年8月11日-08:00|中国| ||後燕・建興2年;北魏・登国1年7月|慕容垂は慕容楷、慕容麟を派遣して姚萇の劉頤を攻撃し大いに破った/拓跋珪は慕容麟と彌澤にて劉頤を攻撃し再び破った
386年8月11日-08:00|中国| ||前秦・太安2年;後秦・建初1年7月|苻登は五万の兵を率い、東下して隴へ出、南安を攻撃し、これを抜いた
386年9月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・故国壤3年;百済・辰斯王2年8月|高句麗の故国壤王は兵を発して百済を南拔
386年9月10日-08:00|中国| ||前秦・太安2年;後秦・建初1年8月|秦の略陽太守王皮は、後秦へ降伏
386年10月10日-08:00|中国| ||西燕・中興1年9月|<即位>西燕第7代皇帝「河東王慕容永」再び皇帝として即位し自立(~394年8月)/中興(-394年8月)と改元
386年10月10日-08:00|中国| ||前秦・太安2年;後秦・建初1年9月|王統は秦州ごと後秦へ降伏
386年11月8日-08:00|中国| ||東晋・太元11年;前秦・太安2年10月|<死去>前秦第4代皇帝「哀平帝(苻丕)」東晋の揚威將軍馮該に殺される
386年11月8日-08:00|中国| ||後涼・太安1年10月|<即位>後涼初代酒泉公「太祖懿武帝(呂光)」(~399年)太安と改元
386年11月8日-08:00|中国| ||前秦・太安2年;後秦・建初1年10月|秦の苻登が秦州の姚碩徳を攻撃/苻登は救援に駆けつけた姚萇と胡奴阜にて戦い大勝利
386年11月8日-08:00|中国| ||西燕・中興1年;前秦・太安2年10月|西燕の慕容永が苻丕と襄陵にて戦った/秦軍は大敗
386年11月8日-08:00|中国| ||北魏・登国1年10月|拓跋窟咄は魏を攻撃、賀染干がこれに呼応/拓跋珪は慕容麟と合流して窟咄を迎撃し破った/拓跋珪は、窟咄の民を全て吸収
386年12月8日-08:00|中国| ||前秦・太初1年11月|<即位>前秦第5代皇帝「高帝(苻登)」(~394年7月)太初と改元(-394年6月)
387年-04:00|アルメニア| ||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「ユスロフ4世」(~389年)
387年-01:00|イタリア| ||マキシムス、イタリアを占領しヴァレンティニアヌス2世東方へ逃亡
387年 00:00|イタリヤ| ||<即位>ヒョクツ王「Talorc mac Achiuir」(~412年)
387年5月4日-08:00|中国| ||後秦・建初2年4月|後秦の征西將軍姚碩徳が、楊定に迫られ、涇陽まで退却/楊定は苻纂と共にこれを攻撃し、姚碩徳は大敗
387年8月1日-08:00|中国| ||西秦・建義3年7月|乞伏国仁軍は鮮卑の没奕干、金熙と戦って大勝し大人密貴、裕苟、提倫の三部は全て降伏
387年9月29日-08:00|中国| ||後秦・建初2年9月|姚萇は泥源にて苻纂の弟の苻師奴を大いに破った
387年10月28日-08:00|中国| ||後秦・建初2年;西燕・中興2年10月|姚萇は更に進撃し、慕容永と河西で戦い、慕容永は敗走/蘭續は兵を列ねて守ったが、姚萇はこれを攻め落とし捕らえた/後秦の姚方成が、徐嵩の砦を攻撃し、これを抜いた
387年12月27日-08:00|中国| ||後涼・太安2年12月|呂光は前涼の張天錫の子の張大豫の軍を破り旧前涼の支配地域をほぼ掌握、前秦より自立、後涼建国
388年-05:30|インド| ||<即位>インド・シタ王(西グジャラト)「ルンラム23世」(~395年)
388年3月24日-08:00|中国| ||北魏・建光1年2月|<即位>北魏初代魏天王「拓跋珪」(~391年10月)建光と建元
388年5月22日-08:00|中国| ||西秦・建義4年4月|乞伏国仁が平襄にて、鮮卑の越質叱黎を撃破
388年7月20日-08:00|中国| ||西秦・太初1年6月|<死去>西秦初代皇帝「烈祖宣烈王(乞伏国仁)」
388年7月20日-08:00|中国| ||西秦・太初1年6月|<即位>西秦第2代皇帝「高祖武元王(乞伏乾帰)」太初に改元(~400年7月南涼へと亡命)
388年8月19日-08:00|中国| ||北魏・登国3年7月|庫莫奚は魏の營を襲撃したが、拓跋珪は撃破
388年8月28日-01:00|イタリア| ||<死去>西ローマ皇帝「マクシムス・マキシムス・テオドシウス1世」にシキアで敗れ処刑される
388年10月17日-08:00|中国| ||西秦・太初1年9月|乞伏乾帰は金城へ遷都
388年12月-03:00|イラク/イラン| ||<死去>ササン朝第12代シャハーン「シャプール3世」
388年12月-03:00|イラク/イラン| ||<即位>ササン朝第13代シャハーン「バハラム4世」(~399年死去)
389年-04:00|アルメニア| ||<即位>アルメニア王(アルサクス朝)「ウラムシャプール」(~417年)

0400迄 (1625件)

389年2月12日-08:00|中国| ||北魏・登國4年1月|魏王拓跋珪は高車を襲撃して破った
 389年3月13日-08:00|中国| ||後涼・麟嘉1年2月|<自称>後涼初代酒泉公「太祖懿武帝(呂光)」⇒三河王/元号を麟嘉に改める(-396年6月)
 389年3月13日-08:00|中国| ||北魏・登國4年2月|魏王拓跋珪は吐突隣部を襲撃して大いに破った
 389年6月10日-08:00|中国| ||後秦・建初4年;前秦・太初4年5月|後秦の姚萇は中軍將軍の姚崇に大界を襲撃させたが苻登はこれを安丘にて迎撃撃退/苻登は、更に後秦の右將軍吳忠等を平涼にて攻撃し勝った
 389年6月10日-08:00|中国| ||西秦・太初2年5月|乞伏乾歸は侯年部を襲撃して大いに破った/秦・涼の鮮卑、きょう、胡が大勢彼に帰順
 389年8月8日-08:00|中国| ||後秦・建初4年;前秦・太初4年7月|前秦の苻登、後秦の安定を攻め大敗
 389年9月7日-08:00|中国| ||後秦・建初4年;前秦・太初4年8月|後秦の姚萇は大界を襲撃し秦の輜重部隊を撃破
 389年10月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・辰斯王5年;高句麗・故国壤6年9月|百済が高句麗に来寇。南鄙の部落を掠め取って帰る
 389年10月6日-08:00|中国| ||仇池・楊定5年;後秦・建初4年9月|仇池の楊定が、隴・冀を攻撃し勝つ/姚萇は略陽を放棄
 390年-09:00|日本| ||古市古墳群がこのころ築造
 390年-09:00|日本| ||五色山古墳(神戸垂水区)がこのころ築造
 390年-08:00|中国| ||吐谷渾・視罷1年|<即位>吐谷渾第6代可汗「視罷」(~400年)第5代可汗「視連」の長子
 390年-05:30|インド| ||<即位>ガダンバ朝(パナハシ)マハラジャ「Bhageerath」(~415年)
 390年1月3日-08:00|中国| ||西秦・太初2年12月|越質詰帰が平襄に據って乞伏乾歸に背いた
 390年2月1日-08:00|中国| ||吐谷渾・視罷1年|<即位>吐谷渾第6代君主「視罷」視連の長子(~400年)
 390年2月1日-08:00|中国| ||苻魏・建光3年|苻魏の初代天王苻遼が劉牢之に滑台で大敗
 390年2月1日-08:00|中国| ||西秦・太初3年1月|乞伏乾歸は越質詰帰を攻撃し、越質詰帰は降伏
 390年2月1日-08:00|中国| ||東晉・太元15年;西燕・中興5年1月|慕容永は兵を率いて洛陽へ向かった/東晉の朱序が河陰から黄河を渡りこれを攻撃して敗り、引き返して擢遼を撃退
 390年4月1日-08:00|中国| ||後秦・建初5年;前秦・太初5年3月|姚萇が新羅堡にて秦の扶風太守の齊益男を敗り齊益男は逃げた
 390年5月1日-08:00|中国| ||後秦・建初5年;前秦・太初5年4月|秦の魏掲飛が衝天王と自称し、てい・胡を率いて杏城の姚當成を攻撃/雷惡地が造反して応じ、李潤の姚漢得を攻撃/姚萇は王超を派遣して魏掲飛を斬り殺した/雷惡地は降伏
 390年5月1日-08:00|中国| ||北魏・登國5年4月|魏王拓跋珪は意辛山にて慕容麟と合流し、賀蘭・乞突隣・乞溪の三部を撃破/乞突隣と乞溪は、皆、魏へ降伏
 390年7月28日-08:00|中国| ||北魏・登國5年7月|匈奴鉄弗部の劉衛辰が、息子の直力堤に賀蘭部を攻撃させた/賀訥は魏へ降伏/魏王拓跋珪が救援に駆けつけ直力堤は撤退
 390年9月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||百済・辰斯王6年;高句麗・故国壤7年9月|百済は達率眞嘉謨を派遣して、高句麗の都押城を破り、二百人を虜囚として連れ帰る
 391年-02:00|エジプト| ||<即位>ガッサン王「アル=ヌ=マン3世バシム・アル=バシム・アル=マンデール1世」(~418年)
 391年-02:00|エジプト| ||アレクサンドリアのセレス神殿のキリスト教徒による破壊
 391年1月22日-08:00|中国| ||後秦・建初4年;前秦・太初5年12月|秦へ呼応した馮翊の敦質は苟曜と鄭県の東で戦い敗北
 391年2月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・故国壤8年;新羅・奈勿36年春|新羅に遣使を送って修好/新羅王は姪の實聖を質として遣わす
 391年2月20日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||百済・辰斯王7年;新羅・奈勿36年|倭、渡海して百済・新羅を破り、臣民となす(高句麗好大王碑文)
 391年2月20日-08:00|中国| ||西秦・太初4年1月|乞伏乾歸は背いた越質詰帰を攻撃し、越質詰帰は降伏
 391年2月24日-01:00|イタリア| ||ローマ皇帝テオドシウス1世が「異教」の全面禁止令を發布
 391年5月20日-08:00|中国| ||後燕・建興6年4月|燕の鎮北將軍蘭汗は賀染干の軍を撃破
 391年6月18日-09:00|朝鮮| ||高句麗・永樂1年5月|<死去>高句麗王「故国壤王」
 391年6月18日-09:00|朝鮮| ||高句麗・永樂1年5月|<即位>高句麗王「広開土王(好太王)」(~413年)永樂と改元
 391年7月18日-08:00|中国| ||後燕・建興6年6月|慕容麟が賀訥軍を破り賀訥を捕らえた/賀訥の部落数万が燕へ降伏
 391年8月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂1年;百済・辰斯王7年7月|南に百済討伐し、十城を抜いた
 391年8月16日-08:00|中国| ||北魏・登國6年;後燕・建興6年7月|魏王珪は燕と国交を断絶
 391年10月14日-08:00|中国| ||北魏・登國6年9月|拓跋珪は拓跋珪は柔然を攻撃/大勝利を収めた
 391年10月14日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・永樂1年9月|北に契丹を討伐し、虜囚は男女五百人
 391年11月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂1年;百済・辰斯王7年10月|百済の閔彌城を陥落させた
 391年11月13日-08:00|中国| ||苻魏・建光4年10月|<死去>苻魏初代魏天王「苻遼」病没
 391年11月13日-08:00|中国| ||苻魏・定鼎1年10月|<即位>苻魏第2代皇帝「苻釗」(~392年6月)、定鼎と改元
 391年12月13日-08:00|中国| ||北魏・登國6年11月|劉衛辰の息子の直力堤を魏王珪は大破/直力堤を捕らえた/劉衛辰は部下の造反にあって殺された
 392年2月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂2年;新羅・奈勿37年1月|高句麗が使者を新羅に派遣/王は高句麗の国力が強大な、伊の大西知の息子・実聖を人質として送った
 392年5月15日-01:00|フランス/イタリア| ||<死去>ローマ皇帝「ヴァレンティニアヌス2世」がリビアで暗殺(誕生371年)

0400迄 (1625件)

392年7月6日-08:00|中国| || 魏・定鼎2年6月| 魏第2代皇帝「剣」が慕容垂の征討を受け、黎陽津において大敗/単騎逃れて西燕の慕容永のもとに奔った(魏滅亡)

392年8月5日-09:00|韓国/朝鮮| || 高句麗・永樂2年; 百済・辰斯王8年7月| 高句麗の広開土王が南に百済討伐し十城を抜いた

392年8月22日-01:00|フランス/イタリア| || <即位>ローマ帝国西方担当皇帝「エウゲニウス」(〜03940906死去)

392年9月3日-09:00|朝鮮/韓国| || 高句麗・永樂2年; 百済・辰斯王8年8月| 百済が高句麗南辺を侵す/広開土王、將に命じてこれを拒む

392年10月3日-08:00|中国/朝鮮| || 高句麗・永樂2年9月| 北に契丹を討伐

392年11月1日-09:00|韓国/朝鮮| || 高句麗・永樂2年; 百済・辰斯王8年10月| 百済の閔彌城を陥落させた/閔彌城は四方を海に囲まれていたが、王は7方向から攻撃し、20日で落城させた

392年12月1日-09:00|韓国| || 百済・辰斯王8年11月| <死去>百済王「辰斯王」

392年12月1日-09:00|韓国| || 百済・阿訖王1年11月| <即位>百済王「阿訖王」(〜405年)

393年-02:00|ギリシャ| || <開催>最後の古代オリンピック

393年1月23日-01:00|フランス/イタリア| || <即位>ローマ皇帝「ホリウス・テオドシウス1世」の次男(〜04230815自然死)

393年5月27日-09:00|韓国/日本| || 新羅・奈勿38年5月| 倭人が侵入してきて新羅の金城を包囲、挟み撃ちにして倭軍を大敗させた

393年6月-08:00|中国| || 竇衡は自ら秦王を名乗り、元光と改元

393年9月22日-09:00|朝鮮/韓国| || 高句麗・永樂3年; 百済・阿訖王2年8月| 百済が来寇/高句麗・広開土王は精騎五千を率いて迎撃し、これを敗る。その余の寇賊は夜に遁走した

393年9月22日-08:00|中国| || 北魏・登國8年8月| 魏王珪は薛干部の城を襲撃/太悉仗は後秦へ逃げた

393年12月20日-08:00|中国| || 後秦・建初8年11月| <死去>後秦初代皇帝「太祖(姚萇)」病没

394年-09:00|日本| || 磐田御廟山古墳(応神陵に比定)がこのころ築造

394年-05:30|インド| || 旃陀ラガト2世がシャカ族の支配を倒し西部インドを支配

394年-04:00|ジョージア| || <即位>バリア王「トルダット」レゾン2世の息子(〜406年)

394年-04:00|アルメニア| || <即位>ゴガレネ公(ミフランド朝)「バケル1世」(〜400年)

394年3月18日-08:00|中国| || 前秦・太初9年2月| 前秦の苻登は姚萇、帛蒲の二堡を攻め、これに勝った

394年5月16日-08:00|中国| || 後秦・建初9年; 前秦・太初9年4月| 姚興は秦軍と戦い大勝

394年6月15日-08:00|中国| || 後秦・皇初1年5月| <即位>後秦第2代皇帝「高祖(姚興)」(〜416年2月) 皇初と改元(〜396年9月)

394年6月15日-08:00|中国| || 後秦・皇初1年; 前秦・太初9年5月| 後秦に攻め込んできた前秦の苻登が姚興に大敗

394年6月15日-08:00|中国| || 後燕・建興9年; 西燕・中興9年5月| 慕容垂は台壁へ到着/慕容永は小逸豆帰を援軍に派遣したが平規が撃退/小逸豆帰は再戦し、慕容農がこれを撃破した/後燕の諸軍が西燕を大いに破った

394年8月13日-09:00|韓国/朝鮮| || 高句麗・永樂4年; 百済・阿訖王3年7月| 高句麗・広開土王は百済と海戦、これを大いに破り、捕虜八千余を獲得

394年8月13日-08:00|中国| || 前秦・延初1年7月| <死去>前秦第5代皇帝「高帝(苻登)」後秦の姚興に敗れて殺された

394年8月13日-08:00|中国| || 前秦・延初1年7月| <即位>前秦第6代皇帝「末帝(苻崇)」(〜10月)、延初と改元(〜10月)

394年8月13日-08:00|中国| || 後秦・皇初1年7月| 後秦の安南勝軍強熙と鎮遠將軍強多が造反し竇衡を王に推戴/姚興は自ら出陣/強多の甥の良国が強多を殺して降伏

394年9月6日-01:00|イタリア| || <死去>ローマ帝国西方担当対立皇帝「エウゲニウス」ローマ帝国東帝「テオドシウス1世」にフリギドゥス河畔の戦いで敗れ

394年9月12日-08:00|中国| || 西燕・中興9年8月| <死去>西燕第7代皇帝「河東王慕容永」慕容垂の前に敗死し西燕は滅亡、後燕に併合

394年11月10日-08:00|中国| || 仇池・楊盛1年10月| <死去>後仇池第1代皇帝「楊定」/西秦の乞伏乾帰と合戦となり敗北し殺害されてしまい、隴西も失った

394年11月10日-08:00|中国| || 前秦・延初1年10月| <死去>前秦第6代皇帝「末帝(苻崇)」西秦の乞伏軻弾により斬殺され前秦は滅亡

394年11月10日-08:00|中国| || 仇池・楊盛1年10月| <即位>後仇池第2代皇帝「楊盛」(〜425.6死去)

394年11月10日-08:00|中国| || 西秦・太初7年10月| 西秦の乞伏乾帰は楊定の軍を破り隴西を平定

395年-01:00|ドイツ/イタリア| || <即位>西ゴート族国王「アリック1世」(〜410年死去)バルカン、ペロポネソス半島を劫掠

395年1月17日-04:00|アルメニア/トルコ/コソボ| || エピロス、ロートス島、アトス、クレタ島、コソボは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部

395年1月17日-02:00|イスラエル/トルコ| || イスラエルは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部分(〜637年4月)

395年1月17日-02:00|キプロス/トルコ| || キプロスは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部

395年1月17日-02:00|ブルガリア/トルコ| || ブルガリアは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部

395年1月17日-01:00|イタリア/トルコ| || <死去>ローマ皇帝「テオドシウス1世」(自然死)

395年1月17日-01:00|イタリア/トルコ| || <即位>ローマ帝国東方担当皇帝「アルカディウス」テオドシウス1世の長男(〜04080501自然死)

395年1月17日-01:00|アルバニア/トルコ| || アルバニアは東(ビザンチン)ローマ帝国の一部

395年1月18日-01:00|モンテネグロ/北マケドニア/トルコ| || モンテネグロ、マケドニアは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部

395年2月6日-09:00|朝鮮/モンゴル| || 高句麗・永樂5年| 高句麗が契丹の裨麗部を破る

395年7月4日-08:00|中国| || 西秦・太初8年6月| 西秦の乞伏乾帰は西城へ遷都

0400迄 (1625件)

395年8月2日-08:00|中国| ||後涼・麟嘉7年7月|禿髮烏孤が、鮮卑乙佛、折掘等諸部を攻撃し全て降伏させた/烏孤は廉川堡へ城を築き、ここを都とした

395年9月1日-09:00|朝鮮/韓国| ||百済・阿訶王4年8月|百済、高句麗を攻めるが、水に於いて王の率いる高句麗軍に大敗

395年9月1日-09:00|韓国| ||新羅・奈勿40年8月|靺鞨が北部国境を侵犯したので、軍隊を出して、彼らを悉直の原野で大敗させた

395年11月29日-08:00|中国| ||北魏・登國10年;後燕・建興10年11月|「参合陂の戦い」北魏軍は後燕軍を急襲し後燕軍は大敗

396年2月25日-08:00|中国| ||後燕・建興11年2月|平規が造反/弟の海陽令翰も呼応して遼西にて起兵/慕容垂は餘崇を派遣したが撃退され餘崇は戦死/慕容垂軍が魯口まで進軍すると平規は逃げ出した/平翰は龍城を攻撃したが敗北

396年4月24日-08:00|中国| ||後燕・建興11年;北魏・登國11年閏3月|燕軍は平城まで進軍/拓跋虔は迎え撃ち戦死/慕容垂は病氣となって退却

396年6月2日-08:00|中国| ||後燕・建興11年4月10日|<死去>後燕初代燕王「世祖成武帝(慕容垂)」北魏討伐の途上、喀血して病を發して没

396年6月21日-08:00|中国| ||後燕・永康1年4月29日|<即位>後燕第2代皇帝「烈宗惠愍帝(慕容宝)」慕容垂の四男(~398年5月27日死去)、永康(-398年4月)に改元

396年7月22日-08:00|中国| ||後涼・龍飛1年6月|<国号>後涼初代三河王「太祖懿武帝(呂光)」大涼と定め、天王位に就いた/龍飛と改元(-399年12月)

396年7月22日-08:00|中国| ||北魏・登國11年;後燕・永康1年6月|北魏は後燕から広寧、上谷を獲得

396年8月20日-08:00|中国| ||北魏・皇始1年7月|魏王「拓跋珪」、皇始と改元(-398年12月)

396年9月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂6年;百済・阿訶王5年8月|広開土王は水軍を率いて百済国を討った/百済の多くの城を占領、漢江を渡り漢山城を攻めた/百済王は多くの貢物を出し、家臣になることを誓った

396年9月19日-08:00|中国| ||北魏・皇始1年;後燕・永康1年8月|拓跋珪は大挙して燕を討った/慕容農が出撃したが、大敗/燕軍は壊滅/魏王珪はへい州を占領

396年10月18日-08:00|中国| ||北魏・皇始1年9月|北魏は山西省を領有、東方でも常山を獲得

396年11月6日-08:00|中国| ||東晋・太元21年9月20日|<死去>東晋第9代皇帝「烈宗孝武帝(司馬曜)」

396年11月7日-08:00|中国| ||東晋・太元21年9月21日|<即位>東晋第10代皇帝「安帝(司馬德宗)」(~404年1月1日)

396年12月16日-08:00|中国| ||後燕・永康1年;北魏・皇始1年11月|慕容徳は、慕容青等へ夜襲を命じ、魏軍を撃破

397年2月13日-08:00|中国| ||東晋・隆安6年|<死去>禿髮部鮮卑大人「禿髮烏孤」思復犍の子

397年2月13日-08:00|中国| ||東晋・隆安1年|隆安と改元(-401年)

397年2月13日-08:00|中国| ||南凉・太初1年1月|<即位>南凉初代皇帝「烈祖(禿髮烏孤)」(~399年8月死去)大都督・大將軍・大单于・西平王を自称して廉川堡を都とし、建元して太初元年(-399年12月)

397年2月13日-08:00|中国| ||後涼・龍飛2年;西秦・太初10年1月|後涼の呂光は西秦の金城を攻撃し一旦は陥落させたが西秦の策略にかかり敗退

397年2月13日-08:00|中国| ||南凉・太初1年;後涼・龍飛2年1月|南凉の烏孤は廣武の兵を出動し後涼の金城を攻撃これに克つ/後涼の王呂光は將軍の竇苟を派遣したが大敗

397年3月15日-08:00|中国| ||北魏・皇始2年;後燕・永康2年2月|慕容寶は全軍を挙げて反撃/魏軍へ夜襲を掛けさせ、魏軍は大混乱大敗/翌日、魏軍は燕軍へ追撃を掛け燕軍は敗れた

397年4月14日-08:00|中国| ||後燕・永康2年3月|<即位>後燕第3代皇帝「開封公(慕容詳)」(~397年9月)中山で燕帝を僭称し、百官を置いて年号を建始とした

397年5月18日-08:00|中国| ||後燕・永康2年4月6日|癸酉、慕容寶は仇尼帰、吳提染干に慕容農と慕容隆を襲撃させ、慕容隆は殺され、慕容農は逃げた/乙亥、慕容會の命で龍城が攻撃されるが慕容寶は撃退/高雲が慕容會軍を壊滅/慕容詳が慕容會を殺した

397年6月12日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||百済・阿訶王6年5月|百済の阿訶王が倭と友好関係を締結し、太子を質として送る

397年6月12日-08:00|中国| ||北凉・神璽1年5月|<即位>北凉第1代建康公「段業」(⇒400年凉王と称する~401年)神璽と建元(-399年正月)

397年10月8日-08:00|中国| ||後燕・延平1年9月|<死去>後燕第3代皇帝「開封公(慕容詳)」慕容麟の率いる丁零の衆に攻め込まれ、親党300余人とともに殺された

397年10月8日-08:00|中国| ||後燕・延平1年9月|<自称>後燕皇帝「慕容麟」自立し延平と改元(-10月)

397年11月6日-08:00|中国| ||北魏・皇始2年;後燕・永康2年10月|後燕で中山が北魏によって占拠され慕容宝は龍城に遷都

398年2月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂8年|息慎(肅慎)地方に出兵し、服属させた

398年2月3日-08:00|中国| ||南燕・慕容徳1年1月|<即位>南燕第1代燕王「世宗献武帝(慕容徳)」後燕の慕容垂の弟(⇒400年皇帝と称する~405年)「南燕」の建国)

398年2月3日-08:00|中国| ||西秦・太初11年1月|西秦が涼の三城を攻撃しこれに克った

398年3月4日-08:00|中国| ||後燕・永康3年2月|後燕の慕容宝は無謀な中山奪回を敢行して失敗

398年5月2日-08:00|中国| ||北凉・神璽2年4月|北凉は西郡を陥落させ、晋昌、敦煌を服属

398年5月2日-08:00|中国| ||南凉・太初2年4月|呂纂は楊軌を攻撃したが、郭暦が救援に入り呂纂は敗北

398年5月27日-08:00|中国| ||後燕・青龍1年4月26日|<死去>後燕第2代皇帝「烈宗惠愍帝(慕容宝)」青龍臣下の蘭

0400迄 (1625件)

汗に龍城で殺される

398年5月27日-08:00|中国| ||後燕・青龍1年4月26日|<即位>後燕第3代皇帝「昌黎王(蘭汗)」(~7月)、青龍と改元(~7月)

398年6月30日-08:00|中国| ||北凉・神璽2年6月|北凉は張掖を攻略し首都とした

398年6月30日-08:00|中国| ||南凉・太初2年6月|楊軌は秃髮利鹿孤と共に呂纂を襲撃し大敗

398年8月15日-08:00|中国| ||後燕・青龍1年7月17日|<死去>後燕第3代皇帝「昌黎王(蘭汗)」慕容盛に殺される

398年8月19日-08:00|中国| ||後燕・青龍1年7月21日|<即位>後燕第4代皇帝「中宗昭武帝(慕容盛)」慕容宝の長男(~4010913死去)当初は長楽王と称し、同年皇帝と称する

398年9月27日-08:00|中国| ||南凉・太初2年9月|楊軌は使者を派遣し、烏孤へ降伏/楊軌はきょう曾の梁飢に敗北/烏孤は梁飢と戦い大勝

398年10月27日-08:00|中国| ||後燕・建平1年10月|後燕の慕容盛が建平と改元(-12月)

399年-07:00|バトナム| |||チャンパの沱胡達が日南、九真を攻撃

399年-05:30|インド| |||ヴァーカーカ朝で皇太后プラーバヴァティーが摂政政治を敷く

399年-03:30|イラン/イラク| |||<死去>ササン朝第13代シャーンシャ「ハハラム4世」

399年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ササン朝第14代シャーンシャ「ヤズデギルト1世」(~420年死去)

399年1月23日-08:00|中国| ||南凉・太初2年12月|<改称>南凉初代西平王「烈祖(秃髮烏孤)」⇒武威王

399年1月23日-08:00|中国| ||南凉・太初2年;後凉・龍飛3年12月|南凉の烏孤は後凉軍を破り、転じて湟水流域の羌曾梁飢を滅ぼす

399年1月25日-08:00|中国| ||北魏・天興1年12月3日|<即位>北魏初代皇帝「太祖道武帝(拓跋珪)」(~409年11月6日)、天興と改元(~404年10月)

399年2月22日-09:00|韓国/日本| ||百済・阿莘王8年|この年、百済が倭国と連合し新羅を攻める

399年2月22日-08:00|中国| ||後燕・長楽1年1月|後燕の慕容盛が長楽と改元(-401年7月)

399年2月22日-08:00|中国/朝鮮| ||高句麗・永樂9年;後燕・長楽1年1月|高句麗の広開土王は遣使を以て燕に朝貢

399年2月22日-08:00|中国| ||南凉・太初3年1月|南凉の初代烈祖武王(秃髮烏孤)が楽都に都を遷した

399年3月23日-08:00|中国/朝鮮| ||後燕・長楽1年;高句麗・永樂9年2月|燕王盛、自ら將兵三万で高句麗を襲う/新城・南蘇の二城を抜いた

399年3月23日-08:00|中国| ||北凉・天璽1年2月|北凉の段業が涼王を称し、天璽と改元(-401年5月)

399年3月23日-08:00|中国| ||北魏・天興2年2月|北魏、高車の30部族を破る

399年6月20日-08:00|中国| ||後秦・弘始1年5月|後秦の姚興が弘始と改元(-416年1月)

399年9月16日-08:00|中国| ||南凉・太初3年8月|<死去>南凉初代武威王「烈祖(秃髮烏孤)」落馬で重体となり、弟の秃髮利鹿孤に後事を託してまもなく死去

399年9月16日-08:00|中国| ||南凉・太初3年8月|<即位>南凉第2代武威王「康王(秃髮利鹿孤)」烏孤の弟(~402年3月)、西平に都を遷した

399年9月16日-08:00|中国| ||南燕・延平3年8月|南燕の慕容徳は山東の広固に都をおいた

399年11月15日-08:00|中国| ||後秦・弘始1年;東晋・隆安3年10月|後秦は東晋の支配する洛陽を陥落させ淮水、漢水以北の地域を獲得

399年11月26日-01:00|バチカン| |||<死去>第38代ローマ教皇「シリウス」聖職者独身制を定めた

399年11月27日-01:00|バチカン| |||<就任>第39代ローマ教皇「アスタシウス1世」(~040111219死去)

400年-08:00|中国| |||<即位>吐谷渾第7代可汗「烏コツ提(大孩)」(~405年)第5代可汗「視連」の次男

400年-07:00|カホヅア/インドネシア| |||東南アジアへヒンズー教が移入

400年-05:30|インド| |||<即位>ヴァーカーカ朝(ヴァツサガルマ)マハラジャ「Pravarasena2世」(~415年)

400年-05:30|インド| |||<即位>ヴァーカーカ朝(ナグプル)マハラジャ「Damodarasena」(~440年)

400年-05:30|インド| |||<即位>パラーヴァ朝君主「Skandavarman3世」(~438年)

400年-04:00|アルメニア| |||<即位>ゴガレネ公(ミフランド朝)「アルシュニャ1世」(~430年)

400年-03:00|マダガスカル| |||このころポリネシア人がマダガスカル島へ移住、ヤムモミ・バナ・パンの木などの栽培植物を導入

400年 10:00|ポリネシア| |||ポリネシア人がハワイ諸島やイースター島方面へ移住

400年1月13日-08:00|中国| ||後秦・弘始1年12月|<死去>後凉初代天王「太祖懿武帝(呂光)」死の直前で太上皇帝となる

400年1月13日-08:00|中国| ||後凉・龍飛4年12月|<死去>後凉第2代皇帝「隱王(呂紹)」呂纂に自殺させられる

400年1月13日-08:00|中国| ||後凉・咸寧1年12月|<即位>後凉第3代皇帝「靈帝(呂纂)」(~401年2月)

400年1月13日-08:00|中国| ||後凉・咸寧1年12月|後凉の靈帝が咸寧と改元(-401年)

400年2月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||高句麗・永樂10年;新羅・奈勿45年|高句麗の広開土王は百済を討つため、平壤に出向いた。5万の大軍を派遣して新羅を救援/安羅軍などが逆をついて新羅の王都を占領

400年2月11日-08:00|中国/インド| ||東晋・隆安4年|~410/東晋の僧法顕、インド旅行

400年2月11日-08:00|中国| ||西秦・太初13年|西秦、苑川へ遷都

400年2月11日-09:00|朝鮮/中国| ||高句麗・永樂10年1月|高句麗、後燕に遣使朝貢

400年2月11日-08:00|中国| ||南燕・建平1年1月|<即位>南燕「燕王慕容徳」⇒皇帝「世宗献武帝(徳)」(~04051117死去)建平(-405年9月)と建元

400年2月11日-08:00|中国| ||南凉・建和1年1月|南凉の秃髮利鹿孤が建和と改元(-402年3月)

400年2月11日-08:00|中国| ||後燕・長楽2年1月1日|後燕の慕容盛が自ら庶民天王と貶号

400年3月12日-09:00|朝鮮/中国| ||後燕・長楽2年2月|後燕王、高句麗王の傲慢な姿勢に、自ら兵を率いて高句麗

0400迄 (1625件)

を襲い、新城・南蘇を攻略して帰還

400年4月10日-08:00|中国| ||後涼・咸寧2年3月|後涼の呂纂は南燕に攻撃をするが敗退

400年4月10日-08:00|中国| ||後涼・咸寧2年3月|呂弘は東苑の兵を率いて造反/呂纂は、麾下の将焦弁に迎撃させ、呂弘の軍は壊滅

400年8月6日-08:00|中国| ||西秦・太初13年7月|<退位>西秦第2代皇帝「高祖武元王(乞伏乾歸)」枹罕へ逃げ、遂に後秦へ降伏

400年12月2日-08:00|中国| ||西涼・庚子1年11月|<即位>西涼第1代皇帝「太祖武昭王(李暠)」(~417年2月)自立し西涼を建国, 庚子(-404年12月)と建号

400年12月2日-08:00|中国| ||後秦・弘始2年; 西秦・太初13年11月|後秦の姚興は西秦の乞伏乾歸を河州刺史として西秦を属国化, 一度西秦は滅亡